

東北大学生のための

# 情報探索の基礎知識



基本編

2004

東北大学附属図書館

---

## はじめに

本書は、東北大学の学生がレポートや論文を作成する時に必要な、文献や情報を調べるための基礎的な知識と技能を習得することを目的としています。

インターネットが普及し、どのパソコンからでも世界中のウェブサイトを検索できるようになり、いつでも電子化された情報を見ることができるようになりました。しかし一方、ウェブサイト上で無料で見ることのできる情報は「玉石混淆」ともいわれ、学問的に評価された学術的情報だけではないことはご存知のとおりです。

ノーベル賞の例で分かるように、最先端の学問研究では、誰よりも先に新しい研究成果を発表することが重要です。そしてそのためには、自分が研究するテーマに関連する学術的な研究論文などを探し、すでに誰かが研究していないかをしっかり調べる必要があります。

また、そもそも新しい研究を始めるには、今までどのような研究がなされてきたかを展望することが不可欠であり、そのためにも学術的な文献や情報を調査する知識と技能の習得が必須となります。

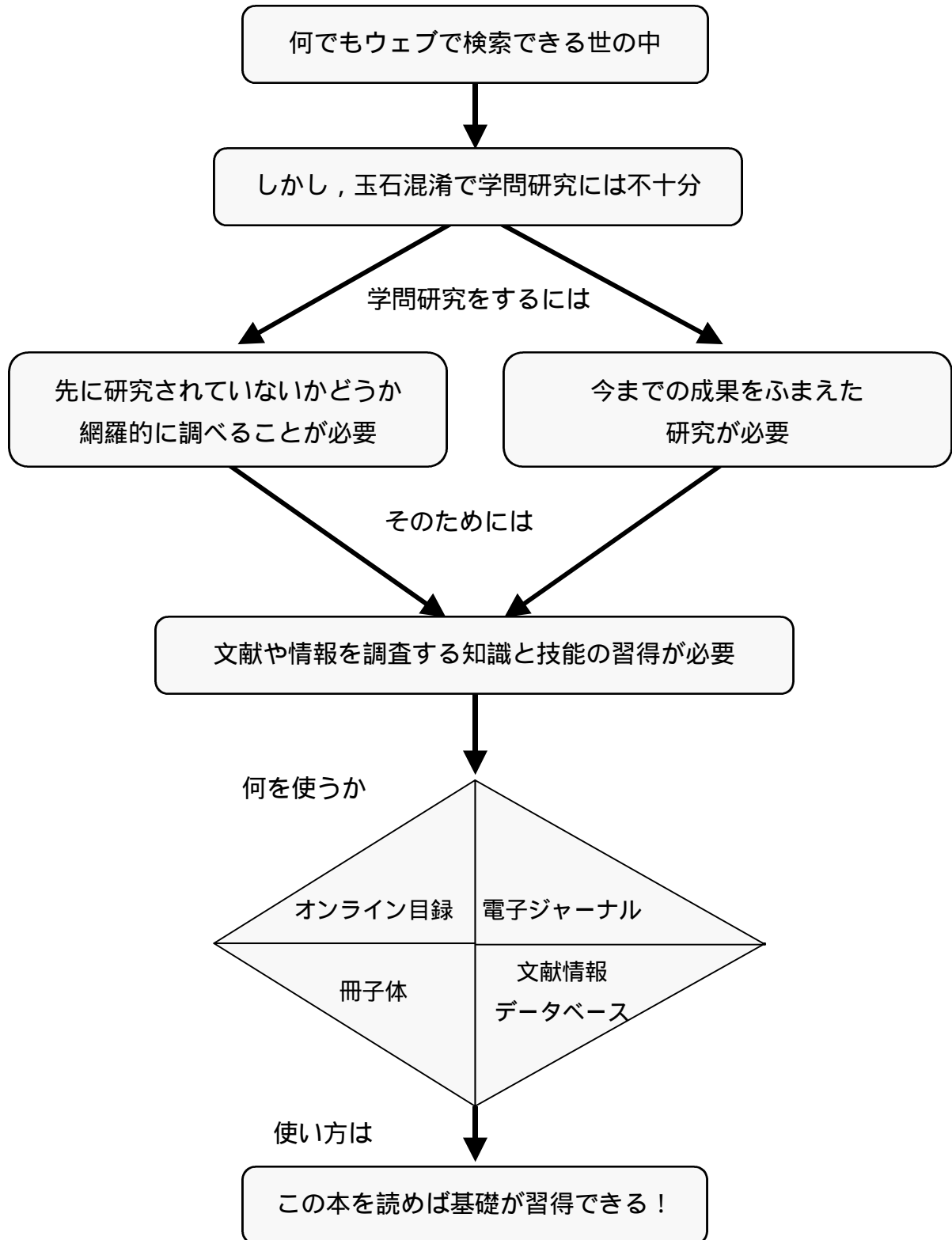
大学で課せられるレポートや論文は、以上のような研究方法を身に付けるための訓練です。読書感想文のように自分の考えだけを記述するのではなく、今まで公表された研究論文・記事などの内容を踏まえて、自説を展開する必要があります。

大学図書館では、膨大な資料の中から皆さんが必要とする情報を探し出すため、印刷体の辞書・事典・目録のような情報探索ツール（道具）のほかに、次のような電子的ツールを用意しています。

- ・ 図書・雑誌を探し出すためのオンライン目録
- ・ 研究論文を探し出すための文献情報データベース
- ・ 論文そのものを読むための電子ジャーナル

今や、印刷体のツールに加え、これらの電子的ツールを使いこなすことなしには、網羅的な情報探索は不可能となっています。本書では、大学入学以前に利用することのなかったこれら電子的ツールの具体的利用法を中心に、情報探索の方法を説明しています。本書を通読することで、東北大学の学生として持つべき「文献と情報の探し方」を身に付けることができるでしょう。

# この本の目的



**目次**

はじめに	ii
目次	iv
凡例	viii

**第1章 大学と情報と図書館**

1.1 大学の学習・研究と情報	2
1.1.1 大学図書館の役割	2
1.1.2 インターネットの位置付け	2
1.1.3 大学図書館の収集資料	4
1.1.4 大学図書館の設備・利用	5
1.2 東北大学附属図書館の概要と特色	6
1.2.1 図書館の構成と所蔵資料	6
1.2.2 図書館コレクション	7
1.2.3 図書館のサービス概要	8
1.2.4 図書館ウェブサービス	9

**第2章 情報探索の基礎**

2.1 情報探索とは	14
2.1.1 情報探索のはじまり	14
2.1.2 レポート・論文作成の手順	15
2.2 資料の種類	16
2.2.1 1次資料と2次資料	16
2.2.2 印刷メディアと電子メディア	16
2.2.3 図書と雑誌	17
2.3 情報探索法	18
2.3.1 引用・参考文献をたどる	18
2.3.2 ツール使用の情報探索法	19
2.4 文献情報の読み方	20
2.4.1 図書と雑誌の区別	20
2.4.2 図書	21
2.4.3 雑誌	22
2.4.4 ウェブサイト	23
2.5 検索上のテクニック	24
2.5.1 検索語の選び方	24

2.5.2	論理演算	26
2.5.3	部分一致検索	27
2.5.4	その他の機能	28
2.5.5	検索の評価	28
2.6	文献の利用と著作権	29

### 第3章 図書・雑誌の探し方

3.1	図書・雑誌入手までの基本的な手順	32
3.2	東北大学の蔵書を調べる	33
3.2.1	Online Catalog	33
3.2.2	カード目録	49
3.3	国内他大学・他機関の蔵書を調べる	53
3.3.1	どのような機関があるか	53
3.3.2	他大学図書館の蔵書を調べる	54
3.3.3	公共図書館の蔵書を調べる	57
3.3.4	国立国会図書館の蔵書を調べる	59
3.3.5	専門図書館の蔵書を調べる	61
3.4	国外機関の蔵書を調べる	62
3.5	特定のテーマについて調べる	64
3.5.1	図書	64
3.5.2	雑誌	70
3.6	和漢古典籍資料を調べる	71
3.6.1	東北大学の蔵書を調べる	71
3.6.2	他機関の蔵書を調べる	72
3.7	出版情報を調べる	74
3.7.1	国内	74
3.7.2	海外	78
	演習問題	80

### 第4章 雑誌論文の探し方

4.1	雑誌論文とは	82
4.1.1	雑誌の種類	82
4.1.2	論文の種類	83
4.2	探す手順	84
4.3	大学内から利用できる主な雑誌論文探索ツール	86

4.3.1	日本語の論文を探す	86
4.3.2	外国語の論文を探す	89
4.4	その他の論文探索ツール一覧	100
4.5	電子ジャーナル	104
4.5.1	電子ジャーナルとは	104
4.5.2	本学での使い方	105
4.6	相互利用サービス	108
4.6.1	申し込み	108
4.6.2	受け取り	109
4.6.3	直接閲覧	109
	<b>演習問題</b>	110

## 第5章 新聞記事の探し方

5.1	新聞資料の特徴	112
5.1.1	新聞の種類	112
5.1.2	記事内容の種類	113
5.1.3	目的による使い分け	114
5.2	新聞記事入手までの概要	115
5.3	本学で利用できる主な新聞記事検索ツール	116
5.3.1	オンラインデータベース	116
5.3.2	CD-ROM	118
5.3.3	無料ウェブサイト	120
5.3.4	冊子体	122
5.4	新聞の所蔵検索	124
5.5	新聞の出版情報	126
	<b>演習問題</b>	127

## 第6章 より専門的な資料を探すために

6.1	より専門的な資料とは?	130
6.2	博士学位論文を探す	131
6.2.1	書誌情報を確認する	131
6.2.2	内容を知りたい	132
6.2.3	各大学のウェブサイト	132
6.2.4	東北大学の情報を探す	133
6.2.5	入手の方法	133

6.3	テクニカル・レポートを探す	134
6.3.1	科学研究費補助金研究成果報告書とは	134
6.3.2	その他のテクニカル・レポート	136
6.4	会議録を探す	137
6.4.1	どのような会議録が刊行されているのか調べる	137
6.4.2	入手の方法	138
6.4.3	会議の開催情報を調べる	138
6.5	特許資料を探す	139
6.6	政府関係資料を探す	140
6.6.1	官報・白書などを全般的に調べる	140
6.6.2	議会資料(会議録など)を調べる	141
6.6.3	法令・判例を調べる	142
6.7	国際機関資料を探す	143
6.7.1	国際連合(United Nations)と関係機関の資料	143
6.7.2	欧州連合(European Union)の資料	145
6.7.3	その他の国際機関	146
	<b>演習問題</b>	149

## 第7章 事柄について調べるには

7.1	事柄について調べる	152
7.2	百科事典	153
7.2.1	百科事典	153
7.2.2	現代用語事典	154
7.3	人名事典	155
7.3.1	日本人を調べる	155
7.3.2	外国人を調べる	156
7.3.3	専門的な人名事典	157
7.3.4	人名事典を調べる事典	159
7.4	地名事典	160
7.4.1	日本の地名事典	160
7.4.2	外国の地名事典	160
7.4.3	地図	161
7.4.4	その他のツール	161
7.5	専門事典	162
7.5.1	専門事典	162
7.5.2	専門事典を探すためのツール	163

7.6	統計	164
7.6.1	日本の統計	164
7.6.2	外国の統計	165
7.7	サーチエンジン	166
	<b>演習問題</b>	169

## 付録

1.	論文・レポートの書き方の参考文献	172
2.	分類体系表	174
3.	略語表	176
4.	キャンパスマップ	178
5.	フロアマップ	179
6.	利用案内	184
7.	演習問題の解答・解説	186

索引	200
あとがき	206



## 凡例

本文中に箇条書きしている図書、雑誌、CD-ROM、オンラインデータベースなどのツールについて、記載書式はおおむね次のとおりとした。

- 『書名・誌名など』(叢書名) 巻号・版・内容収録年など 著編者 出版者 出版年 : 学内配置場所 [請求記号]
- 『ウェブサイト名など』 提供機関名 (URL) 備考

注 1) 年表示について、最新巻を継続して購入している資料は、終年を省略して記した。(例: 1999~ ) また、資料の特徴として、最新内容が重要だと考えられる資料については所蔵年すべてを記さず、最新巻のみを記した。

注 2) 学内配置場所は、附属図書館内の場所を省略形によって記し、図書館以外の配置場所は記さなかった。省略形に対応する配置場所はそれぞれ以下のとおりである。

省略形	配置場所
本館RC	本館レファレンスコーナー
本館学閲	本館学生閲覧室参考図書コーナー
本館書庫	本館書庫
医分	医学分館参考図書コーナー
北分	北青葉山分館参考図書コーナー
工分	工学分館参考図書コーナー
農分	農学分館参考図書コーナー

注 3) 請求記号については3.2章の「まめちしき」および付録2.分類体系表を参照のこと。

本書は2004年3月現在の状況をもとに記した。最新のツールや情報探索環境については、東北大学附属図書館ホームページを参照のこと。

URL: <http://www.library.tohoku.ac.jp/>

# 第1章 大学と情報と図書館

大学での学習研究に必要な情報は、大学図書館の資料や情報を利用することで、効率的に得ることができます。

大学図書館の特色は何でしょうか。そして東北大学の図書館では、どのようなサービスを受けることができるのでしょうか。



## 1.1 大学の学習・研究と情報

### 1.1.1 大学図書館の役割

大学生としてあるいは研究者として、大学での学習・研究に必要な情報を得るためには、大学図書館は欠かせません。大学図書館は、研究者によって生産された研究成果（学術論文・学術図書など）や、行政機関が公開している公式資料など、学術的情報を中心とした資料を収集し、それらを利用者に提供するという役割をもっています。

また、各分野の膨大な学術的情報を効率的に探索するためには、それらのタイトルや著者、概要などを収録・編集したデータベースや資料目録といったツールが作成されています。図書館は、これらの情報探索ツールも可能な限り収集し、多くの利用者に提供する役割を果たしています。

図書館は、様々な学術的情報と情報探索ツールとを備え、皆さんを求める情報へと橋渡しをするゲートウェイとなっているのです。 次頁図表 1-1 参照

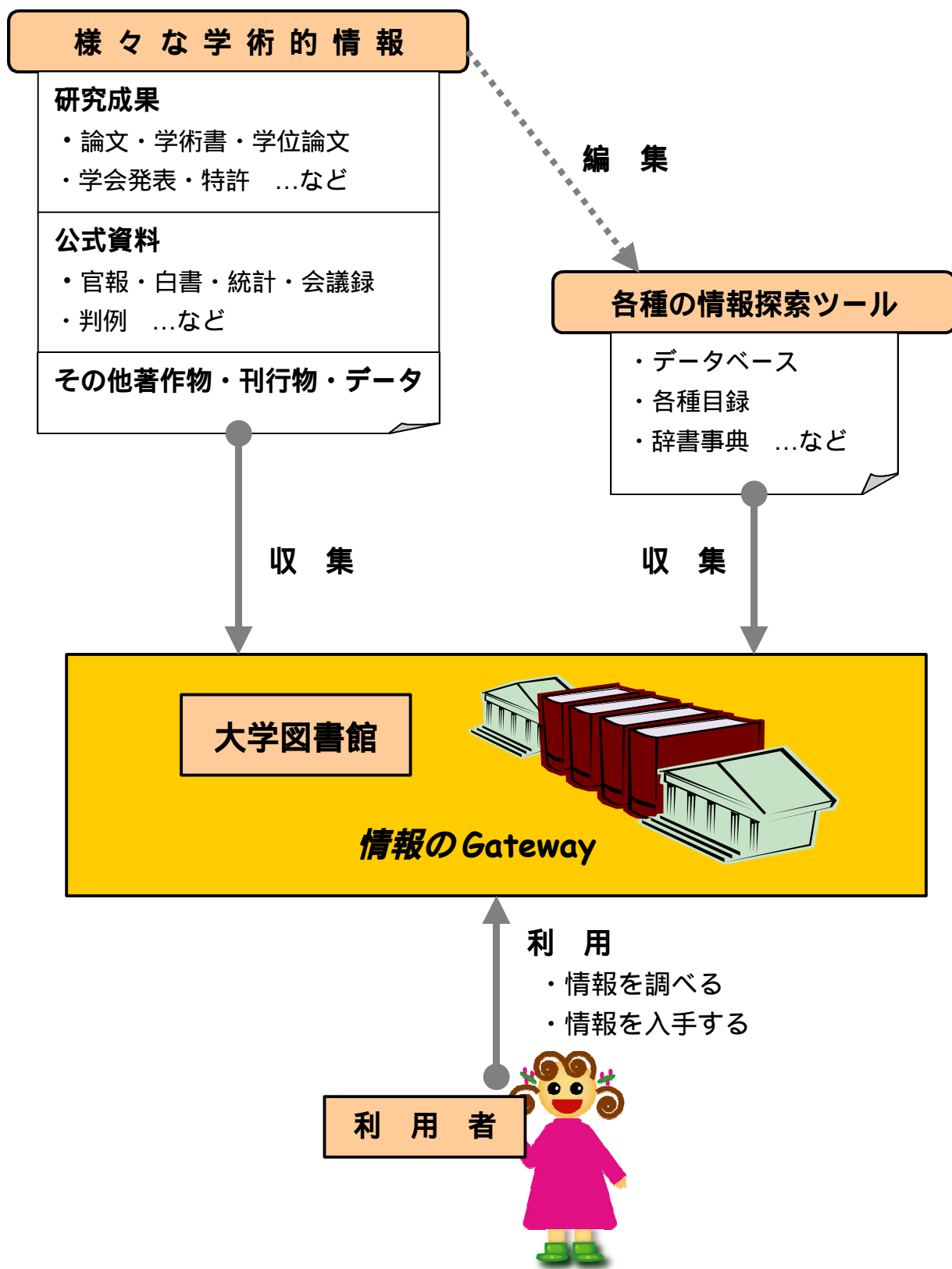
### 1.1.2 インターネットの位置付け

検索エンジンを使えば、インターネット上で無料で利用できる様々な情報を得ることができますが、それらが玉石混淆であることはご存知のことと思います。

印刷体の学術図書や学術雑誌を思い起こせば分るように、大学で利用する学術的情報の多くは、図書館などで購入した有料の資料です。また、有益な情報探索ツールの大半は、大学内で利用できるように購入した有料のものなのです。それらは通常、一般の検索エンジンから利用することはできないものとなっています。

さて、研究成果や公式資料などの学術的資料については、まだ印刷体の果たす役割には大きいものがあります。しかし、外国の電子ジャーナルに代表されるようにインターネットで利用できるものへ急激に切り替わりつつあります。また、図書館目録やデータベースなどの情報探索ツールについても、インターネットで電子的に利用できるものが主流となりつつあり、今や大学での学習・研究にはインターネットという環境は不可欠のものとなっています。 3章および4章参照

本書では、上記の状況を踏まえて、インターネットで利用できる情報探索ツールを中心に説明しながらも、それらだけでは十分でない場合は、適宜、印刷体のツールなども補足しています。上記のようなインターネットの位置付けを念頭においた上で、皆さんの学習・研究を進めてください。

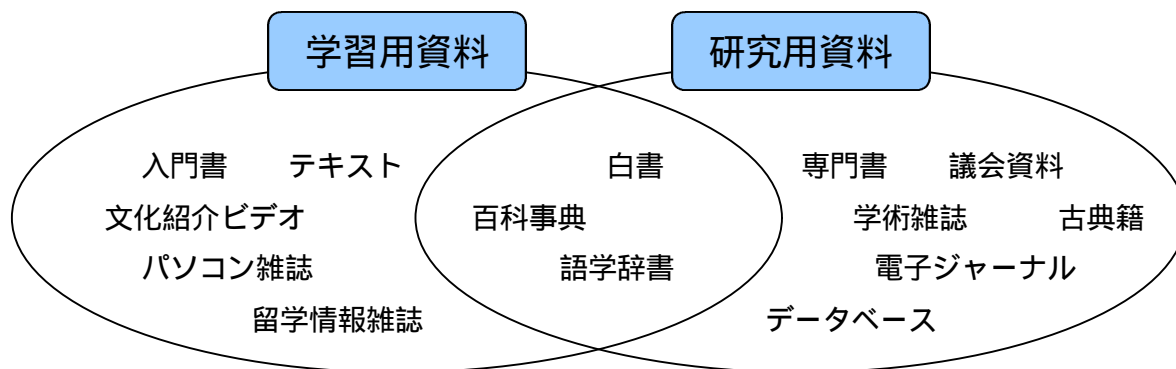


図表 1-1 大学図書館の役割

### 1.1.3 大学図書館の収集資料

大学図書館が収集して所蔵する資料は、学習用資料と各専門分野の研究用資料との大きく二つに分けられます。学習用資料の例としては、入門書や授業で使うテキストや参考資料、教養書、留学情報雑誌やパソコン雑誌、日本の伝統文化紹介ビデオなどがあります。研究用資料としては、専門書や学術雑誌、議会資料や統計資料、古典籍などがあります。百科事典、語学辞書、白書などは両方の性格をもっている資料といえます。

また、資料は印刷物とは限りません。マイクロフィルムやCD-ROMに収録されているものもあれば、インターネットで利用できるデータベース(4.3 参照)や電子ジャーナル(4.5 参照)などのような電子的利用が可能なものもあります。



図表 1-2 大学図書館の所蔵資料

各大学の所蔵資料は、その大学の学部構成により特色がでてきます。図書館はその大学の教育や研究を支援するためのものですから、おのずと重点的に集める資料が異なってきます。例えば、教育系大学の図書館では教育学に関する資料が、音楽系大学では音楽学に関する資料が充実しています。さらに大学によっては、他機関では見ることのできない、貴重な資料群(コレクション)を所蔵している場合もあります。

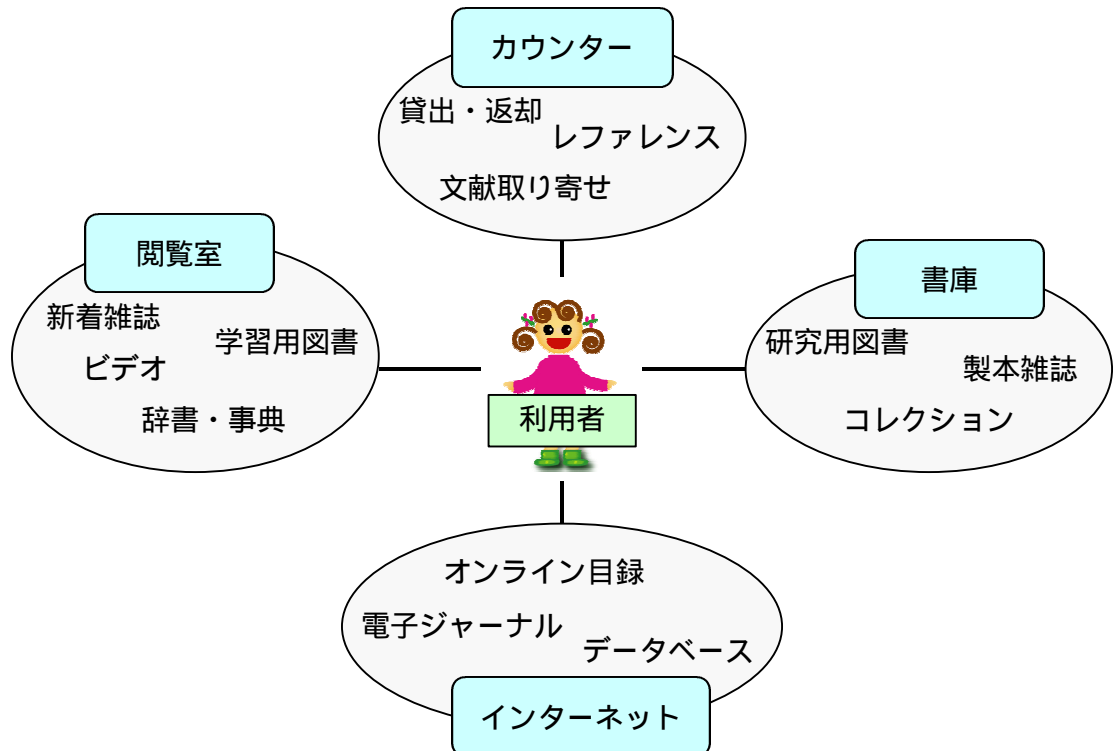
### 1.1.4 大学図書館の設備・利用

大学図書館では、学生が自由に利用できるよう、学習室や閲覧室などのスペースに多くの閲覧機を用意しています。閲覧室には、主に学習用資料がそろえられており、新着雑誌を展示するための雑誌コーナーなどがあります。ほとんどの大学では、研究用資料は閲覧室ではなく、何十万冊も収容できる別の書庫に置かれています。また、製本された古い雑誌や貴重なコレクションなども書庫に保存されます。

また、利用者が各種サービスを受けられるよう、資料の貸出・返却のためのカウンター、情報収集の支援を行うレファレンス・デスク、他大学などから文献複写を取寄せるための申込カウンター、所蔵資料の一部を複写するための複写機などがあります。

さらに、利用者が自分で所蔵資料の検索をするために、目録というものが用意されています。従来はカード目録でしたが、近年は利用者用のパソコンで検索できるオンライン目録が主流となってきました。これに加えて、電子ジャーナルやデータベースを利用するためのパソコンを用意する図書館も増えてきました。

さらに最近では、より便利に利用できるように、多くの大学図書館にて夜間開館や休日開館を行っています。また、来館しなくとも所蔵資料の検索や予約ができるよう、ウェブサービスの充実を進めつつあります。



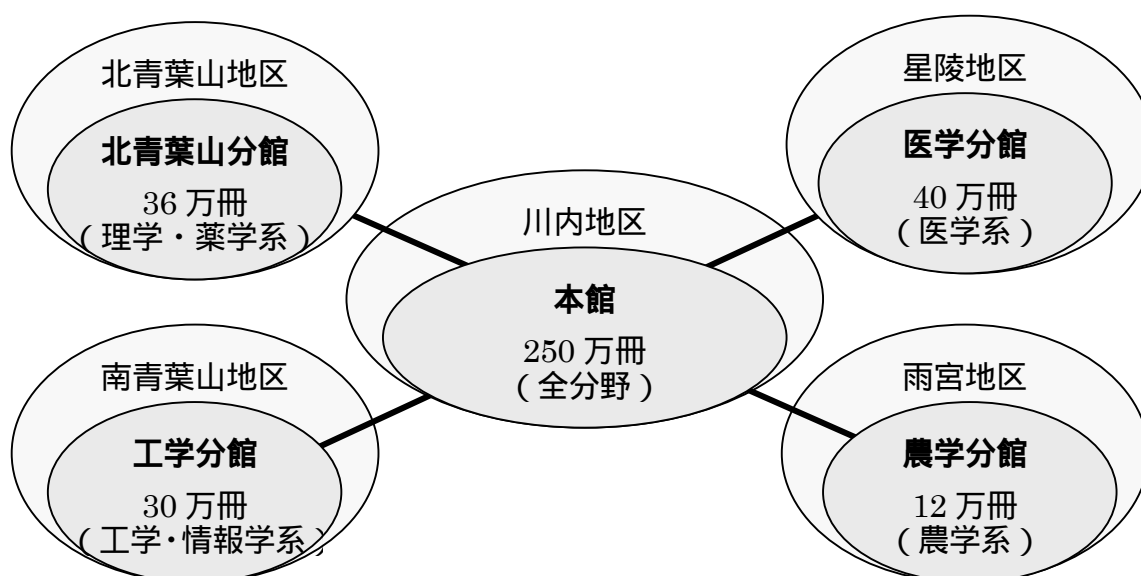
図表 1-3 大学図書館の設備モデル

## 1.2 東北大学附属図書館の概要と特色

### 1.2.1 図書館の構成と所蔵資料

東北大学附属図書館は、東北帝国大学創立4年後の明治44年（1911）に創設されました。創設当初、中央館（本館）だけであった図書館は、その後、学部やキャンパスの増加に伴って4つの分館が設置され、現在は下表の5図書館で連携したサービスを行っています。

本館は、全分野に関する学習用資料を所蔵するとともに、川内地区の人文・社会科学系研究者のための研究用資料を所蔵しています。その他の4分館は、それぞれの地区の専門分野に即した研究用資料を所蔵しています。



図表 1-4 東北大学の附属図書館

また、附属図書館のほかに、片平地区の研究所や各地区の研究科・学部には図書室が設置されており、それぞれ専門的な研究用資料を提供しています。

東北大学は大規模な総合大学であることから、学問分野全般にわたる資料を所蔵しています。所蔵冊数の合計は約370万冊となり、国内有数の大規模図書館となっています。

所蔵する資料のほか、文献検索のためのデータベースや電子ジャーナルの整備も進めています。これらは、東北大学内でのみ利用できるよう契約して導入したものであり、学外からは利用できないようになっています。

東北大学の学生・研究者は、以上の図書館すべてを利用することができます。それぞれの図書館により利用時間や利用規則・貸出条件が異なりますので、利用の際に確認してください。また、研究科等に附属した図書室の利用可否については、事前に各図書室に問い合わせてください。

- 『図書館室一覧・案内』東北大学附属図書館  
(<http://www.library.tohoku.ac.jp/guide/guide.html>)  
各図書館室の利用案内へのリンクです。

### 1.2.2 図書館コレクション

東北大学附属図書館は、通常の学習・研究用資料のほか、非常に貴重で全国的にも有名な資料群（コレクション）を所蔵しています。「類聚國史 卷第二十五」「史記孝文本紀 第十」という2点の資料は、国宝に指定されています。また、夏目漱石の旧蔵書・自筆資料などからなる漱石文庫、約10万点の古典籍からなり「江戸学の宝庫」と呼ばれる狩野文庫、約1万数千点からなる日本随一の和算関係資料なども著名なコレクションです（いずれも本館所蔵）。



図表 1-5 「漱石先生」岡本一平画 水彩 一幅（漱石文庫所蔵）

- 『コレクション』東北大学附属図書館  
(<http://www.library.tohoku.ac.jp/collect/collect.html>)  
東北大学附属図書館で所蔵している著名コレクションの紹介ページ。  
コレクション中の一部資料の画像閲覧や資料検索ができます。



### 1.2.3 図書館のサービス概要

#### (1) 資料の貸出・閲覧

図書館内の所蔵資料は、閲覧および館外貸出が可能です。しかし、研究室に置かれている資料の利用については、研究者の了解が必要となりますので、図書館カウンターに申請してください。

#### (2) 資料の検索

目的とする図書や雑誌がどこにあるのか、どのような図書があるのかを調べるには、図書館の目録を利用します。東北大学では、オンライン目録を用意していますので、まずは図書館にあるパソコンで検索してみてください。古い時代の資料については、カードボックスの目録も調べる必要があります。3章参照

雑誌論文や新聞記事を調べるためには、データベースを使います。データベースを検索することで、どの雑誌や新聞に掲載されているかを調べることができ、その論文や記事を手に入れることができますようになります。4章、5章参照

#### (3) 情報収集の支援（レファレンス）

どのような文献があるか、ある事柄について何を調べたらよいのかなどについての支援を得るには、図書館員のいるカウンターに気軽に問い合わせてください。使うべき資料やデータベース、その使い方などを説明します。

#### (4) 他の図書館からの資料入手（相互利用サービス）

東北大学内で求める資料が入手できない場合、図書館を通じて他の大学図書館などから文献の複写を入手したり、資料そのものの貸出を受けることができます。このサービスの利用には、複写料金や郵送料などがかかります。4.6参照

#### (5) 利用説明会・講習会

図書館の利用方法やオンライン目録・データベースの使用方法を習得するための説明会や講習会を開催しています。日時などの開催内容については、本館・分館の掲示板やウェブサイトで通知しています。

### 1.2.4 図書館ウェブサービス

東北大学では、インターネットで利用できるウェブサービスの整備を進めています。図書館ウェブサービスは、図書館ホームページから利用できるようになっています。

#### (1) 図書館ホームページ (<http://www.library.tohoku.ac.jp/>)

図書館ホームページでは、図書館から提供している情報検索などのウェブサービスへのリンクのほかに、利用案内や概要、お知らせなどの図書館に関する各種情報を提供しています。



図表 1-6 東北大学附属図書館ホームページ

## (2) オンライン目録

東北大学で所蔵している資料のオンライン目録は、『Online Catalog』と呼びます。『Online Catalog』には、学内蔵書だけを検索する「簡易版」に加えて、学外（日本国内の大学図書館）の蔵書を含めて検索できる「詳細版」があります。3章参照

また、漱石文庫や狩野文庫などの各種コレクションごとのオンライン目録もあります。その資料の一部は電子化されており、ウェブで画像を見ることができます。

## (3) データベース（学内限定）

どのような文献があるのか、それがどの雑誌に掲載されているかなどを調べる時に使います。東北大学では、日本語文献を調べるためのデータベースは無論のこと、外国語文献を調べるためのデータベースを何種類も用意しています。4章参照

## (4) 電子ジャーナル（学内限定）

東北大学と出版社との契約で、ウェブで利用できるようになっているのが電子ジャーナルです。学内であれば誰でもどこからでも利用できるようになっていますが、利用のルールに十分留意して利用する必要があります。4章参照

## (5) オンラインサービス（学内限定）

文献複写の申込、購入希望図書への申込、自分の貸出・予約情報の確認などを行うことができます。このサービスのためのパスワードなどを登録する必要があります。

## (6) リンク集

学習や研究上有益なウェブサイトを集めて、分野ごとに整理したリンク集を公開しています。

## (7) 図書館利用案内

開館日・開館時間、利用方法、館内案内、図書館利用FAQ（よくある質問と回答）など、図書館を利用する上での基本的な情報や、所蔵資料の内容説明をしています。

## (8) 学術情報ポータル

ポータルとは、「入り口」の意味です。このサイトは、図書館で作成・収集した学術情報に、研究者が効率的にアクセスするための入り口となることを目的としています。複数データベースの一括検索などの機能を備えています。



## **まめちしき** インターネット利用のマナー

図書館の資料や設備は皆さんが共同で使うものなので、常識をわきまえて利用する必要があります。ウェブサービスや電子メールを利用する際も、同じようなマナーがあり、決して行ってはならないことがあります。具体的には、電子ジャーナルの論文を大量にダウンロードしたりする「著作権」を侵害する行為、公開された掲示板などで他者を誹謗・中傷をする行為などがそれにあたります。

東北大学からそのような行為がなされた場合、電子ジャーナルの供給が停止されるなど、大学全体の学習・研究活動に多大な影響を及ぼすこととなります。決してそのような行為をすることのないよう、マナーを遵守してください。

一般的なマナーに関しては次のウェブサイトで紹介していますので、参考にしてください。

- 『インターネットを利用するためのルール&マナー集』 財団法人  
インターネット協会  
(<http://www.iajapan.org/rule/rule4general/main.html>)

## 休憩コーナー



### 仙台みやげといえば？（１）

まずは「萩の月」でしょう。類似品も全国に多く存在しますが、こくのあるカスタードクリームはやっぱりいつ食べてもおいしいですよ。最初の帰省には、これをお土産として選ぶ場合も多いのではないのでしょうか。

白あんのお饅頭のような「支倉焼」は、ひとつひとつ手作りでそーっと作られているちょっと崩れやすいお菓子ですが、味は「おおっ」と感嘆するほど美味です。くるみが香ばしいんですね。

あと老舗で忘れてならないのは「白松がモナカ・ヨーカン」です。これは見た目は普通ですが、上品な甘さといい、歯ざわりといい全国に自慢できる逸品です。

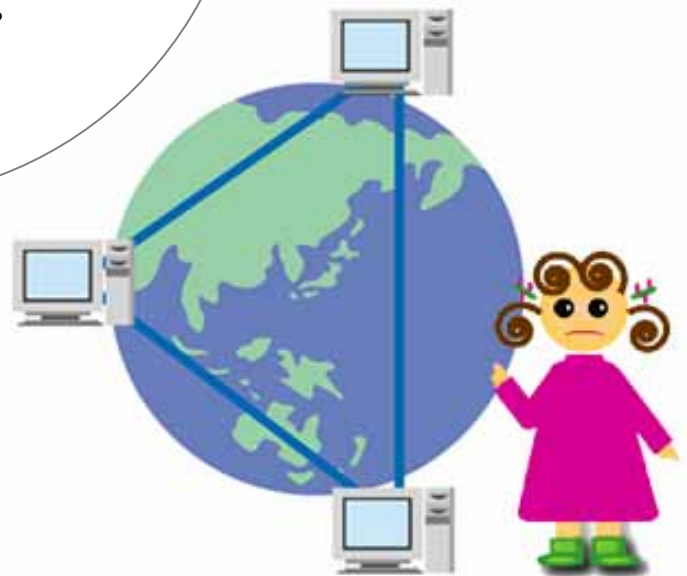
なんとモナカの皮の材料となるお米は社員が田植えから稲刈りまで行い、栗ヨーカンに使われる栗も自社の栗園で栽培するというこだわりぶり。さすが「品質は語る・・・」をモットーとしているだけのことはありますね。

うわさによると白松の栗ヨーカンは「どこよりたくさん栗が入っている」そうです。これはもう食べなきゃ損ですね。また、このごろのおすすめは、一口サイズで食べやすいモナカと、挽茶や梅など新しい風味のヨーカンです。ぜひお試しを。

## 第2章 情報探索の基礎

情報探索を行うときは、どのような手順で考えればよいのでしょうか。

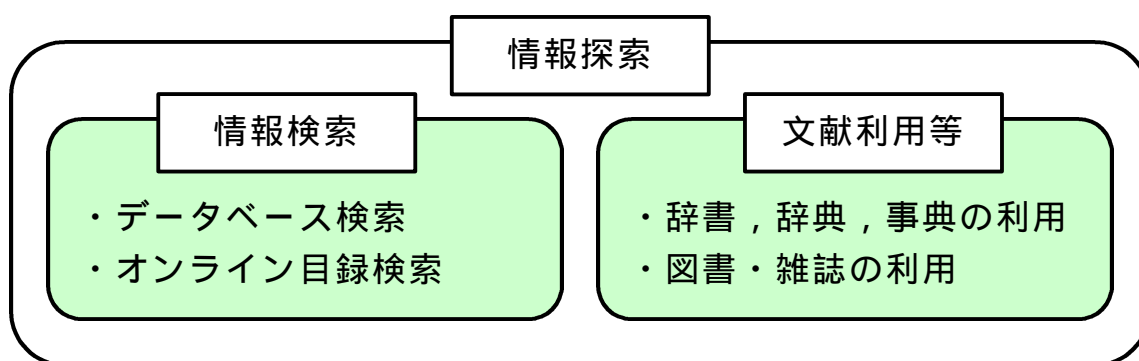
また、探索の手がかりとなる引用・参考文献などの読み方やメディアの選択方法、検索語の選び方や論理演算などの基本的テクニックは知っていますか。



## 2.1 情報探索とは

図書や雑誌には、さまざまな分野の多くの情報が蓄積されています。その中から、自分が必要としている情報を探し出すのが情報探索です。

同等の意味のものとして情報検索という言葉がありますが、本書ではデータベースや目録などのツールを利用した情報探索に限って情報検索と呼ぶこととします。情報探索とは、情報検索を含めた広く情報を探し出す行為のことを意味するものとします。



図表 2-1 情報探索とは

### 2.1.1 情報探索のはじまり

皆さんの学習の中で、情報探索が必要となるのは次のような場合だと思われます。

- 授業中に示された参考文献の所在を探す場合
- レポートや論文を執筆するときの資料を探す場合
- 興味のあるテーマに関する本・情報などを探す場合

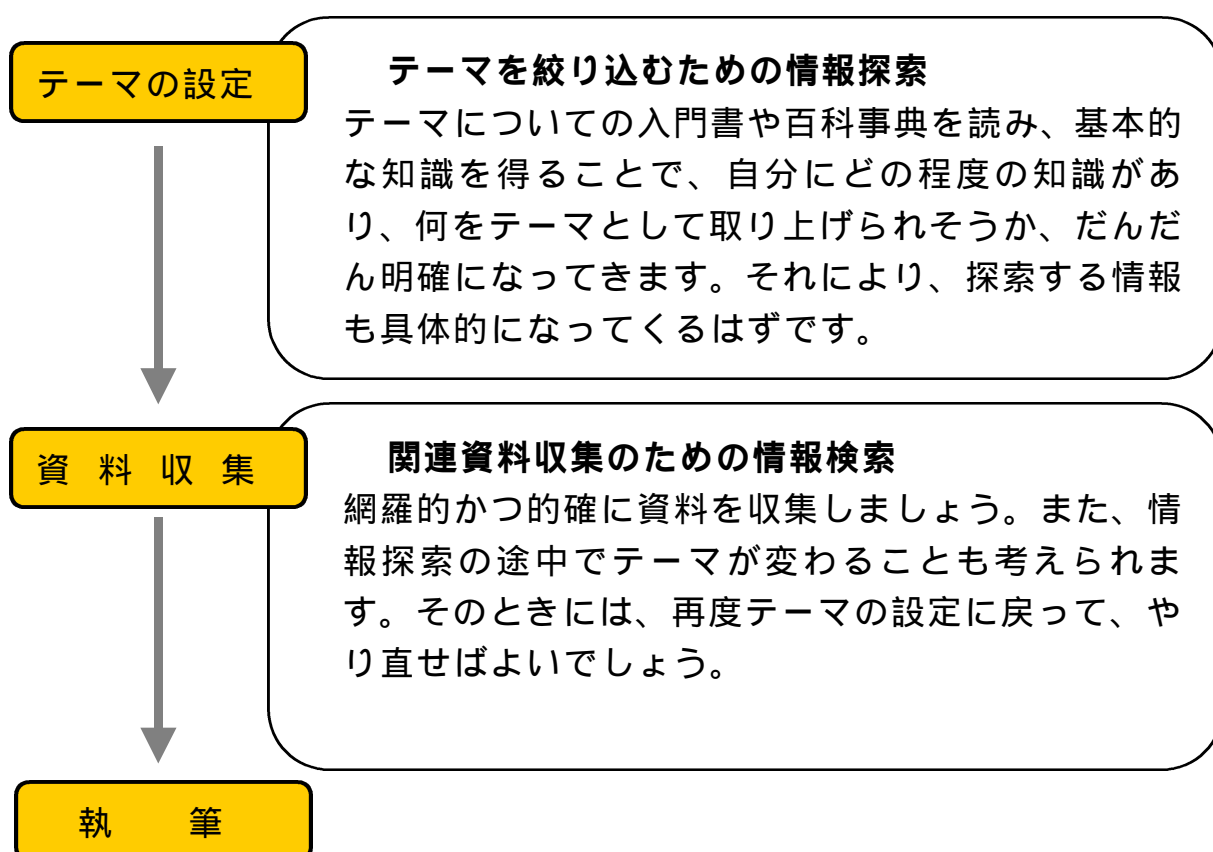
本書などで効果的な探索の仕方を一度学んでおけば、さまざまな学習の中で情報探索が必要になった場合、学んだ仕方になって、的確な情報探索を行うことができるようになります。

### 2.1.2 レポート・論文作成の手順

大学で与えられるレポートの多くは、一般的・抽象的な課題です。課題全体の中のどのような点に着目し、自分なりのテーマを設定するかということは大事な段階で、そのためには予備調査的な情報探索を行うことが有効です。

テーマが決まった段階で、自分がどのような情報を求めているかが明確になるはずですが、この段階では、レポート・論文でとりあげるべきさまざまな関連資料を収集することとなります。そのための情報探索は、網羅的かつ的確なものである必要があります。

レポート・論文執筆までの手順に応じて、2種類の情報探索があるのです。



図表 2-2 レポート・論文の書き方の流れ

大学のレポートや論文では、作文や感想文と異なる書き方が必要とされます。自分の考えたことを表現するだけでなく、事実やいろいろな観点の過去の論文・記事内容をふまえた論述が必要とされます。情報探索による資料収集の良し悪しは、レポートの仕上がりを大きく左右することになるのです。



## 2.2 資料の種類

### 2.2.1 1次資料と2次資料

情報探索をするには、探索すべき資料がどのようなものであるかを知っておく必要があります。まず、資料が含む情報内容により、次の2つに大別できます。1次資料、2次資料という区別は、情報探索を進める上で、大変重要なものです。

種類	特徴
1次資料	図書や雑誌論文などの、原文（もしくは原データ）そのもの。
2次資料	1次資料を探すために作られた資料。どのような資料があるか、どこにあるかなどを調べるために作られている。情報探索ではツールと呼ぶことも多い。

図表 2-3 1次資料と2次資料

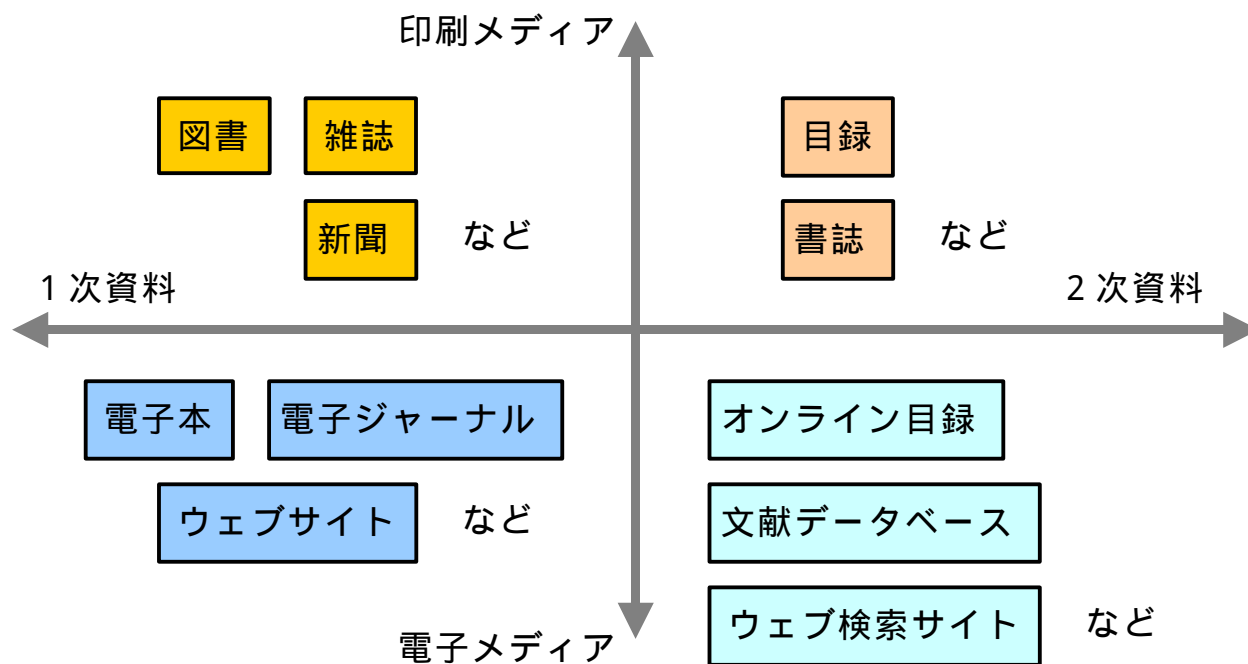
### 2.2.2 印刷メディアと電子メディア

従来主流であった印刷メディア（媒体）に加えて、電子メディアの資料も数多く出されるようになりました。それぞれの特徴を知っておくことも必要です。

種類	特徴
印刷メディア	<p>図書のように情報を紙に印刷している資料。</p> <p>情報全体の一覧性があり、目的外の箇所に偶然有用な情報を見つけだすことがある（「ブラウジングの効用」）。</p> <p>パソコンなどの特別な機器を必要としない。</p> <p>検索方法が目次や索引に限られる。</p> <p>情報の更新頻度が低い。</p>
電子メディア	<p>CD-ROM やウェブのように情報を電子化している資料。</p> <p>検索方法が多様である。</p> <p>情報の更新頻度が高い。</p> <p>使用による摩耗や劣化がほとんどない。</p> <p>パソコンなどの特別な機器が必要である。</p>

図表 2-4 メディアの違い

近年は、多様な検索が可能で便利な電子メディアが急増しています。しかし、すべての情報が電子化されているわけではありませんし、印刷メディアならではの有用性もあります。情報探索では、それぞれのメディアで探索可能なデータの範囲を知った上で利用することと、それぞれの長所を生かした探索を行うことが重要です。



図表 2-5 資料の種類

### 2.2.3 図書と雑誌

情報探索では、図書と雑誌の違いを知っておくことも重要です。

	刊行形態	内容・情報
図書	単発的に（非定期的に）出版される。	比較的まとまりのある分量の内容を持つ。
雑誌	定期的・継続的に、終期を予定せずに刊行され、一連の巻号が付与されている。	分量の少ない論文・記事を複数収録する。内容は先端的で、情報の速報性・適時性が重視される。

図表 2-6 図書と雑誌の違い

## 2.3 情報探索法

情報探索法には大別して2つの方法があります。ひとつは引用・参考文献をたどる情報探索法で、もうひとつはツールを使用した情報探索法です。

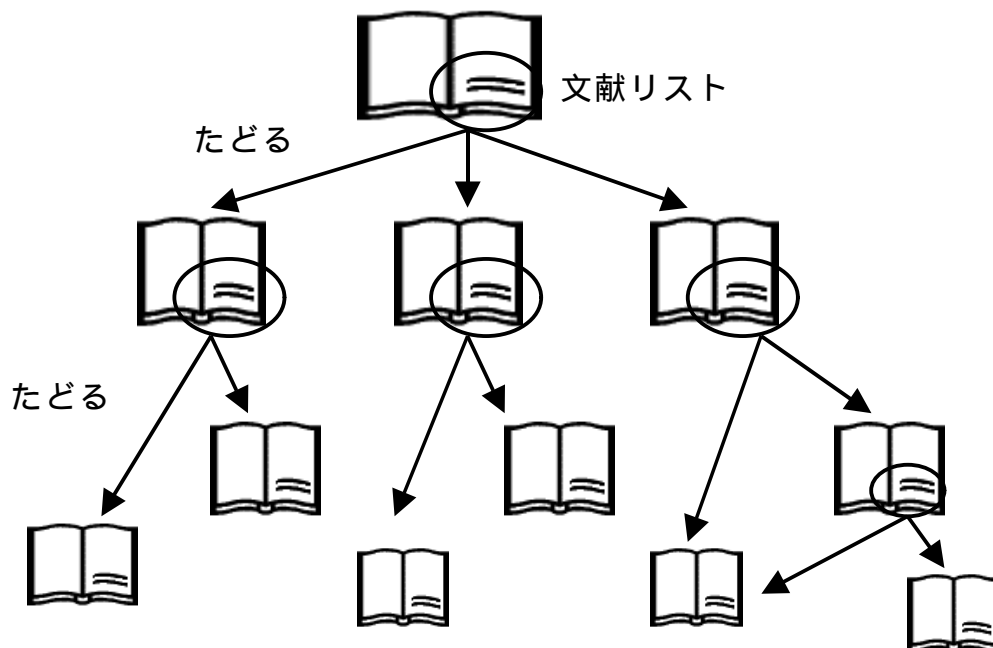
### 2.3.1 引用・参考文献をたどる

レポートや論文が要求される時、授業などで関連する図書や雑誌論文が提示されているはずですが、それらの本文中には引用文献、各章末や巻末などには参考文献が記載されています。この文献リストの中の資料を探してみると、その資料にはまた文献リストがあり、次々と文献を探しだしていくことができます。

この方法の利点は、テーマに沿った重点的な文献収集ができるということです。資料をたどっていくと、よく引用されている論文や著者、あるいは雑誌タイトルがあることに気づきます。著者名や雑誌タイトルといった文献情報に注目して、さらに幅広く情報を収集することもできるでしょう。

反面、内容が偏る恐れがありますので、ツールを使用した情報探索法を併用して、網羅的な探索に努めることが必要です。

この探索法を活用する上で知っておくべき、文献情報の読み方については、2.4で説明します。

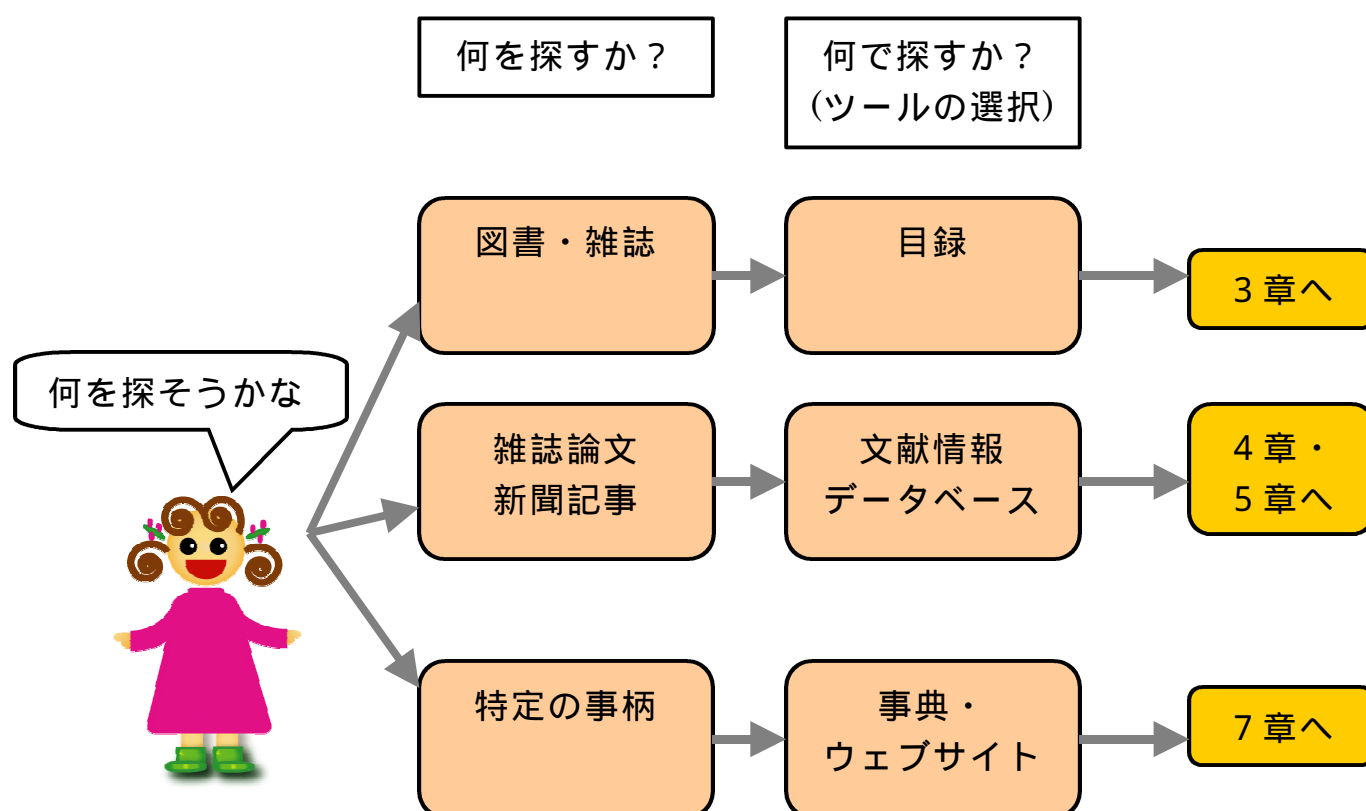


図表 2-7 引用・参考文献をたどる

### 2.3.2 ツール使用の情報探索法

資料を探すために作られたツール（2次資料）を利用することで、効率的で網羅的な情報探索を行うことができます。

しかし、ツールにはいろいろなものがあり、目的によって適切なものを選ばなければいけません。まずは、自分がどのような種類の資料を探したいのかを確認して、その種類にあった適切なツールを選びましょう。



図表 2-8 ツール使用の情報探索法

ツールを使用するにあたっては、そのツールの収録分野、収録内容、収録年代、全般的なものか専門的なものかなどを確認しておく必要があります。情報源の新鮮度についても、確認しておく必要があります。

まずはじめは分野を特定しない全般的なツールを選び、その結果をもとに、次第に専門的なツールを使ってみるとよいでしょう。

ツールを利用する上でも、2.4で説明する文献情報の読み方については知っておく必要があります。

## 2.4 文献情報の読み方

文献収集をはじめると、引用・参考文献やツールではそれぞれ文献情報の記述方式が決められていることに気づきます。文献情報には「著者名」「タイトル」などの決まった項目があります。これらの項目は書誌情報と呼ばれ、書誌情報の並べ方にはいくつかの方式があります。各雑誌やツールによって多少異なる場合もありますが、ある程度一般的な方式を説明します。

### 2.4.1 図書と雑誌の区別

図書と雑誌では、文献情報の書き方に違いがあります。3章で説明しますが、両者では資料の探し方が異なりますので、文献情報から図書か雑誌(雑誌論文)かを区別できるようにしておくことが肝心です。

次の文献リストを見て、どれが図書でどれが雑誌か区別してみてください。

#### 参考文献

- 1) 池田祥子．『文科系学生のための文献調査ガイド』．青弓社，1995．
- 2) 慶應義塾大学日吉メディアセンター編．『情報リテラシー入門』．慶應義塾大学出版会，2002．
- 3) 斉藤孝，佐野眞，甲斐静子．『文献を探すための本』．日本エディターズスクール出版部，1989．
- 4) 米澤誠．研究者等作成データベース公開事業の開始，「木這子」．vol．28，no.2，2003，p.20-23．
- 5) 実践女子大学図書館．図書・雑誌探索ページ．  
<<http://www.jissen.ac.jp/library/frame/>>

図表 2-9 文献リストの例

2.2の資料の種類で説明したとおり、雑誌には巻数・号数が付与されています。よって、4)の文献は雑誌論文であることが分ります。また、5)はURLが記載されているので、ウェブサイト上の情報であることが分ります。

ツールなどの場合は、凡例や使い方を確認することで、具体的な識別の仕方が分るでしょう。

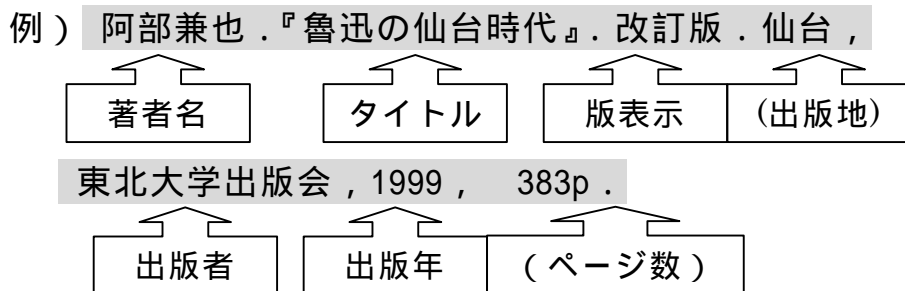
次に、それぞれの種類の書誌情報の内容を見ていきましょう。

## 2.4.2 図書

図書では、図書全体なのかその部分なのかを区別することがポイントです。ページ数の範囲や章番号が明示されているときは、図書の一部と判断できます。

### (1) 図書

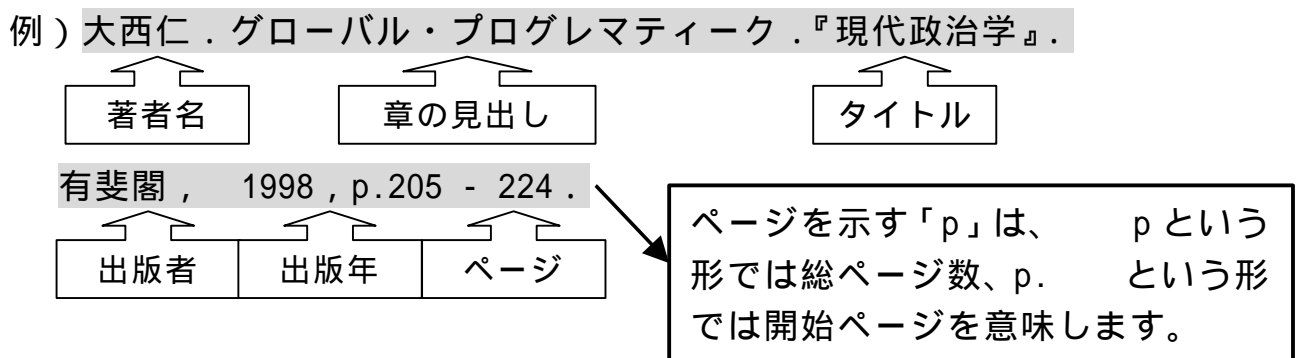
著者名・タイトル・版表示・(出版地)・出版者、出版年、(ページ数、シリーズ全体の場合は冊数)。



通常、初版のときは版表示を記載しません。多くの場合、ページ数や出版地は省略されます。また全集や百科事典など、複数の冊子全体を示す場合は、ページ数のかわりに冊数を記載します。

### (2) 図書の一部

著者名・章の見出し・タイトル・版表示・(出版地)・出版者、出版年、ページ。



### 2.4.3 雑誌

通常、雑誌文献はその巻号全体ではなく論文単位で記載されます。巻号数が付与されている点と、開始ページ数が示されている点で、図書と区別できます。

雑誌論文では、雑誌全体タイトルとその論文のタイトルが併記されているので、識別できるようにしましょう。また、洋雑誌タイトルについては、例のように略されることが多いので、省略形にも慣れるようにしてください。

例) 雑誌タイトル : Psychiatry and clinical neurosciences

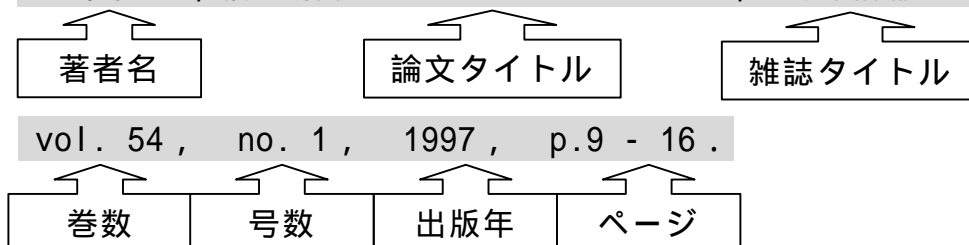
略 誌 名 : Psychiat. Clin. Neuros.

『Online Catalog』などで略誌名から検索するときは、前方一致検索(2.5.3参照)を行う必要があります。

#### (1) 雑誌中の論文

著者名, 論文タイトル, 雑誌タイトル. 巻数, 号数, 出版年, ページ.

例) 田中耕一, 構造解析のための MALDI-TOFMS, 「島津評論」.



#### (2) 雑誌の特集

特集タイトル. 雑誌タイトル. 巻数, 号数, 出版年, ページ.

例) 二十一世紀の夏目漱石. 「国文学解釈と鑑賞」.



### 2.4.4 ウェブサイト

電子メディアの中では、ウェブサイトを引用する機会が多くなりました。ウェブサイトの場合は、ウェブ上のアドレスにあたる URL(Uniform Resource Locator)が明記されています。また、ウェブサイトは変更されやすいため、厳密に記述する場合は、参照した日付がカッコで付記されます。

著者名 . タイトル ,( サイト . ) URL ,( 参照日付 ) .

例) 情報処理振興事業協会 .

↑  
著者名

IPA セキュリティセンター (IPA/ISEC) トップページ , IPA ISEC .

↑  
タイトル

↑  
( サイト )

<http://www.ipa.go.jp/security/> ,( 参照 2002-12-16 ) .

↑  
URL

↑  
( 参照日付 )



#### まめちしき 書誌

書誌という言葉には2つの意味があります。

ひとつは、「ある文献に関する書誌」という意味です。例えば、図書のタイトル、著者名などの情報を記述したものが、書誌と呼ばれます。

『Online Catalog』で、資料の所在をしめす「所蔵情報」と資料そのものに関する情報である「書誌情報」と区分けして表示しているのは、この意味での書誌に相当します。3.2.1 参照

もうひとつの意味は、個々の文献に関する書誌の「集合体としての書誌」というものです。特定の分野の文献を網羅的に収録した「主題書誌」や、ある国で刊行された書籍を収録した「全国書誌」などのツールがこれに相当します。3.5 参照



## 2.5 検索上のテクニック

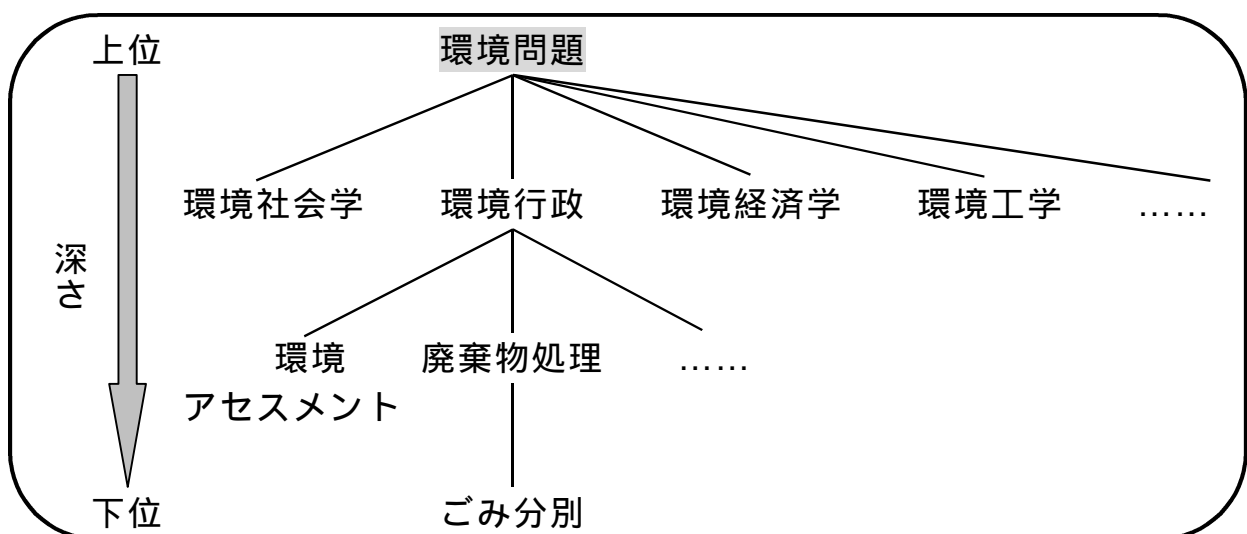
ここでは3章以降の多くのツールに共通する、検索上の基本的なテクニックを説明します。

### 2.5.1 検索語の選び方

始めに検索をするときは、資料中の単語や思いついた用語で検索をしましょう。しかし、望ましい文献が探しだせない場合や、不要な文献を省いたより適切な検索結果を望む場合は、検索語の選び方を工夫する必要があります。

#### (1) 上位語と下位語

用語には、より概念の広いものと狭いものがあります。「環境問題」というテーマを例にとると、用語には次のような関係があります。



図表 2-10 検索語の関係図

「環境問題」は、「環境社会学」や「環境行政」、「環境経済学」、「環境工学」などを含んだ、より包括的な用語です。このとき「環境問題」と「環境行政」は、上位と下位の関係になります。さらに「環境行政」の下位には「環境アセスメント」や「廃棄物処理」のような用語が属します。つまり、広いテーマで検索したいときはより上位の用語を選び、特定のテーマに絞りたいときはより下位の検索語を選ぶと、適切な結果をえることができるのです。

## (2) 同義語・関連語

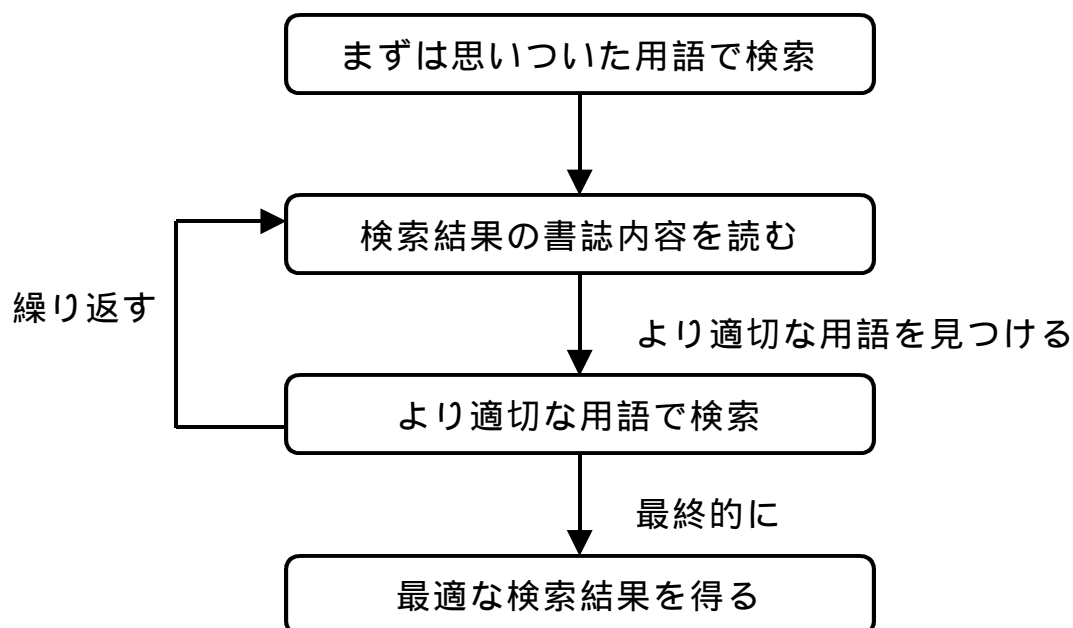
より網羅的に検索するには、同義語・関連語を使って検索をする必要があります。「環境問題」の関連語としては、「エコロジー」や「公害」などが考えられます。どのような同義語・関連語があるかは、一度得た検索結果の書誌情報をよく読み、そこに含まれる用語を調べることでわかります。また、辞書・辞典などにより調べることも有効です。

## (3) 複合語

「環境行政」は、「環境」と「行政」という単語からなる複合語です。ツールによっては、「環境行政」1語でなければ検索できなかったり、「環境」と「行政」と2語にわけなければ検索できない場合もありますので、両方で検索してみる必要があります。

ここまで説明してきたことを頭にいれつつ、まずは思いついた用語で検索してみてください。その検索結果の書誌内容をよく読むことで、さらに適切な検索語を知ることができるはずです。次にその検索語を使って、さらに検索の幅を広げてゆくことができるでしょう。

このような検索を繰り返すことで、検索語の選び方のコツが分ってくるようになるのです。



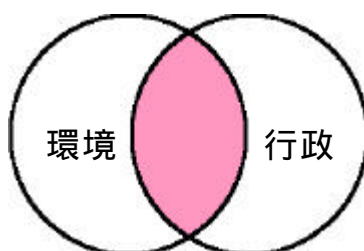
図表 2-11 検索語の選び方のコツ

## 2.5.2 論理演算

論理演算は2語以上の検索語を組み合わせ、検索するテクニックです。このときに使う「AND」や「OR」などの記号を、論理演算子と呼びます。論理演算を使うと、複数の条件に合う情報を取り出すことができ、より適切な検索結果を得ることができるようになります。ここでは、最も基本的なAND検索、OR検索、NOT検索について説明します。

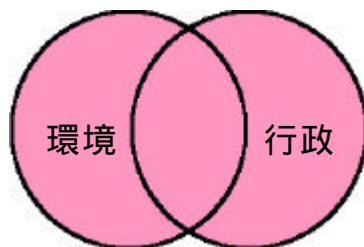
### (1) AND検索（論理積）

「環境」と「行政」両方を含むものを取り出します。



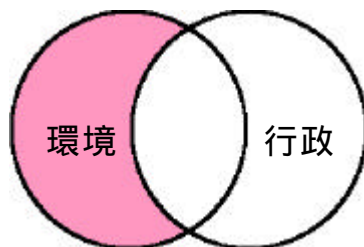
### (2) OR検索（論理和）

「環境」と「行政」いずれかを含むものを取り出します。



### (3) NOT検索（論理差）

「環境」を含み「行政」を含まないものを取り出します。



「+」や「-」などの記号を、論理演算子に使う場合もあります。

### 2.5.3 部分一致検索

部分一致検索は、検索語全体の一部を入力して検索する方法で、トランケーションともいいます。「\*」、「?」、「&」、「@」などの記号を、任意の文字列の代わりとして入力します。この記号をトランケーション記号といいます。よく使用する部分一致検索には、次の3種類があります。

#### (1) 前方一致検索

例)「環境\*」

もっとも基本的な部分一致検索で、多くの検索システムで使うことが可能です。例では、文字列の最初が「環境」で始まるのものが全て検索されます。この場合、「環境社会学」、「環境行政」、「環境経済学」などの用語をもつものが、同時に検索されます。英語などの単数形・複数形や派生語を同時に検索したいときも、語幹を前方一致で指定すると有効です。

#### (2) 後方一致検索

例)「\*環境」

語尾が同一の文字列の用語を検索する場合に使用します。例では、文字列の最後が「環境」となっているものが検索されます。この場合、「地球環境」「自然環境」などの用語をもつものが検索されます。

#### (3) 中間一致検索

例)「\*環境\*」

中間の文字列を指定します。検索結果には、前方一致や後方一致のものも含まれることとなります。例では、文字列のどこかに「環境」があるものが検索されます。この場合「生命環境倫理学」などの用語をもつものが検索されます。

部分一致検索では、指定する文字列をあまり短くすると、検索システムに負荷がかかるので注意する必要があります。また、ツールによって使用可能な部分一致検索の種類や、トランケーション記号が異なります。東北大学の『Online Catalog』では、前方一致検索だけが使用できます。

## 2.5.4 その他の機能

### (1) 絞り込み機能

多くのツールには、検索語の指定以外の方法で検索結果を絞り込むという機能が用意されています。これは、大量の検索結果を選別するのに便利な機能です。例えば東北大学の『Online Catalog』では、資料の所在、出版年、出版国、言語、分野、資料の種類などを指定して、絞り込みをすることができます。

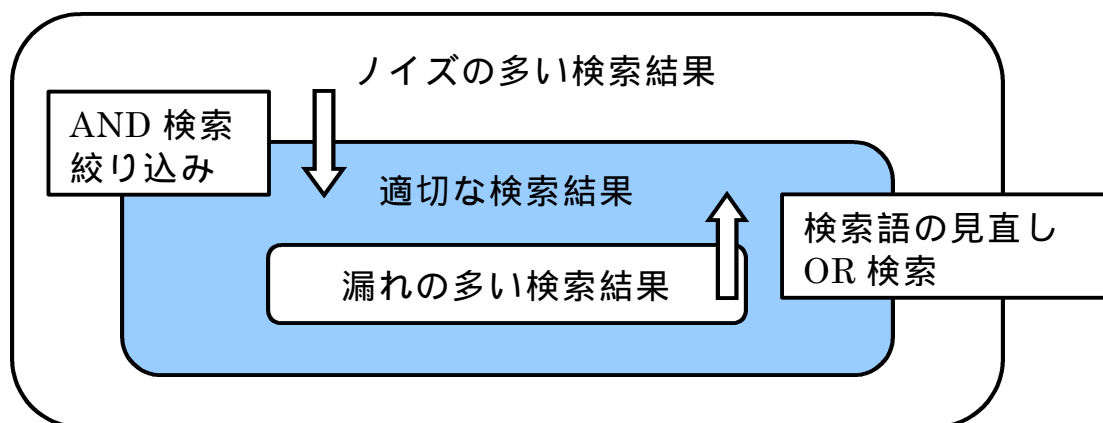
### (2) ソート機能

検索結果を並び替える機能です。資料のタイトル・著者を五十音順に並べる、資料の発行年を新しい順番にするなど、検索結果を整理して一覧するとき便利な機能です。

ここで紹介した機能のほかに、それぞれの検索システムごとに便利な機能が用意されています。各ツールの利用方法やヘルプを参照してみましょう。

## 2.5.5 検索の評価

検索をして得た結果の中には、不必要な情報も含まれることがあります。これをノイズと呼びます。包括的な用語や部分一致検索を使うと、ノイズは多くなりがちです。逆に大幅にノイズを減らそうとすると、本当に必要なものが漏れてしまう可能性もあります。論理演算や絞り込み機能により、適度に検索結果を絞り、ノイズと漏れのバランスのとれた検索をおこなうことがコツです。



図表 2-12 検索の評価

## 2.6 文献の利用と著作権

資料は、著作権法により保護されています。著作権とは、「思想又は感情を創作的に表現したものであって、文芸、芸術、美術又は音楽の範囲に属するもの」に関する権利です。図書館にある資料やインターネット上のウェブサイトなどは全て、音楽 CD と同様に著作権法上の保護を受けています。

文献やツールを使った学習や研究をするにあたって、著作権は必ず守らなければなりません。他人の著作物を無断で使用することは違法行為にあたりますし、複製して配布するなどの行為は著作権法違反となります。

しかし著作権法上、以下のような利用については許諾を得る必要はありませんので、正しく理解し、正しく使用してください。

### 私的使用のための複製（第 30 条）

資料を、個人が利用するために複製することは認められています。ただし複製物を再配布することはできません。

### 図書館などでの複製（第 31 条）

図書館では、調査研究の目的であることを条件に複製することが認められています。図書の場合は全体の一部分、雑誌の場合は刊行後一定期間経過したものに限られます。

### 引用（第 32 条）

自分の著作物に、他人の著作物を引用して利用することができます。この場合、勝手な改変や編集をしてはいけません。また、自分の文章と引用部分が区別できるよう、はっきりと分けて記述する必要があります。

著作権に関するさらに詳しい情報については、以下のサイトを参照してください。

『CRIC』 社団法人 著作権情報センター (<http://www.cric.or.jp/>)

## 休憩コーナー



### 仙台みやげといえば？（２）

「笹かま」もお菓子類と人気を二分しています。「鐘崎」「阿部かま」など各店ごとに特色ある品揃えだし、すぐ食べられるし、人数が多いときにも重宝します。「阿部かま」の店舗ではカマボコに衣をつけて揚げ、お団子のように串にさしたものを売っています。「ひょうたん揚げ」といって、当たりがでるとなんともう１本もらえます。熱々で、仙台ならではのファストフードと言えるでしょう。じわじわと支持者が増えているのは、「白謙」の笹かまです。ご贈答用というより、「おみやげに持っていくけど自分も食べるつもり」といった場合に選ばれるようです。

おみやげとはちょっとずれますが、「鐘崎」が運営している「笹かま館」（仙台市若林区）を知っていますか？ 入場無料なのに、かまぼこや魚に関するさまざまな展示あり、映像あり、グッズ販売ありで、しかも笹かま製造の一部をガラス越しに見ることもできます。笹かまに焦げ目がついていく様子になぜか感動したりします。もちろん試食もできて、焼きたてホカホカの笹かまを食べることができます。早く食べさせてくれないかなー、と製造担当者の手元を見つめる目は、焼きたての笹かまより熱くなっているかもしれません。

## 第3章

## 図書・雑誌の探し方

東北大学が所蔵する図書や雑誌を探すには、どのような方法があるのでしょうか。

また、東北大学が所蔵していない場合は、ほかにどのような調べ方ができるのでしょうか。



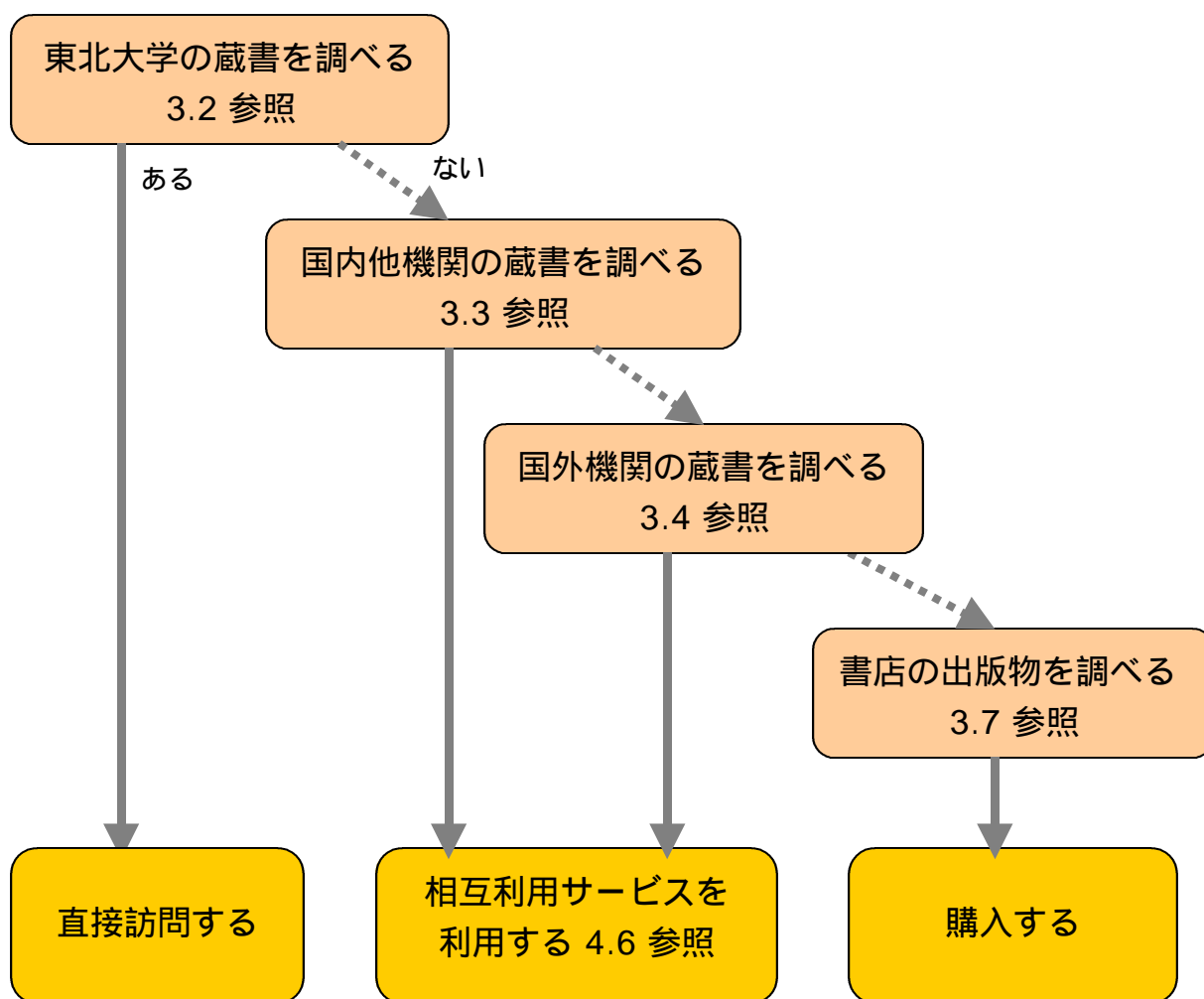


### 3.1 図書・雑誌入手までの基本的な手順

これまで説明してきたように、情報には様々な形態と種類があります。その中でも、学術情報として質・量ともに充実しており、学習・研究において最も必要とされるのが図書と雑誌です。これらは皆さんが想像される印刷物以外にも、CD-ROM やマイクロフィルム、ウェブ上の資料も含まれます。

図書や雑誌は大量に出版されており、探索するためのツールも数多くあります。それぞれのツールの特徴を知って、必要に応じて使い分ければ、効率的に探すことができます。特にウェブ上のツールは有用で、図書館や書店を通じて全国・全世界の資料を入手することもいながらにして可能です。

この章では下図のような基本的な手順にそって、それぞれのツールについて説明します。



図表 3-1 図書・雑誌入手までの基本的な手順

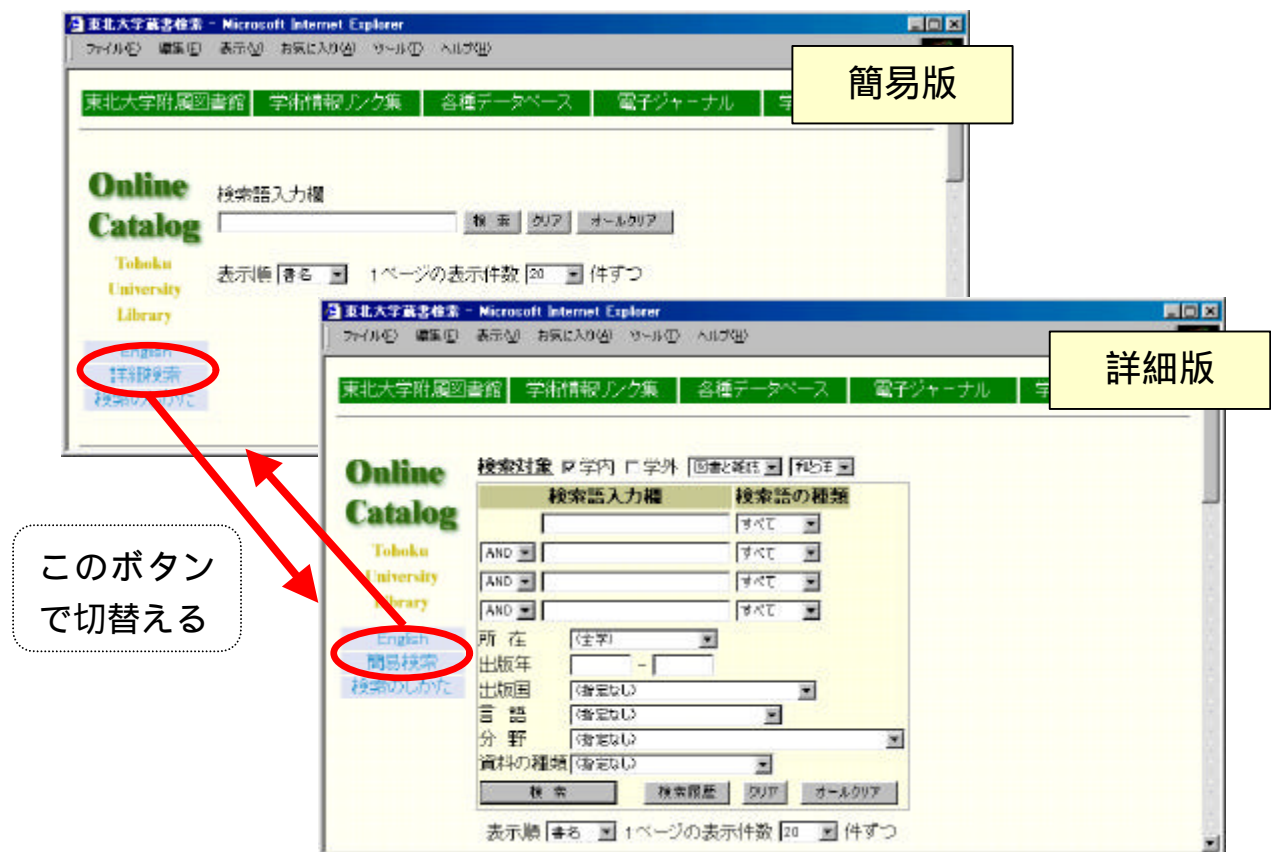
## 3.2 東北大学の蔵書を調べる

### 3.2.1 『Online Catalog』（東北大学附属図書館オンライン目録）

これは、東北大学にある資料のうち、図書約 128 万冊・雑誌約 7 万種を検索することができる、最も基本的なツールです。ウェブで公開していますので、館内はもちろん全国どこからでも利用できます。

『Online Catalog』には、簡易版と、絞り込みなど検索条件を細かく指定できる詳細版があります。附属図書館ホームページで「オンライン目録」または「蔵書検索」をクリックしてください。

- 『Online Catalog』 東北大学附属図書館  
(簡易版 : <http://www.library.tohoku.ac.jp/T-LINES/opac/index.html>)



図表 3-2 『Online Catalog』 トップページ

## (1) 検索語の入力方法

『Online Catalog』で資料を探索するには、「検索語入力欄」に探す資料のタイトルや著者名などを入力します。サーチエンジンなどとは異なり、一定の規則によって検索語を加工して検索するので、その仕組みや機能を知っていると、より正確で効率のよい検索をすることができます。

以下のようなポイントを押さえておくとよいでしょう。

### 基本

- タイトルや著者名を、先頭の文字からすべて入力する。

例) 「電気回路を中心とした線形システム論」

「Digital computations in basic circuit theory」

タイトルの一部でも異なると正確に検索できないので注意が必要です。

- キーワードとなる用語をスペースで区切って入力する。

例) 「電気 回路 中心 線形」

「digital computations circuit theory」

このように区切って入力すると、用語間の AND 検索をします。 2.4.2 参照

「電気回路」という複合語ではなく、「電気」「回路」と分けると、ヒットする件数がより増えます。

### トランケーション記号 2.4.3 参照

「\*」を付けると前方一致検索をします。

例) 「電気回路を中心とした\*」

「偶発\* バトラー\*」

ジュディス バトラー著「偶発性・ヘゲモニー・普遍性：新しい対抗政治への対話」がヒットします。

「jour\* app\* phys\*」

「Journal of applied physics」などがヒットします。

「sociolo\*」

「sociology」「sociologist」「sociological」などの語を含む  
データがヒットします。

ヒットするとは、「該当するものが抽出される」、「検索結果として得られる」という意味で、データベース検索において使われる言葉です。

### 検索語入力補助機能

『Online Catalog』には、以下のような表記の違いを気にせずに検索できる機能も付いています。これらを知ることによって、より簡単に効率的な検索をすることができます。

- 日本語で検索する場合、ひらがな・カタカナ・漢字いずれで入力しても、混在していてもよい。

例) 「プラトン」「ぷらとん」

「わたなべ」「ワタナベ」

後者では、「渡辺」「渡部」などがヒットします。

- 漢字は、旧字体でも新字体でもよい。

例) 「西澤」「西沢」

「應用」「応用」

旧字体で表記された資料も、新字体で検索できます。

- 全角・半角は区別しなくてよい。

例) 「必読書150」「必読書 150」

「CD-ROM」「CD-ROM」

- アルファベットで検索する場合、大文字・小文字のどちらでもよい。

例) 「INFORMATION」「Information」「information」

## 注意事項

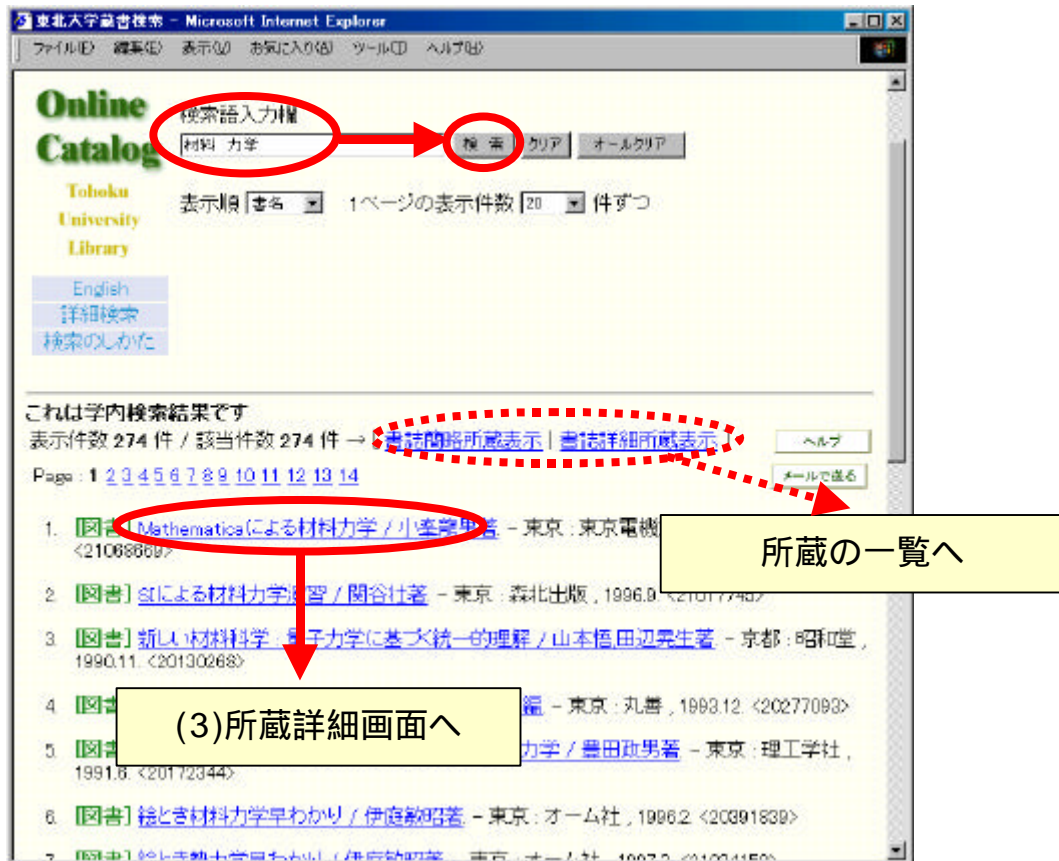
- ウムラウトなどの綴り字記号（¨など）、アクセント記号（´など）は除く。  
これらの記号がついた文字を入力するとヒットしません。  
例）「wörterbuch」 「worterbuch」
  
- 図書と雑誌の区分に注意する。  
図書と雑誌の区分は意外にわかりにくいものです。一般に「雑誌」と呼ばれる月刊誌、季刊誌などだけではなく、一年に一度発行されるようなものも雑誌（逐次刊行物）に含まれます。（2.2.3参照）  
例えば「現代用語の基礎知識」は、東北大では雑誌として扱っています。他に年鑑類、法令集なども雑誌として扱われる場合が多くなっています。検索するときに図書のみ限定しない、あるいはヒットしないときに雑誌の検索もおこなうなど、注意してください。
  
- 論文のタイトル・著者名では検索しない。  
『Online Catalog』は、図書や雑誌のタイトル・著者名などから検索するツールです。個々の論文のタイトルや著者名からは検索できません。論文を探している場合は、掲載している雑誌のタイトルで検索し、その雑誌を所蔵しているかどうかを調べることができます。4章参照
  
- 雑誌の巻号・年次を入れて検索しない。  
『Online Catalog』では、雑誌の「巻号」は検索対象になりません（図書の巻号は検索できます）。また、雑誌の「出版年」からも検索できないので注意してください。  
まず、タイトルなどから雑誌を検索し、所蔵一覧の画面などで探している巻号があるかどうか確認してください。（4）参照
  
- 検索についてくわしく知りたいときには「検索のしかた」のリンクをクリックしてください。

## (2) 検索結果の見方

検索語を入力して「検索」ボタンを押すと検索が始まり、ヒットした資料が画面下に一覧表示されます。

ここでは、簡易版の画面例で説明します。

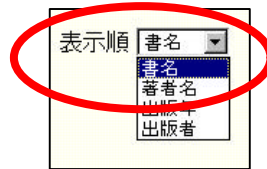
例)「材料力学」に関する資料を探す場合



図表 3-3 『Online Catalog』検索結果一覧画面

図書と雑誌の両方がヒットした場合には、図書の一覧の後に雑誌の一覧が表示されます。

- 一覧表示順の初期設定は、「書名」です。ほかに「著者名」「出版年」「出版者」の順に表示することができます。変更したい場合は、「書名」を別のものに変更し、再度検索ボタンをクリックしてください。



図表 3-4 表示順

- 一覧表示された資料の中から特定の1件をクリックすると、所蔵詳細画面(図表 3-7)に移ります。
- シリーズ名のリンクをクリックすると、そのシリーズに含まれる資料の一覧表示画面に変わります。



図表 3-5 シリーズ一覧の画面例

- 一覧表示されたものすべての所蔵を見たい場合は、「書誌簡略所蔵表示」または「書誌詳細所蔵表示」をクリックしてください。



図表 3-6 書誌簡略所蔵表示の画面例

- この画面についてさらにくわしく知りたい時は、「ヘルプ」のボタンを押してください。

### (3) 所蔵情報の見方 ～ 図書の場合～

一覧表示された資料の中から特定の1件をクリックすると、所蔵詳細画面に移ります。まずは、図書の画面例を見てみましょう。

The screenshot displays the online catalog interface for a book. The top section shows the title '材料力学 / 加藤正名〔ほか〕共著' (Strength of Materials / Edited by Masanao Katayama et al.) and the series '(新機械工学シリーズ)' (New Mechanical Engineering Series). Below this, publication details are listed: publisher (東京: 朝倉書店), year (1988.6), size (186p; 22cm), and price (2900円). A table below shows holdings information for two locations: '本館学関' (Main Library) and '工学分館' (Engineering Division). The table columns include volume number, location, request number, accession number, status, and old registration number. The '工学分館' entry shows a status of '貸出中' (On loan).

**書誌情報(タイトル、著者名、出版者など)**

**所蔵情報**

巻次	所在場所	請求記号	資料番号	状態	旧登録番号
	本館学関	M233/043	00880445770		
	工学分館	501.32/90	03960010709	貸出中	

図表 3-7 『Online Catalog』 図書所蔵詳細画面

所蔵情報の各項目について

項目名	内容
巻次	第1巻・第2巻、東北編・関東編などの巻名・部編名があれば表示します。
所在場所	資料が置いてある場所(建物、フロア、コーナー)を表します。
請求記号	どの書棚に並べられているかを表します。図書に付いているラベルの番号です。
資料番号	資料のID番号です。
状態	貸出中や現物不明のときに、その情報が表示されます。
旧登録番号	データベースに登録される以前に、カード目録で使っていたID番号です。



請求記号ラベルの例

資料を探しに行くときは、所在場所と請求記号が必要ですので、メモに控えてください。カウンターに問い合わせるときは、それに加えて資料番号があると容易に調査・確認ができます。





## 「請求記号」と分類体系

図書館の図書には、書棚の中での位置を示す記号が付けられています。この記号を「請求記号」とよびます。請求記号は、多くの場合図書のテーマ（主題）を表す分類記号と、その中での並び順を表す図書記号（著者名の頭文字や整理番号）とで構成されています。図書館では、請求記号のラベルを図書の背にはり、その順に書棚に並べています。

東北大学では本館、分館ごとに使用している分類の種類が異なります。例えば図表 3-7 の事例では、本館と工学分館では違う分類を使用しているため、請求記号が異なります。

所在場所	請求記号
本館学閲	M233/043
工学分館	501.32/90

図表 3-8 本館と工学分館の分類の違い(図表 3-7 の一部)

また、一つの図書館のなかでも、古い図書には異なる分類が使用されていることがあります。

現在おもに使用している分類は、以下の表のようになっています。個々の分類体系の内容については、付録 2 を参照してください。

本館 北青葉山分館	国立国会図書館図書分類 (NDLC) 東北大学では新分類と呼んでいます
医学分館	米国国立医学図書館分類 (NLMC) 医学分野に特化した分類です。それ以外の主題の資料は NDLC で分類しています
工学分館 農学分館	日本十進分類 (NDC) 公共図書館や学校図書館で広く採用されている分類です

図表 3-9 本館・分館の分類体系

#### (4) 所蔵情報の見方 ～雑誌の場合～

大学図書館は、学習や研究に必要な資料を揃えるという役割から、学術雑誌のバックナンバーも保存しています。しかし、雑誌の1号1号は薄くて柔らかい形状のものが多く、そのままでは破損・散逸する危険性があり、長期保存に適していません。そこで、発行から一定期間経った雑誌は、何冊か綴じ合わせて製本するという処理を行っています。



未製本雑誌（新着雑誌）



製本雑誌

未製本雑誌（新着雑誌）と製本雑誌とは別の場所に置かれていることが多く、『Online Catalog』の画面でも別に扱われているので注意しましょう。また、雑誌は書棚ではタイトル順に並んでいることが多いので、タイトルを控えていくとよいでしょう。



#### まめちしき 所在場所について

名称をみても所在場所がどこかわからない時は、名称をクリックしてみましょう。正式名称などを確認することができます。所在が図書館以外（研究室など）の場合には、利用可能かどうか「問合せ先」のカウンターに相談してください。

図書館内でも特有なものとして、「本館書庫～」の所在があります。本館の書庫は許可された利用者（教官、大学院生、利用講習会を受けた2年生以上の学部学生）以外は入ることができません。それ以外の方は、本館のメイン・カウンターに資料を請求することになります。出納や書庫への入庫の受付時間は、開館時間と異なりますので注意してください。

## 所蔵一覧画面

所蔵一覧画面では、全学の所蔵情報が一覧できます。

一覧画面は、概要情報です。特定の巻・号を探す場合には、いずれかの図書館・キャンパスの、製本欄の「あり」、または未製本所在の場所をクリックして、具体的な所在場所を確認してください。

(例) 「Accounts of chemical research」の場合

**Accounts of chemical research**

**巻次年月次** Vol. 1, no. 1 (Jan. 1968)-  
**出版者** Washington, D.C. : American Chemical Society  
**出版年** 1968-  
**別誌名** AB:Acc. chem. res  
 KT:Accounts of chemical research  
**一般注記** Monthly  
**変遷注記** 派生前誌: [Journal of the American Chemical Society / American Chemical Society](#)  
**著者標目** American Chemical Society

**関連情報**  
 \*\*\* [電子ジャーナル情報](#) [学内限定]  
 \*\*\* [E-Journal information](#) [on-campus only]

[目次](#)

[前へ戻る](#) [複写・借用申込](#) [ヘルプ](#)

所在	所蔵巻号	年次	備考	製本	未製本所在	継続
<a href="#">多元研図書反応</a>	1-34	1968-2001		あり	<a href="#">多元研図書室(反応)</a>	中止
<a href="#">医短図書室</a>	16-26,27(1-3,5-12),28-29	1983-1996		あり	<a href="#">医短総合長期</a>	中止
<a href="#">北青葉山分館</a>	1-36,37(1)+	1968-2004	3004	あり	<a href="#">北青葉山分館</a>	継続
<a href="#">工学分館</a>	1-34	1968-2001		あり	<a href="#">工学分館</a>	中止
<a href="#">川内地区</a>				なし	<a href="#">#理*基化学</a>	中止

所蔵詳細(製本)画面へ

所蔵詳細(未製本)画面へ

書誌情報

所蔵情報

図表 3-10 『Online Catalog』 雑誌所蔵一覧画面

雑誌の書誌情報の内容は図書とほぼ同じですが、雑誌に固有な下記のような情報があります。

■ 変遷注記

雑誌には、刊行途中でタイトルが変わったり、複数の雑誌に分かれたり、ひとつの雑誌に統合されたり、というタイトル変遷があります。そういった関係の雑誌がある時に変遷注記があり、それぞれの雑誌書誌にリンクがはられています。

■ 電子ジャーナル情報（関連情報）

電子ジャーナル情報へのリンクです。 4.5 参照

項目名	内容
所在	資料が置いてある場所(キャンパス・建物・学科など)を表します。
所蔵巻号	所蔵している巻号を表します。 例)「1,21-41」 「1巻と、21巻から41巻までを所蔵している」という意味です。 例)「1-20,21(1-4,6-12),22-41+」 ( )内は号を表します。この場合は、21巻5号がないこととなります。また、末尾の「+」は、それ以降の最新号も継続購入しているという意味です。
年次	所蔵している雑誌の年の範囲を表します。
備考	場所や所蔵巻号などに関する注記があれば、表示します。
製本	製本されている場合は「あり」と表示され、クリックすると各館・キャンパスごとの所蔵詳細(製本)画面に移ります。
未製本所在	各館・キャンパスごとの未製本雑誌が置いてある場所を表し、クリックすると所蔵詳細(未製本)画面に移ります。
継続	最新号を継続購入しているかどうかを表示します。

図表 3-11 所蔵情報の各項目について

## 所蔵詳細（製本）画面

図表 3-10 の画面で、北青葉山分館の製本「あり」をクリックしたときの画面です。

製本巻号	製本年次	所在場所	資料番号	状態	請求記号	旧登録番号
1	1968	<a href="#">北青葉山分館</a>	<a href="#">03725002363</a>			
2	1969	<a href="#">北青葉山分館</a>	<a href="#">03725002371</a>			
3	1970	<a href="#">北青葉山分館</a>	<a href="#">03725002380</a>			
4	1971	<a href="#">北青葉山分館</a>	<a href="#">03725002398</a>			
5	1972	<a href="#">北青葉山分館</a>	<a href="#">03725002402</a>			

図表 3-12 『Online Catalog』雑誌所蔵詳細(製本)画面

この画面では、以下の点を確認しましょう。

- 必要な巻号があるかどうか  
所蔵一覧画面の「所蔵巻号」では詳細までわからないことがありますので、ここで「製本巻号」を確認してください。
- どこにあるか  
所蔵一覧画面の「所在」がキャンパスまでしかわからない場合や、図書館だとしても一部は別の場所や研究室にある場合があります。「所在場所」で正確な場所を確認する必要があります。
- 「状態」欄に記載がないか確認してください。  
(貸出中や現物不明など)

## 所蔵詳細（未製本）画面

図表 3-10 の画面で、北青葉山分館の未製本所在をクリックしたときの画面です。

Accounts of chemical research

巻次年月次 Vol. 1, no. 1 (Jan. 1968)-  
 出版者 Washington, D.C.: American Chemical Society  
 出版年 1968-  
 別誌名 AB:Acc. chem. res  
 KT:Accounts of chemical research  
 一般注記 Monthly  
 変遷注記 派生前誌: [Journal of the American Chemical Society / American Chemical Society](#)  
 著者標目 American Chemical Society

関連情報  
 \*\*\* [電子ジャーナル情報](#) [学内限定]  
 \*\*\* [E-Journal Information](#) [on-campus only]

目次

前へ戻る 複写・借用申込 ヘルプ

未製本配架場所	製本後所在	継続情報	保存情報
<a href="#">北青葉山分館</a>	<a href="#">北青葉山分館</a>	継続	本製本

巻号	通号	パート	発行日	受入日	処理	備考
36	1		2003. 1. 1	2003. 2. 6		
36	2		2003. 2. 1	2003. 3.10		
36	3		2003. 3. 1	2003. 4. 1		
36	4		2003. 4. 1	2003. 5. 1		

図表 3-13 『Online Catalog』 雑誌所蔵詳細(未製本)画面

この画面では、先にあげた点のほかに、以下の点も確認しましょう。

- 製本中でないか  
「処理」欄が「製本中」なら、一時的に館内にないため利用できません。
- 欠号でないか  
「処理」欄が「欠号」なら、巻号が表示されていても現物はありません。

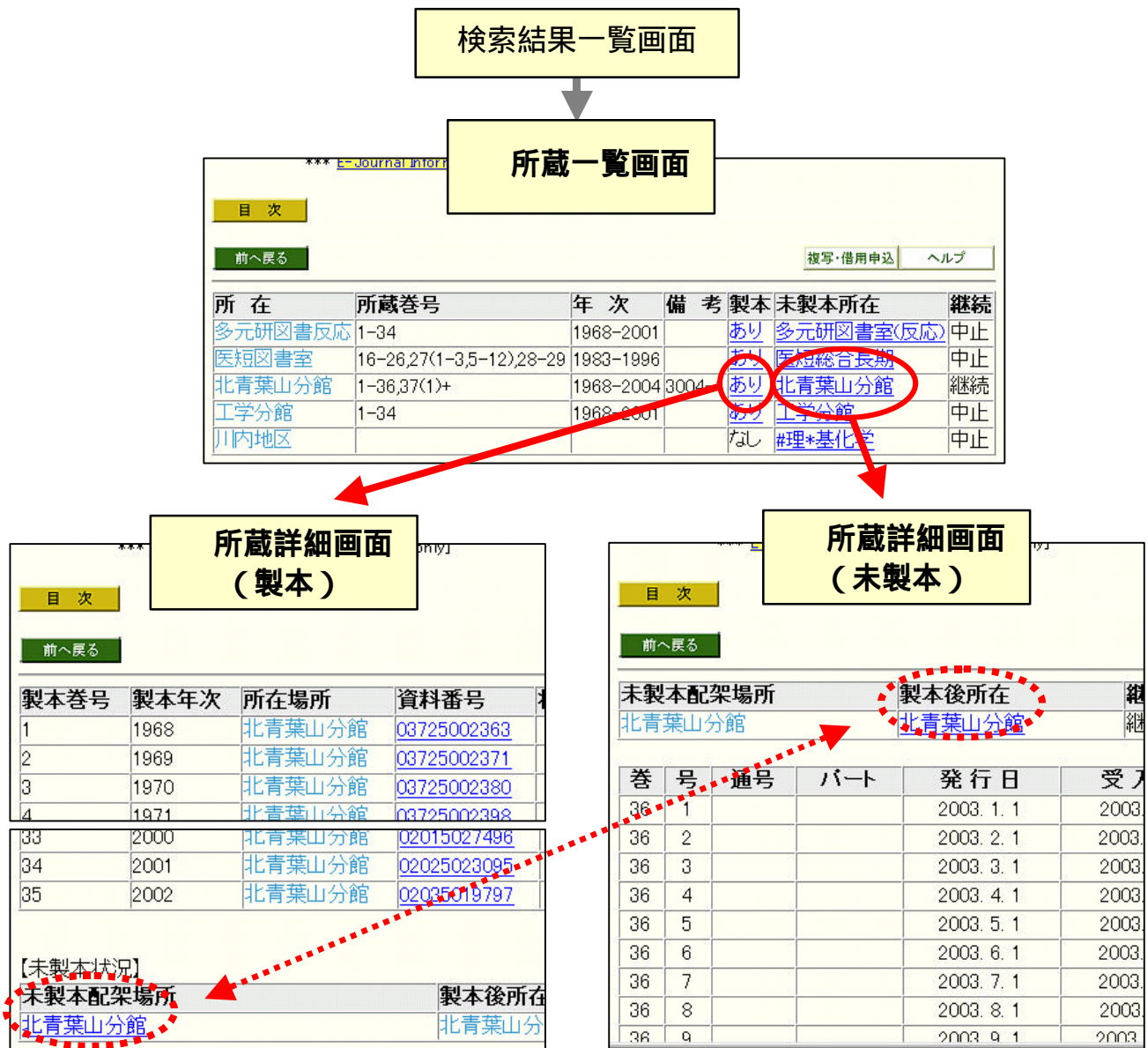
また、一部の例外として下記のようなものがあります。

- 製本されない雑誌の所在  
発行から一定期間経っても、製本されない雑誌もあります。それらの一部には、所蔵詳細（未製本）画面に表示されていても、製本雑誌の書棚にある場合があります。見つからないときは、カウンターに尋ねてください。

ここまで、『Online Catalog』における、雑誌の場合の画面を説明してきました。雑誌は図書と異なり、検索結果一覧をクリックすると表示される「所蔵一覧」の後にさらに別の画面を開きます。画面のながれは下の図のようになっています。

未製本雑誌（新着雑誌）と製本雑誌とで詳細画面が分かれているところがポイントです。

製本の詳細画面と未製本の詳細画面とは互いに参照することができます。



図表 3-14 『Online Catalog』 雑誌所蔵詳細画面の流れ

## (5) 詳細版の機能

検索条件を細かく指定したい場合には、詳細版を使います。検索語の入力方法や検索実行後の検索結果の見方は、簡易版と同様です。

- 『Online Catalog』 東北大学附属図書館  
(詳細版：<http://www.library.tohoku.ac.jp/T-LINES/opac/index-2.html>)

The screenshot shows the 'Online Catalog' search page. At the top, there are navigation links: '東北大学附属図書館', '学術情報リンク集', '各種データベース', '電子ジャーナル', and '学術情報ポータル'. The main content area is titled 'Online Catalog' and includes the 'Toboku University Library' logo. Below the logo, there are search options: '検索対象' (Search Target) with radio buttons for '学内' (On-campus) and '学外' (Off-campus), and a dropdown for '図書と雑誌' (Books and Journals). The '検索語入力欄' (Search Term Input Field) has four rows, each with a text input box and a dropdown menu for '検索語の種類' (Search Term Type), with 'すべて' (All) selected in each. Below this, there are dropdown menus for '所在' (Location), '出版年' (Publication Year), '出版国' (Country of Publication), '言語' (Language), '分野' (Field), and '資料の種類' (Type of Material). At the bottom, there are buttons for '検索' (Search), '検索履歴' (Search History), 'クリア' (Clear), and 'オールクリア' (All Clear). A status bar at the very bottom shows '表示順' (Sort Order) set to '書名' (Title) and '1ページの表示件数' (Number of items per page) set to '20'.

図表 3-15 『Online Catalog』詳細版検索語入力画面

詳細版だけの機能として、以下のようなものがあります。検索結果にノイズが多い場合に、いろいろな条件で絞り込む機能が含まれています。

- 検索語の種類（タイトル・著者・出版者など）指定できる。
- 図書・雑誌を指定できる。
- 和書（日本語、中国語、韓国・朝鮮語）・洋書を指定できる。
- 入力欄が複数あり、論理演算子を組み合わせることができる。 2.4.2 参照
- 資料が置いてある所在（キャンパス、部局）で絞り込むことができる。
- 出版年・出版国・言語・資料の種類（地図、ビデオなど）を指定できる。
- 分野で絞り込むことができる。 3.5.1 参照
- 検索履歴を参照できる。
- 学外検索ができる。 3.3.2 参照

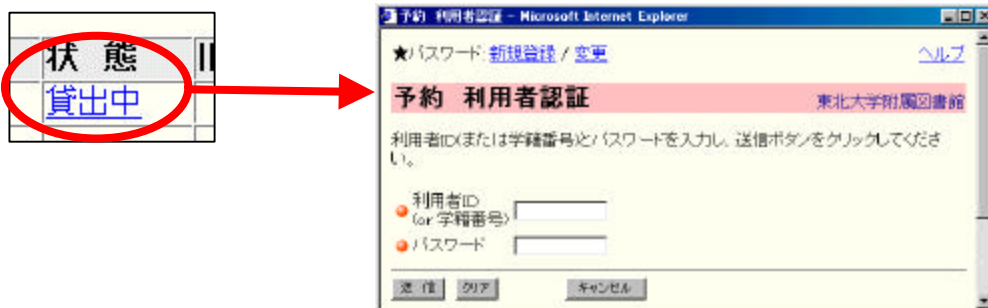




## 『Online Catalog』関連機能

『Online Catalog』からは、関連するさまざまなウェブサービス機能を使うことができます。

- 検索結果をメールで送る機能  
検索結果一覧画面の「メールで送る」ボタンをクリック
- 貸出中資料の予約機能  
所蔵詳細画面の「貸出中」リンクをクリック



- 電子ジャーナルや雑誌目次情報へのリンク 4.5 参照  
雑誌所蔵一覧または所蔵詳細画面の「電子ジャーナル情報」リンクや「目次」ボタンをクリック（図表 3-10 の画面を参照）。
- 相互利用サービス（複写・借用）の申込機能 4.6.1 参照  
所蔵詳細画面の「複写・借用申込」ボタンをクリック（図表 3-10 の画面を参照）。
- 学生用図書購入希望の申込機能  
所蔵詳細画面の「購入依頼」ボタンをクリック（図表 3-7 の画面を参照）。

各機能のうち、「電子ジャーナルや雑誌目次情報へのリンク」以外のサービスを利用の際には、パスワードやメールアドレスの登録を行ってください。

## (6)検索できない資料

次のいずれかに該当する資料は、『Online Catalog』に登録されていない場合があります。検索してヒットしない場合は、カード目録(3.2.2 参照)や冊子体目録(3.6.1 参照)で調べてください。

- 1986年以前に出版された図書
- 1995年3月以前に出版された中国語の図書
- 1999年3月以前に出版されたハングルの図書

ただし、ヒットしなかった場合でも、2章及び3.2.1(1)を参考にして、検索語が適切だったかどうかを確認しましょう。

### 3.2.2 カード目録

現在ではデータベースを利用することの多い蔵書検索ですが、以前には多くの図書館でカード目録が使われていました。東北大学においても、データベースが充実するまではカード目録で検索していました。

古い資料も順次データベースに入力されていますが、全蔵書の約25%は未入力で検索できません。3.2.1(6)の検索できない資料については、カード目録でも検索してください。



カード目録は各館のカウンター付近にあります。

図表 3-16 カード目録

## (1) カード目録の種類と検索可能な年代

カード目録は、資料の年代・所蔵されていた場所などによって数種類ありますので、それぞれを検索する必要があります。

本館には以下のようなカード目録があり、医学部、歯学部を除くほぼ全館の資料が調べられます。その他各分館にも、その館分のカード目録があります。

### 1973年以降の資料

- 新分類カード目録（1986年以前の全学の蔵書。ただし、医・歯学部を除く）
- 中国語図書カード目録（1987年以降1995年3月以前の中国語の図書）
- ハングル図書カード目録（1987年以降1999年3月以前のハングルの図書）

### 1972年以前の資料

- 旧片平図書館カード目録（文科系学部・旧本館の蔵書）
- 旧片平古典カード目録（文科系学部・旧本館の古典籍資料とその関係書）
- 旧教養部カード目録（旧教養部分館の蔵書）
- 旧教養部分館学閲カード目録（旧教養部分館の学生閲覧室の図書）
- 旧理工系図書カード目録（理工系学部・研究所の蔵書）

古典籍資料などにはカード目録になっていないものがあります。それらについては、3.6.1で説明します。



### **まめちしき** 旧片平、旧教養部ってなに？

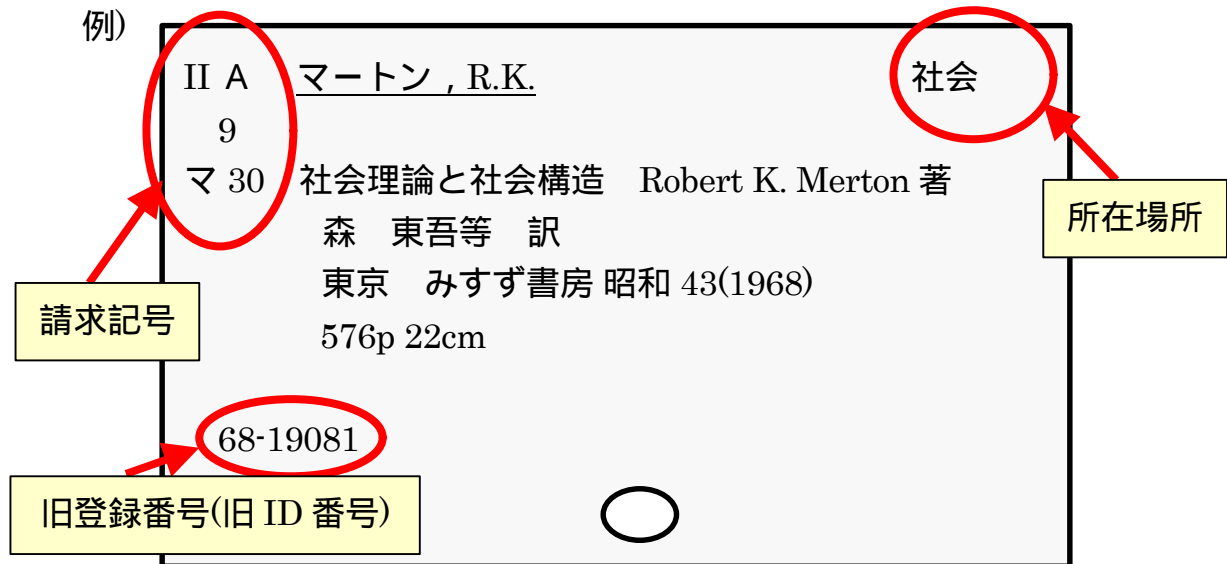
現在の本館の建物は、1973年にできました。それ以前には、片平キャンパスに本館があり、川内キャンパスには教養部分館がありました。二つが統合されたのが現在の本館です。

そのため、統合以前の資料についてはそれぞれの分類体系で整理されており、書棚もカード目録も分かれています。これらの統合以前の資料を「旧片平」と「旧教養部」と呼んでいます。

分館や各図書室も、組織の改編を経て現在にいたっており、資料の配置場所が分かれていることがあります。書棚の場所や資料の探し方など、わからないことがあればカウンターに相談してください。

## (2) カード目録の見方

各目録カードには、書誌情報と所蔵情報がまとめて書かれています。



図表 3-17 目録カードの例

その資料の所在場所は、各目録カードの四隅いずれかに書かれています。

図書館・学科・研究室名の略称ですが、どこを指すのかわからないときは、備え付けのカード目録の利用案内などを見てください。

資料を探しに行くときは、『Online Catalog』で調べた場合と同様に、所在場所・請求記号が必要ですので控えてください。

所在場所が図書館内であれば、直接行って請求記号により探すことができますが、上記の例のように学科や研究室となっている場合は困難です。また、表記の場所から別の場所に移動していることも考えられます。図書館以外の場所の場合は、まずカウンターに問い合わせてください。その際は、旧登録番号もあわせて伝えるとよいでしょう。

### (3) カード目録の配列順

カード目録には、「書名順」「著者名順」「請求記号(分類)順」という種類があります。

和書の「書名順」と「著者名順」のカード目録は、ヨミのアルファベット順になっている場合と50音順になっている場合があります。

#### ヨミのアルファベット順での注意

- ヘボン式ローマ字で調べてください。(ヘボン式は「shi」「chi」などの変則綴りがあるローマ字化方式)  
例)「災害の社会心理学」 saigai no shakai shinrigaku  
「競争と管理の学校史」 kyoso to kanri no gakkoshi
- 長音(ー)は無視します。  
例)「超電導リニアモーターカー」 chodendo rinia motaka

#### ヨミの50音順での注意

- 濁音、半濁音は清音として、よう音、促音を表す小字は直音とします。  
例)「出版の技術」 シユツハン ノ キシユツ
- タイトル中の以下の文字は、右のように読み替えます。  
「づ」「ず」(ず) 例)「志津川町誌」 シスカワチヨウ シ  
「ぢ」「じ」(じ) 例)「ラヂオの修理」 ラシオ ノ シユウリ  
助詞「は」「わ」 例)「吾輩は猫である」 ワカハイワ ネコテアル  
"「へ」「え」 例)「仙台への道」 センタイ エノ ミチ  
"「を」「お」 例)「宇宙を探る」 ウチユウ オ サクル
- 長音(ー)は無視します。  
例)「ローマ裁判制度」 ロマ サイハン セイト

### 3.3 国内他大学・他機関の蔵書を調べる

#### 3.3.1 どのような機関があるか

欲しい資料が東北大学内に所蔵されていなかった場合は、他機関（図書館）の蔵書を検索してみましょう。一般的にみなさんが利用できる図書館は、以下のような種類に分けることができます。

種類	設置機関と収集する資料
大学図書館	国公立の各大学が設置し、学生・教員の学習・研究支援のための学術的な資料を集める。
公共図書館	各地方公共団体が設置する図書館。市民の教育・調査研究・レクリエーション活動を支援するための教養書・文芸書・娯楽書を収集する。また、地元新聞・郷土資料・行政情報などを保存し、地域の文化継承機関としての一翼を担う。
国立国会図書館	日本で唯一の国立図書館（東京本館・関西館・国際子ども図書館の3館からなる）。国内で刊行された出版物を、納本制度により網羅的に収集している。また、古典籍資料・博士論文・海外レポートなど幅広い資料も収集する。国会議員の調査研究活動や、行政・司法部門を支援するための資料も収集・提供している。
専門図書館	国公立さまざまな設置機関があるが、いずれも明確な方針で特定の分野・テーマに関する資料（図書・雑誌、広報誌・会議録・報告書、パンフレット、CD、ポスター、楽譜など）を集中的に集めている。図書・雑誌に限らず、さまざまな形態の資料を収集している所も多い。

図表 3-18 図書館の種類と特徴

最近では、東北大学の『Online Catalog』同様、各機関の蔵書もウェブから検索できるようになってきています。3.3.2 から上記種類ごとにおもなツールを説明します。

検索語の入力方法や、検索できる資料の種類や年代が機関ごとに異なりますので、各ツールを利用する際はそれぞれの機関の利用案内を確認してください。

### 3.3.2 他大学図書館の蔵書を調べる

まずは、他の大学図書館で所蔵していないかをしらべましょう。

国立情報学研究所が提供している『総合目録データベース』を使えば、全国の大学・研究機関など1000以上の図書館の蔵書をまとめて検索することができます。登録されている資料数は図書約640万件、雑誌約27万件にのぼります。

『総合目録データベース』を検索するにはいくつかの方法があります。

- 『NACSIS Webcat』 国立情報学研究所 (<http://webcat.nii.ac.jp/>)



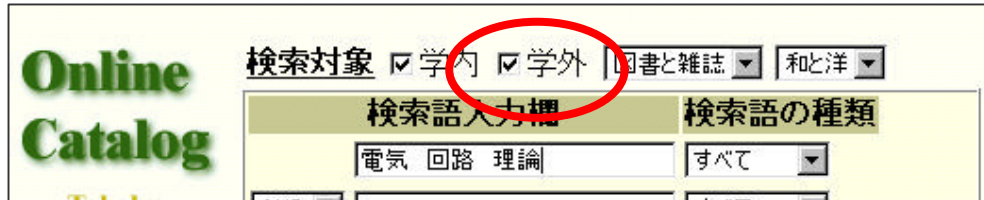
図表 3-19 『NACSIS Webcat』 検索画面

- 『Webcat Plus』 国立情報学研究所 (<http://webcatplus.nii.ac.jp/>)  
「連想検索」の機能がある、くわしくは3.5.1参照。現在、和書のみ。
- 『Online Catalog』 (詳細版) 東北大学附属図書館  
(<http://www.library.tohoku.ac.jp/T-LINES/opac/index-2.html>)  
日曜日は、学外検索機能が利用できません。

それぞれに画面や機能が多少異なりますので、目的によって使い分けてください。

ここでは、『Online Catalog』詳細版での検索をくわしく説明します。

画面上にある検索対象の「学外」にチェックを入れると、『総合目録データベース』を検索することができます。



図表 3-20 『Online Catalog』学外検索をする際の画面

### 検索上の注意

- 画面上の「学内」「学外」両方にチェックを入れている場合は、学内の蔵書を先に検索し、ヒットしなかったときだけ自動的に学外まで検索します。学外の検索に限定したい場合は、「学内」のチェックをはずしてください。
- 検索語の入力方法は、学内の場合とほぼ同じです。
- 学内と異なり、複合語（「電気回路」など）では検索できません。「電気」「回路」と必ず単語に分けて入力してください。
- 出版年の範囲指定ができないなど、条件指定に一部制限があります。
- 登録資料の範囲は、機関によって異なります。

検索ボタンを押すと、学内検索のときと同様に該当資料が一覧表示されますが、学内の場合と画面が若干異なります。下の例で見比べてください。

### 例) 「電気 回路 理論」という検索語で検索した結果



図表 3-21 『Online Catalog』学内検索(上)と学外検索(下)の検索結果一覧画面の違い



一覧表示された中の1件をクリックすると、詳細情報を見ることができます。学外検索結果の場合は、所蔵大学名（略称）の一覧が表示されます（雑誌の場合は、あわせて所蔵年・巻号も表示されます）。

デンキカイトロカイテンキノカイセキトセイギョ: スパイラルベクトルリロン  
 電気回路と回転機の解析と制御: スパイラルベクトル理論 / 山村昌著

出版者 東京: オーム社  
 出版年 1998.7  
 大きさ viii, 180p; 22cm  
 一般注記 参考文献: p[175]-176  
 著者標目 山村, 昌(1918-)||ヤマムラ, サカエ  
 巻冊次 ; ISBN:4274035069 ; 価格:4500円+税

検索しなおす 前へ戻る 検索結果一覧 複写・借用申込 購入依頼 ヘルプ

巻冊次等	所蔵館名称	配置	参加組織ID
	梨大	@	FA002258
	中部大	☒	FA007342
	同大	@	FA007670
	阪工大	中央	FA007841
	西大	@	FA002647

図表 3-22 『Online Catalog』学外検索の所蔵詳細画面

他の大学で所蔵している資料が必要な場合、相互利用サービスを利用して複写や借用の申込みをしたり、直接訪問して利用したりすることができます。利用の方法は4.6 をみてください。

仙台圏の大学に限って探す場合には下記のサイトが便利です。

- 『学都仙台 OPAC』 東北大学附属図書館  
 (http://www.library.tohoku.ac.jp/multi-opac/)  
 学都仙台単位互換ネットワークに参加する大学・短大および宮城県図書館の蔵書が横断検索できます。

### まめちしき OPAC (オーパック)

他の図書館等のウェブサイトでは、「オンライン目録」や「蔵書検索」という言葉の代わりに、この言葉を使用している場合がよくあります。これは、Online Public Access Catalog の省略形で、「オンラインで提供されている一般利用者向けの図書館蔵書目録」を意味する図書館用語です。

### 3.3.3 公共図書館の蔵書を調べる

文芸書や実用書など、資料によっては大学図書館より公共図書館の方が充実している場合があります。また、特定地域に関する資料を探す場合には、地元の図書館を調べると貴重な資料が見つかることもあります。公共図書館の場合は、公開されている全国規模のオンライン目録がありませんので、各図書館のウェブサイトにアクセスして蔵書検索をおこないます。

#### (1) 図書館を探す

宮城県内には約 25 の公共図書館があり、宮城県図書館がウェブページで紹介しています。

- 『あなたのまちの図書館』宮城県図書館  
(<http://www.pref.miyagi.jp/library/liblist.htm>)

また、国内の公共図書館ウェブサイトを対象にしたリンク集もあります。

- 『公共図書館リンク』日本図書館協会  
(<http://www.jla.or.jp/link/public.html>)

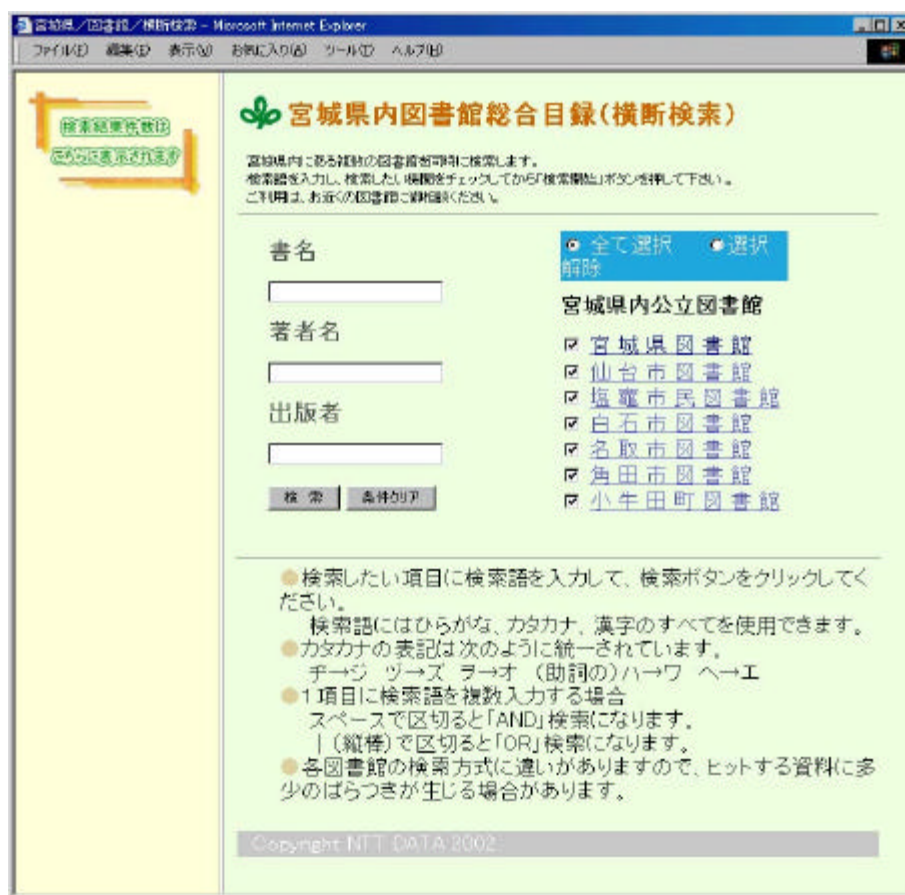


図表 3-23 『公共図書館リンク』トップページ

## (2) 蔵書を調べる

宮城県図書館では、仙台市図書館ほか県内の一部図書館の蔵書をまとめて検索するツールを提供しています。

- 『宮城県内図書館総合目録』 宮城県図書館  
(<http://mynet.library.pref.miyagi.jp/cross/>)



図表 3-24 『宮城県内図書館総合目録』トップページ

ウェブから蔵書検索ができる公共図書館は、全体の約半数といわれています。都道府県立図書館は、3.3.2 で説明した『総合目録データベース』に参加している場合もあります。

ウェブから蔵書検索ができない図書館については、お近くのカウンターにご相談ください。

### 3.3.4 国立国会図書館の蔵書を調べる

国立国会図書館では、図書・雑誌だけでなく古典籍資料・テクニカルレポート・議会資料・学位論文など、多様な資料を所蔵しています。図書・雑誌については、下記のオンライン目録で蔵書を調べることができます。

- 『NDL-OPAC』 国立国会図書館 (<http://opac.ndl.go.jp/>)

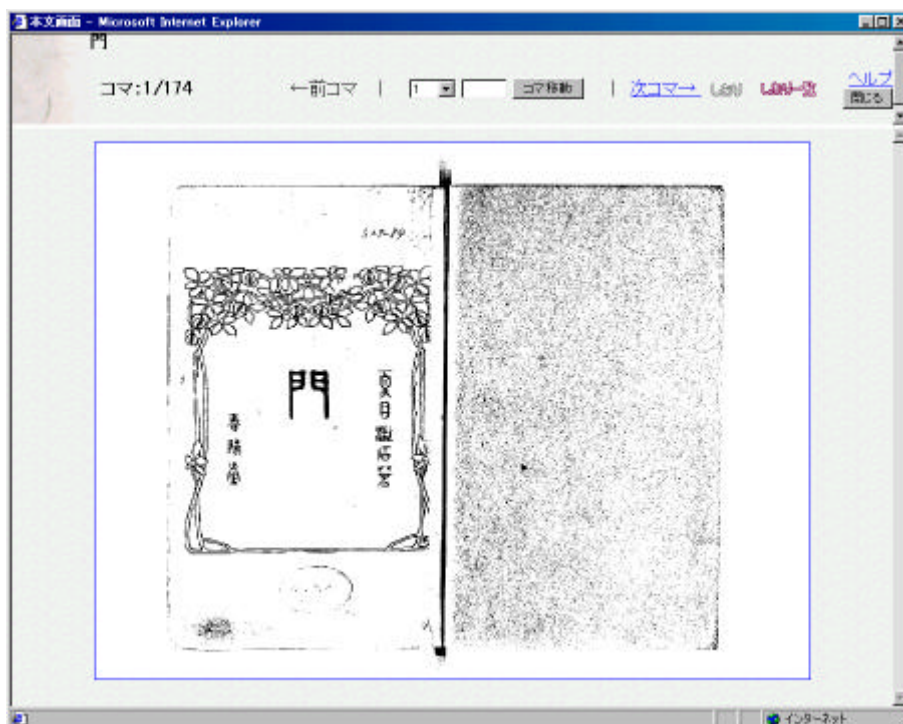
図表 3-25 『NDL-OPAC』一般検索画面トップページ

#### 主な検索対象資料

- 和図書・・・明治以降の日本語の図書（録音資料、マイクロ資料、静止画資料なども含む）（280万件）
- 洋図書・・・外国語(アジア諸言語は除く)の図書、国際機関資料、欧文児童書（33万件）
- 雑誌・新聞・・・日本語・外国語の雑誌・新聞、その他継続して刊行されるもの（16万件）
- 古典籍・・・江戸時代以前に刊行・書写された日本の古典資料、および1830年以前に刊行された西洋（欧文）の古典資料（5千件）

また、オンライン目録の収録範囲外である明治期の図書については、本文画像が公開されており、以下のサイトで検索することができます。

- 『国立国会図書館 近代デジタルライブラリー』 国立国会図書館  
(<http://kindai.ndl.go.jp/index.html>)  
国立国会図書館が所蔵する、明治期に刊行された資料 16 万冊を画像化しています。



図表 3-26 『近代デジタルライブラリー』より「門 / 夏目漱石」

### 3.3.5 専門図書館の蔵書を調べる

専門図書館と一言でいっても、実際には学会・企業・博物館・美術館などの機関が設置しているさまざまな形態のものが含まれます。まずは、自分の興味のある分野に、どのような専門図書館があるかを調べる必要があります。それには、次のツールが便利です。

- 『専門情報機関総覧』 専門図書館協会出版委員会総覧小委員会 2003 :  
本館 RC ・ 医分 ・ 工分  
国内の専門図書館や事業組織の資料・情報部門をキーワードや機関種別などから調べることができ、場所・所蔵資料・利用資格・利用可能時間などがわかります。

また、一般の利用者にも公開している専門図書館は、ウェブで広報することが増えてきましたので、探してみるとよいでしょう。検索エンジンの中には、各種情報源のウェブサイトとして、図書館リンク集を作っているものがあります。

- 『Yahoo! JAPAN』 「Yahoo!カテゴリ 専門図書館」 Yahoo! JAPAN  
([http://dir.yahoo.co.jp/Reference/Libraries/Special\\_Libraries/](http://dir.yahoo.co.jp/Reference/Libraries/Special_Libraries/))



図表 3-27 『Yahoo! JAPAN』 専門図書館カテゴリ

### 3.4 国外機関の蔵書を調べる

ここまでは、国内の資料を探すツールを説明しました。探しているものが国内になさそうな場合は、国外にも目を向けてみましょう。

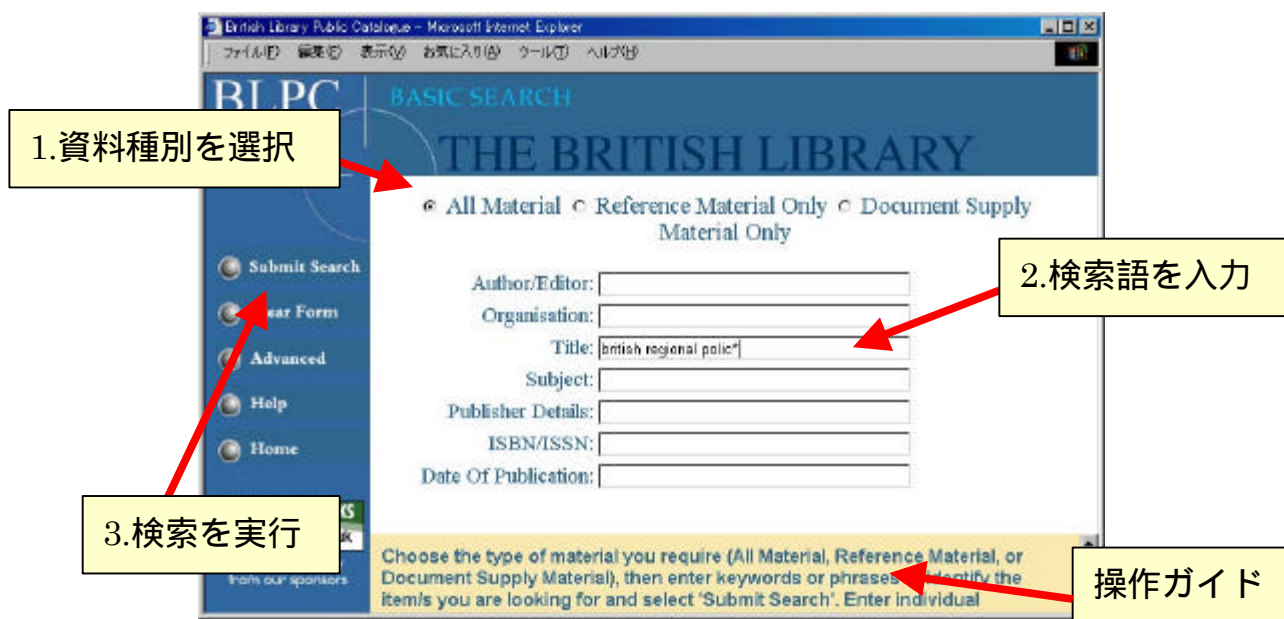
国外でも、オンライン目録が非常に充実しています。大学図書館・公共図書館など、日本国内以上にさまざまな図書館のものが利用できます。画面は外国語ですが、項目や検索語の入力方法など、操作は国内のものと同様です。

図書・雑誌については、網羅的に収集している国立図書館が有用です。

例として、英国の国立図書館（British Library）のオンライン目録を見てみましょう。

- 『The British Library Public Catalogue』 英国図書館  
(<http://blpc.bl.uk/>)

例) タイトルに「British」「regional」「polic\*」を含む資料の検索



図表 3-28 『The British Library Public Catalogue』 検索画面トップページ

他の国については、各国の蔵書検索ツールをまとめた附属図書館のウェブページや、次のページで紹介するサイトなどをみてください。

- 『学術情報リンク集（海外の図書館）』 東北大学附属図書館  
(<http://www.library.tohoku.ac.jp/search/link/lib.html#abroad>)



## まめちしき 図書・雑誌探索ページ

この本では、情報探索に使うウェブ上のツールのうち主要なものを紹介していますが、他にも数多くの情報源となるウェブサイトが存在します。

どのようなサイトがあるのか詳しく知りたい時に、下記のサイトが役に立ちます。

- 『図書・雑誌探索ページ』 実践女子大学図書館  
(<http://www.jissen.ac.jp/library/frame/index.htm>)



図表 3-29 『図書・雑誌探索ページ』トップページ

特に国外の図書・雑誌を調べる際には、「図書館目録」のページに国ごとのオンライン目録の特徴がまとめてあり、参考になります。



## 3.5 特定のテーマについて調べる

何か資料が必要なとき、いつも資料のタイトルがわかっているとは限りません。むしろ、タイトルは不明で、「環境問題についての本をさがしたい」「日本の伝統芸能について書かれた本が読みたい」など、特定のテーマ(主題)に関する資料が必要なことも多いでしょう。ここでは、そのような場合の調べ方について説明します。

### 3.5.1 図書

これまでに説明してきた主要なツールと、主題検索に適した『Webcat Plus』(3.3.2参照)での、テーマによる検索方法を説明します。

#### (1) 『Online Catalog』でのテーマによる検索

- 『Online Catalog』(詳細版) 東北大学附属図書館  
(<http://www.library.tohoku.ac.jp/T-LINES/opac/index-2.html>)

#### 単語検索

東北大学の『Online Catalog』や国立国会図書館の『NDL OPAC』で、検索語の種類を「すべて」にした状態で思いつく単語を入れても、ある程度テーマに関する資料がヒットします。ただし、この方法では、入力した単語そのものが書誌データに含まれていないとヒットしません。

検索語の選び方には、以下のようなポイントがあります。くわしくは2.5.1も見てください。

- 同義語や類義語  
たとえば、「先生」と入力して良い資料が見つからなければ、「教師」や「教員」などでも検索してみましょう。最初からいくつかの単語が思い浮かぶときには、OR検索を使用すると便利です。
- 範囲を狭める 下位概念を表す単語  
検索結果が多すぎる場合には、さらに細かい下位概念に限定する単語(「教員」に対して「小学校」「社会科」など)を追加してみましょう。

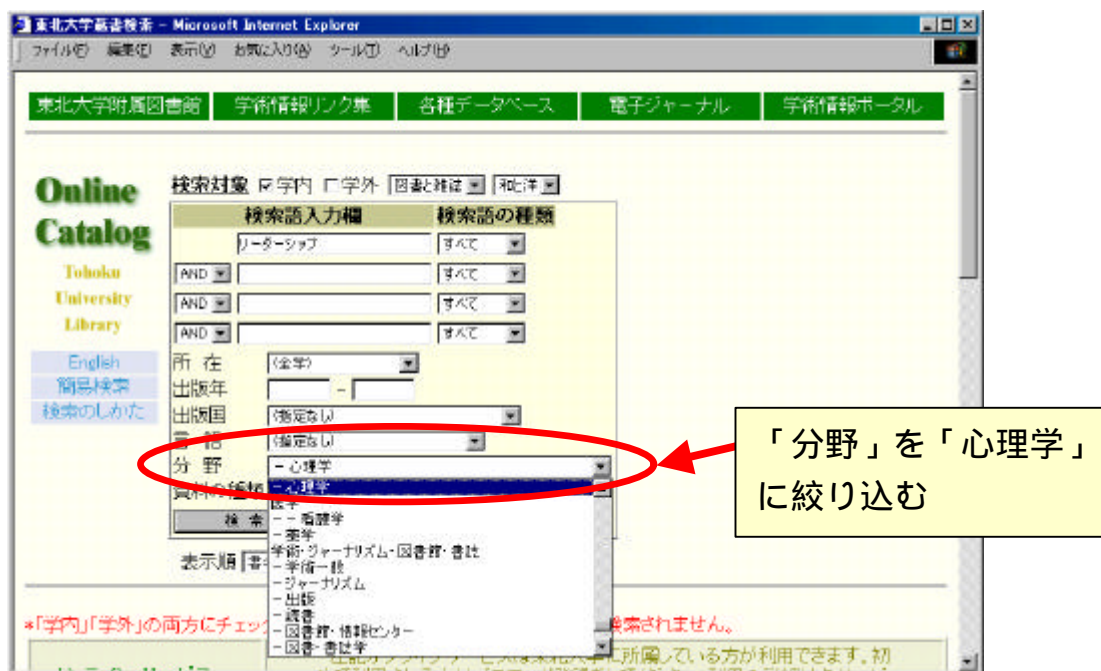
- 範囲を広げる 上位概念を表す単語  
結果が少なすぎる場合には、逆に上位概念(より広い概念)を表す単語(「教育」など)を使って再検索します。

### 分野別検索

また、『Online Catalog』の「詳細版」には「分野別検索」という機能があります(3.2.1(5)参照)。分野のみを指定して検索することもできます。検索語を入力して、分野の指定と組み合わせることができますので、絞り込みに便利です。

例えば、心理学的な観点からリーダーシップについて書かれた図書を探す場合に、検索語に「リーダーシップ」と入力すると、企業の視点から見た資料も同時に検索されてしまいます。そこで、分野で「心理学」を選択して、絞り込みをかけます。

この方法で検索すると、タイトルなどに「心理学」という語が含まれていなくても、内容的に心理学に関するものが検索できます。



図表 3-30 『Online Catalog』分野による絞り込みの例

ただし、この「分野」は、資料のテーマを表す記号(分類記号)や単語(件名)によって分けられています。これらは、一つの資料について数個までしかつけられていません。その分野に関する網羅的な検索にはなりませんので、他の検索方法と組み合わせて使ってください。

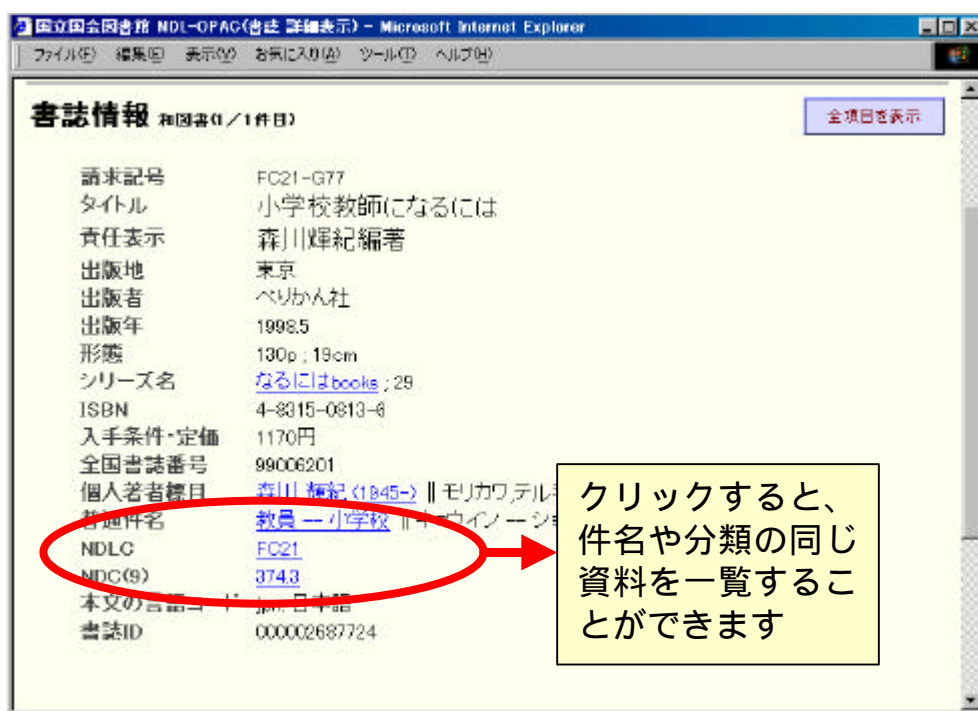
## (2) 『NDL-OPAC』でのテーマによる検索

- 『NDL-OPAC』：件名検索、分類による検索 国立国会図書館  
(<http://opac.ndl.go.jp/>)  
「件名」や「分類」からの検索機能、「件名検索」機能、分類を検索する「NDC 検索」機能があります。

国会図書館の蔵書データベースでは、図書にその内容を表すものとして「件名」とよばれるキーワードと分類記号がつけられています。

「件名検索」では、検索結果や頭文字から選択した件名をクリックすれば、その件名のつけられた図書の一覧が表示されます。「NDC 検索」では、「日本十進分類表」が表示され、その分類の図書を一通り見ることができます。どちらも、他の条件を追加して絞り込むこともできます。

また、書誌データ表示からも、「件名」・「分類」欄のリンクから同じ件名・分類の図書一覧を表示できます。



図表 3-31 『NDL-OPAC』書誌情報から件名・分類へのリンク

### (3) 『Webcat Plus』でのテーマによる検索

- 『Webcat Plus』 国立情報学研究所  
(<http://webcatplus.nii.ac.jp/>)

『Webcat Plus』は、国立情報学研究所で提供している『総合目録データベース』（3.3.2 参照）に、図書目次や帯などの情報を付け加え、それらの部分からも検索できるようにした検索システムです。現在は和書のみ収録されています。

この検索システムの特徴として、連想検索という機能があります。これは、入力された語あるいは文の中から意味のある単語を抜き出して検索し、さらに関連する語を追加指定して検索を行うことができる仕組みです。

例えば、「東北地方の都市開発について」など、知りたいテーマの文章そのままを入力して検索を行うことができます。さらに検索結果一覧画面には「国土庁」「振興」など、関連語の一覧も同時に表示され、その関連語を使って再検索をすることが可能です。検索語を探しながら進められるため、主題による資料の探索に適しています。

The screenshot shows the Webcat Plus search results page. A search box at the top contains the text '東北地方の都市開発について' (About urban development in the Tohoku region), which is circled in red. A red arrow points from this box to a yellow callout box on the right that says '文章そのままを入力して検索が可能' (It is possible to search by inputting the text as is). Below the search box, the search results are displayed, and a red circle highlights a list of related terms (e.g., 国土庁, 振興) on the right side of the page. A red arrow points from this circle to another yellow callout box on the right that says '関連語が表示されるので、チェックをつけて再検索することができます。' (Since related terms are displayed, you can check them and search again).

図表 3-32 『Webcat Plus』連想検索

また、テーマに関する資料を探すには、オンライン書店『Amazon.co.jp』（3.7.1 参照）も役立ちます。ある資料と関連度の高い資料のリストを見ることができます。

## (4) 分類順のカード目録を調べる 3.2.2 参照

すでに紹介したように、図書には分類記号と呼ばれる記号が付与されています。本館で所蔵している資料については、本館2階研究閲覧室に、1986年以前受入資料の分類記号順のカード目録があります。分館にも、当該部局の分類記号順カード目録が存在する場合があります。

## (5) 主題文献目録

特定のテーマのみに限定した文献目録のことを、「主題書誌」といいます。ある特定の主題に関する文献をさがす場合、その分野に関する主題書誌を調べることも一つの方法です。どのような主題書誌が存在するかについては、下記の資料で調べることが可能です。

- 『書誌年鑑』 日外アソシエーツ 1982～：本館RCほか  
図書の末尾に掲載された参考文献等も含め、主題の文献目録を一覧しています。

書誌目録		こくさ	
国際協力	『国際協力事業団図書館蔵書目録 平成10年7月 末現在』	国際協力事業団 図書館 1998.9	CD-ROM1 枚 12cm
国際協力	『国際協力をめざす人に』（岸本修）	古今書院 1998.11	参考文献 p223-226
国際基督教大学 ⇨内村鑑三	『内村鑑三記念文庫目録』（国際基督教大学図 書館）	国際基督教大学 図書館 1997.3	139p B5
国際金融 ⇨久留間健	「立教経済学研究 51.4」	立教大 1998.3	業績ほか p151-152
国際金融	『柏木雄介の証言戦後日本の国際金融史』（本田 敬吉, 秦忠夫）	有斐閣 1998.8	年表・文献・ 資料 p189-204
国際金融 ⇨香港	『国際金融センター 香港』（Y.C.ジャオ）	東洋経済新報社 1998.9	参考文献 p1-10b
国際経営	『国際経営—日本企業の国際化と東アジアへの 進出』（伊藤賢次）	創成社 1997.11	参考文献 p255-267

図表 3-33 『書誌年鑑』

そのほか、主題書誌を含め、国内で刊行された一般的な参考図書（調べ物をするための資料）を掲載している資料については後述します。7.5(3)参照

以下は、東北大学に所蔵している国内文献の主題書誌の一例です。

- 『スポーツの本全情報』 ほか 日外アソシエーツ 主に本館 RC  
「 の本全情報」というタイトルで、その主題関係の文献を掲載しているもので、このほかにも下記のような各種の主題のものが刊行されています。いずれも本文は、さらに詳細な主題項目で構成されています。
  
- 『高齢者問題の本全情報』
- 『女性・婦人問題の本全情報』
- 『スポーツの本全情報』
- 『青少年問題の本全情報』
- 『政治・行政問題の本全情報』
- 『地球・自然環境の本全情報』
- 『「日本語」の本全情報』
- 『文化人類学の本全情報』
- 『マスコミ・ジャーナリズムの本全情報』
  
- 『20世紀文献要覧大系』 日外アソシエーツ 主に本館 RC  
各種の主題文献目録のシリーズで、日本文学、外国文学、社会学、フランス語フランス文学、英米文学などの各主題のものがああります。雑誌記事も収録されていますが、同時に図書も収録しています。
  
- 『日本史図書目録』(歴史図書総目録 ; 7,8) 日外アソシエーツ 紀伊国屋書店(発売) 1999 : 本館 RC [GB1/075]  
「91/97 古代・中世・近世」「91/97 近代・通史」があります。ほかにも、日外アソシエーツ社刊行の主題文献目録が多数あります。
  
- 『地域研究・郷土資料図書目録』 図書館流通センター 2001 : 本館 RC [GB2/0128]  
明治以降、平成9年(1997)4月までに刊行された資料を対象とします。地方史、民俗誌、ことわざ、民謡そのほか各地の地域研究資料を、該当する地方自治体名称のもとに集めたものです。配列は、自治省(当時)制定の全国地方公共団体コード順です。

### 3.5.2 雑誌

雑誌は図書と異なり、主題で検索するための手がかりとなる分類記号や件名は、ほとんど目録データに付与されていません。また、「大学文学部紀要」など、掲載雑誌の中に文学、歴史、社会学などの論文が混在しているといったようなケースもあります。したがって雑誌の場合、主題で探すときには論文単位で探すのが一般的でしょう（雑誌論文の探し方の解説については、4章参照）。

しかし、自分の興味のある分野にどのような雑誌があるか調べたい場合は、次のような主題別のツールを使うことができます。

- 『雑誌新聞総かたろぐ』 メディア・リサーチ・センター 1979～：本館 RC ・ 1997～：工分 ほか  
解説は 3.7.1(3)参照
- 『出版年鑑』 出版ニュース社 1951～：本館 RC ・ 1997～：工分 ほか  
解説は 3.7.1(3)参照
- 『Ulrich's Periodicals Directory』 R.R. Bowker 2001～：本館 RC ・ 医分 ・ 工分 ほか  
世界各国の雑誌や新聞を収録しています。主題からも調べることができます。

そのほか、雑誌記事検索ツールの中には、分野ごとに雑誌のリストを参照できるものもあります。東北大学で利用できる主要な雑誌記事検索ツールについては、4.3、4.4を参照してください。

## 3.6 和漢古典籍資料を調べる

ここまでは、一般的な図書・雑誌の探し方について説明してきました。しかし、明治より前の和書（和古書）や民国成立（1912年）より前の中国書（漢籍）については、別の方法でも調査する必要があります。この章では、これらの資料を和漢の古典籍資料として取り扱います。

『枕草子』『源氏物語』など、有名な古典作品については、古典文学全集などにより全文を活字で読むことも可能です。

しかし古典籍は、後世に伝えられる過程で、多くの人が筆写することにより本文に異同が生じたり、版を重ねることで改訂が生じたりするものです。そこで、本格的な研究を行うには、原資料にあたる必要があります。

古典文学全集の類を調べる場合は、ここまで紹介してきたツールで対応できますので、ここでは原則として古典籍の原資料を探す場合について説明します。

### 3.6.1 東北大学の蔵書を調べる

古典籍資料であっても、まずは東北大学内での所蔵を確認するという手順は同じです。『Online Catalog』や『学術情報ポータル』（1.2.4(8)参照）でも、和古書の一部を検索することができますが、すべての和漢古典籍を検索することはできません。漢籍を探す場合や、東北大学内の和古書の所在をより正確に探したい場合には、下記の冊子体目録を調べる必要があります。

- 『東北大学附属図書館所蔵和漢書古典分類目録』 和書・漢籍 東北大学附属図書館編 1974～1982：本館 RC [UP111/042]・北分 [UP11/2] ほか  
原則として和書は慶応4年（1868）、漢籍は宣統3年（1912）までに成立したもので、昭和40年度（1965）までに図書館に受入れた資料を調べることができます。本編は主題分類別ですが、和書の場合は書名の50音順索引、漢籍の場合は書名・著者名の冒頭漢字画数順索引が利用できます。

この冊子体目録のほか、各種カード目録も調べることができます（3.2.2参照）。詳細については、本館カウンターにお尋ねください。



### 3.6.2 他機関の蔵書を調べる

これまでに紹介した『Online Catalog』（詳細版）の学外資料検索機能（3.3.2 参照）、『NDL-OPAC』（国立国会図書館蔵書のオンライン目録、3.3.4 参照）でも他機関所蔵の古典籍の一部を検索することができます。

しかし、これらのツールでは検索しきれない古典籍資料があり、次のようなツールで調査をする必要があります。

#### (1) 和古書を調べる

- 『国書総目録』 補訂版 岩波書店 1989～1991：本館 RC [UP111/066] ほか  
全国の主要な公立図書館、各大学図書館、各地の文庫などの所蔵する、慶応3年（1867）までに成立した日本人の著編撰訳による書籍を収録しています。ただし、調査は昭和35年（1960）時点までのものです。書名から探し、所蔵している機関を調べることができます。著者名による索引もあります。
- 『古典籍総合目録：国書総目録続編』 国文学研究資料館編 岩波書店 1990：本館 RC [UP111/066] ・ 医分 [UP111/K093K] ほか  
『国書総目録』の調査が打ち切られた後から昭和63年度（1983）までに採集したデータを収録しています。同様に書名から探し、所蔵機関を調べることができます。



図表 3-34 『国書総目録』

## (2) 漢籍を調べる

### ■ 『全国漢籍データベース』 全国漢籍データベース協議會

(<http://www.kanji.zinbun.kyoto-u.ac.jp/kanseki/>)

京都大学人文科学研究所附属漢字情報研究センターが、試験的に公開しています。現在、東北大学のほか、東京大学東洋文化研究所、京都大学人文科学研究所、宮内庁書陵部、東洋文庫など 23 機関の資料が検索できます。

検索トップ画面では、検索語を入力する欄が一つしかありませんが、詳細検索画面では、書名、著者名、刊年、出版者などにより検索できます。また、所蔵機関による絞込みをすることもできます。



図表 3-35 『全国漢籍データベース』

そのほか、特に和古書や漢籍を多く所蔵している機関の蔵書目録を個別に調べるといった方法もあります。具体的にどのような機関があるかは、カウンターにお尋ねください。

## 3.7 出版情報を調べる

ここまでは、図書館の資料を利用することを前提として、各種図書館等の蔵書を調べる方法を説明してきました。しかし、図書館を利用するのではなく、自分で購入するために探すという場合もあります。

また、探している資料がオンライン目録などで探してもみつからず、本当に出版されているのか、記載されていた情報に誤りがないかなどを確認したい場合もあります。

そのような場合に、出版情報や購入可能な資料の情報を調べるツールを紹介します。

### 3.7.1 国内

#### (1) ウェブサイトで新刊書を調べる

##### 出版情報を調べる

出版された資料の情報を網羅的に調べることができます。別途、書店等で購入する必要がありますが、オンライン書店にリンクしており、検索した資料を注文する画面にいくことができます。

- 『Books.or.jp』 日本書籍出版協会  
(<http://www.books.or.jp/>)  
国内で出版された現在入手可能な資料を検索できます。複数のオンライン書店にリンクしています。
- 『TRC 図書館流通センターブックポータル』 TRC 図書館流通センター  
(<http://www.trc.co.jp/trc-japa/index.asp>)  
1980年1月以降に出版された日本の新刊書籍を検索できます。で紹介する『オンラインブックストア bk1』で購入手続をすることも可能です。

##### 資料を購入する(オンライン書店)

オンライン書店では、ウェブサイト上で検索から購入申し込みまでできます。書評や関連資料の紹介などの情報が充実しているサイトもあります。例として『Amazon』を紹介します。

- 『Amazon.co.jp』 Amazon (http://www.amazon.co.jp/) 和書約 50 万タイトル、洋書約 40 万タイトルの検索・注文ができます。

検索などをして一つの資料を表示すると、書評、目次などが表示されます。また、「この本を買った人はこんな本も買っています」「同じテーマの本」など、関連する図書の紹介があります。



図表 3-36 『Amazon.co.jp』画面の例

『Amazon.com』（英語版）では、約 12 万冊の資料について本文の全文検索を行う機能があります。通常の検索をすると、その単語をタイトルなどに含んでいる図書と、本文中に含んでいる図書とが表示されます。本文中にヒットした場合、検索結果の一覧に、その単語の周辺の本文が表示されます。クレジットカード番号などを登録すれば、本文のページそのものを見ることができます。ただし、印刷などはできません。

- 『オンラインブックストア bk1』 Book1  
(<http://www.bk1.co.jp/>)  
約 60 万タイトルの書籍が取り寄せ可能です。絶版・品切れなどで入手できない書籍も検索でき、書評も充実しています。
- 『本やタウン』 日本出版販売  
(<http://www.honya-town.co.jp/>)  
全国の 11 書店の店内在庫と日本出版販売 520 社以上の出版社在庫が確認できます。大学生協で資料の受け取りをすることもできます。

### 特定出版社の出版情報を調べる

その資料の出版社がわかっている場合には、出版社のウェブサイトを直接調べることによって、最新の出版情報を把握することも可能です。出版社のウェブサイトの URL がわからないときに、調べる手がかりとなるウェブサイトを紹介します。

- 『日本の出版社』 TRC 図書館流通センター  
(<http://www.trc.co.jp/trc-japa/guide/publish.htm>)  
国内の出版社ウェブサイトへのリンク集です。
- 『地方・小出版新刊ニュースの出版社リスト』 地方・小出版流通センター  
(<http://www.bekkoame.ne.jp/~much/access/linkpage.html>)  
地方・小出版流通センターと取引している出版社などへのリンク集です。

## (2) ウェブサイトで古本を調べる

(1)で紹介したようなツールで調査しても、必要な出版情報がみつからない場合、古い資料であれば、次のような古本専門のウェブサイトが利用できます。

- 『日本の古本屋』 東京都古書商業共同組合  
(<http://www.kosho.or.jp/>)  
古書検索のほか、地域名や専門分野などによる古書店検索ができます。会員登録をすれば、書籍の注文や、見つからない資料を登録してその書籍がみつかったら連絡がもらえる機能もあります。また洋書の古本も調べられます。

- 『インターネット古書店案内』 有限会社 紫式部  
(<http://www.murasakishikibu.co.jp/oldbook/>)  
加盟古書店の、原則として在庫書籍の目録が検索でき、発注もできます。また、全国古書店データベース、国内のみならず世界の古書店へのリンク、『日本の古本屋』と同様の「探求書」登録(要会員登録)などのサービスを提供しています。

### (3) 冊子体資料

書店の販売対象となった資料を収録した書誌を「販売書誌」と呼びます。国内の冊子体販売書誌としては、次のようなツールがあります。

- 『ブックページ = Book page』 ブックページ刊行会 1988～：本館 RC ほか  
前年に刊行された新刊書を収録しています。本文は主題別で、内容の要旨や目次が記載されていることが特徴です。書名、著者名の索引があります。
- 『出版年鑑』 出版ニュース社 1951～：本館 RC ・ 1997～：工分 ほか  
前年に刊行された新刊書籍、雑誌などを調べることができます。書籍目録と雑誌目録の本文は主題別です。2002年版から、CD-ROM化された『日本書籍総目録』 日本書籍出版協会（入手可能な資料の一覧）と合体して発行されるようになりました。書名、雑誌名、著訳編者名の索引のほか、出版関係の統計・資料などが記載されています。
- 『雑誌新聞総かたろぐ』 メディア・リサーチ・センター 1979～：本館 RC ・ 1997～：工分 ほか  
前年度に創刊された雑誌および継続して刊行されている雑誌を、主題別に調べることができます。タイトル索引などがあります。

### 3.7.2 海外

国内の出版情報を調査するためのツールには、同時に海外の書籍の調査をすることができるものもあります。3.7.1(1)で紹介した『Amazon.co.jp』もその一つです。その他の主なものとして、次の2点をあげます。検索だけでなく、購入申込をすることも可能です。

- 『MARUZEN Internet shopping』 丸善  
(<http://www.maruzen.co.jp/>)
- 『Kinokuniya Book Web』 紀伊國屋書店  
(<http://bookweb.kinokuniya.co.jp/>)

そのほか、各国ごとに様々な検索ツールがありますが、ここでは主に米国を中心とした基本的なツールの一覧を示します。

調査目的	利用できるツールの名称
ウェブサイトで 新刊書を調べる	資料を購入する(オンライン書店)。 『Amazon.com』 Amazon.com ( <a href="http://www.amazon.com/">http://www.amazon.com/</a> )
	特定出版社の出版情報を調べる。 『Publishers' Catalogues』Northern Lights Internet Solutions ( <a href="http://www.lights.com/publisher/">http://www.lights.com/publisher/</a> ) 世界の出版社の一覧
ウェブサイトで 古本を調べる	『ABAA』 American Booksellers' Association of America ( <a href="http://abaa.org/index.html">http://abaa.org/index.html</a> )
冊子体資料で 調べる	『Books in print』 R.R. Bowker 1971～：本館 RC ・ 1986～工分 ほか 『Ulrich's Periodicals Directory』 R.R. Bowker 2001～：本館 RC ・ 医分 ・ 工分 ほか

図表 3-37 海外の主な出版情報検索ツール



### まめちしき ISBN

出版情報を調べるウェブサイトやオンライン書店で見つけた図書を、これは図書館にあるだろうか、と調べることがあると思います。何で検索するのが早いでしょうか。

このような時には「ISBN(国際標準図書番号 = International Standard Book Number)」を使うと便利です。現在流通している本のほとんどには、この ISBN が付与されています。原則として、一つの番号が一つの図書に対応しており、図書の表紙や裏表紙にバーコードとともに表示されています。

この番号には意味があり、先頭から、グループ記号(日本で出版されたものは全て日本を意味する「4」)、出版者記号、書名記号、検査数字(番号の間違いないように振られる数)、で構成されています。

例) ISBN 4 - 8 3 9 5 - 0 1 1 3 - 0

ただし、図書館のオンライン目録データに ISBN が入力されていないことや、まれに本の ISBN が間違っていることもありますので、検索して見つからなくても、タイトルなどでもう一度検索してみるようにしてください。



## 演習問題

- 3-1** 「地球環境問題と企業」というタイトルの本を探す。東北大学内の所在と請求記号を調べる。  
(『Online Catalog』を使う)
- 3-2** タイトルが「エピタ」で始まり、「フロンティア」という単語が含まれている本を探す。東北大学内の所在と請求記号を調べる。  
(『Online Catalog』を使う。)
- 3-3** 雑誌「月刊地球環境」32巻6号(2001)の、東北大学内の所在を調べる。  
(『Online Catalog』を使う)
- 3-4** 「ごみ行政はどこが間違っているのか」というタイトルの本を探す。  
(『Online Catalog』『NACSIS-Webcat』『宮城県内図書館総合目録』を使う)  
ヒント：学内に見つからない場合、『総合目録データベース』を検索するため、詳細検索で「学外」を指定して所蔵している図書館があるか調べる。あるいは、『NACSIS-Webcat』を使って検索する。  
また、直接訪問できる機関で所蔵していないか『宮城県内図書館総合目録』でも調べる。
- 3-5** 夏目漱石の著書で英語のものが東北大学に何件あるか調べる。  
(『Online Catalog』を使う)
- 3-6** 雑誌「世界」104号(1954)の、東北大学内の所在を調べる。  
(『Online Catalog』を使う)
- 3-7** 雑誌「材料と環境」22巻(1973)の東北大学内の所在を探す。  
(『Online Catalog』を使う)
- 3-8** 「江戸時代の数学」に関する資料を幅広く探す。  
(『Online Catalog』『NDL-OPAC』『Webcat Plus』を使う)

解答と解説は、付録7にあります。

## 第4章 雑誌論文の探し方

学術研究の成果の多くは、雑誌論文というかたちで発表されます。雑誌論文を探すには、どのような方法があるのでしょうか。

また、雑誌論文を探したあとは、論文そのものを入手する必要があります。どのようにすれば、論文を入手することができるのでしょうか。



## 4.1 雑誌論文とは

研究成果は論文というかたちで公表され、同じ成果を得ていたとしても、先に発表された論文の方が、それについての優先権を持ちます。したがって、週刊、月刊など短い周期で刊行され、その分野の定期的な購読者をもつ雑誌は、研究成果の発表の場として重要視されています。雑誌論文と一言でいっても、実際にはさまざまな雑誌があり、それに掲載される論文も多様です。まず、雑誌・論文にはどのようなものがあるのかを見ていきましょう。

### 4.1.1 雑誌の種類

雑誌は、大きく二つの種類に分けられます。

#### (1) 学術雑誌

大学、研究所などで研究活動を行う研究者の、研究発表の場として機能するもので、多くの場合、掲載に際して査読と呼ばれる審査を受けます。どのような学術雑誌にどれだけ論文が掲載されたかは、研究者の実績として評価されます。

学術雑誌には、商用の出版社や学協会が発行するものが主流ですが、そのほかに大学や研究機関が発行する研究紀要・研究報告類などがあります。

この章の中で扱う論文は、主としてこの学術雑誌に掲載されているものを対象とします。

例)「Science」,「日本内科学会雑誌」,「東北大学文学研究科研究紀要」など

#### (2) 一般雑誌

学術雑誌に比べ、実用性、娯楽性が強いもので、大学図書館の収集・保存の対象にならない場合もあります(ただし国立国会図書館では、納本されたものはすべて保存対象となります)。

しかし研究分野によっては重要な情報源となるため、これらを対象とした索引も作成されています。4.4 参照

例)「an・an」,「週刊文春」,「NHK きょうの料理」,「本の雑誌」など

### 4.1.2 論文の種類

学術雑誌に掲載される論文は、その内容・形式により、次のような種類に分けることができます。詳しくはそれぞれの雑誌の投稿規定で、その内容・形式について定義がなされている場合もあります。

- **一般論文**：Original paper あるいは Full paper と呼ばれ、研究成果について詳細に記されたものです。次のように、ある程度形式が決まっています。

例)



- **レビュー**：総説ともいいます。その分野の事項に関する概説、あるいは研究動向・展望などがまとめられています。
- **速報**：Letter あるいは Communication ともいい、最新の研究内容が若干簡略な形式の論文にまとめられたものです。同じ内容について、あらためて一般論文が書かれることもあります。
- **ノート**：研究過程で判明した、新しい事実などについての短い論文です。

通常の学術雑誌は、これらの論文を取り混ぜて編集していますが、速報のみを集めた雑誌などもあります（主に自然科学系分野）。

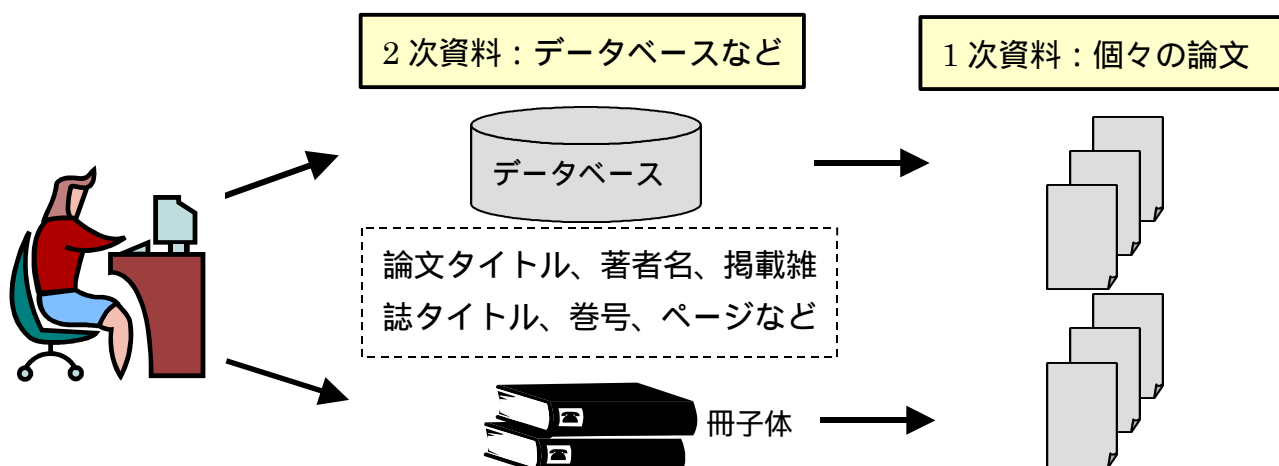
## 4.2 探す手順

探すといっても、入手したい論文について、すでに掲載された雑誌タイトル・巻号などがわかっている場合は、雑誌そのものの所在を探ることになりますので、第3章を参照してください。この章では、以下の状況を想定して説明します。

- あるテーマ（主題）について書かれた論文には、どのようなものがあるか知りたい。
- ある著者が書いた論文を、網羅的に集めたい。
- 論文タイトル、著者などはわかるが、何の雑誌にいつ掲載されたものかを知りたい。

過去に発表された論文数は膨大です。これを効率よく探すには、2次資料を使うのが有効です。2.1.2 参照

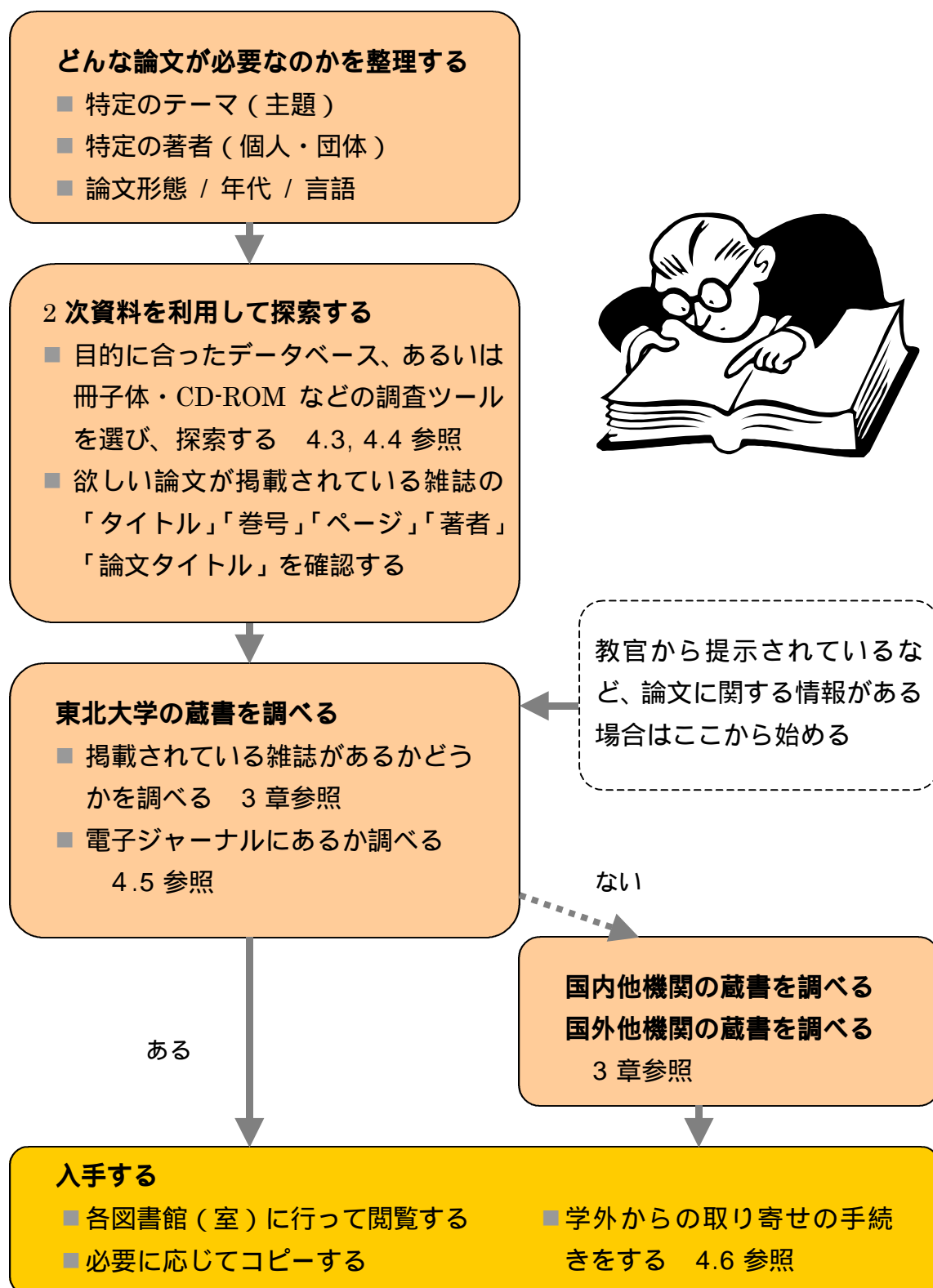
以前は、印刷された形態の2次資料がほとんどでしたが、現在はデータベースとなり、ウェブのブラウザで利用できるものが主流となっています。著者名、論文タイトルだけでなく、抄録中の単語や著者の所属機関名などから検索可能なツールもあり、探すための機能が豊富になっています。



図表 4-1 1次資料と2次資料

次ページから、これらのツールを利用した論文の探し方の流れと、それぞれの2次資料の特徴などを説明します。

以下は、雑誌論文入手手順の基本的な流れ図です。



図表 4-2 雑誌論文入手までの基本的な手順

### 4.3 大学内から利用できる主な雑誌論文探索ツール

東北大学内で利用できる、主な雑誌論文探索ツール（2次資料）を紹介します。ここでは主に、大学で一括利用契約をしているものや無料のものなど、利用申請が不要で利用者個人に料金請求のないものを中心に説明します。これらのほかに、個人・研究室等の単位で契約する有料のものもありますので、必要に応じて説明します。

これらのツールから得られるのは、論文タイトル、著者名、掲載雑誌タイトル、掲載巻号、掲載ページなどの基本的な文献情報（2次情報）です。論文本文（1次情報）は、冊子体の雑誌を探るか、あるいは電子ジャーナルがあればそれを利用するなどして、入手することになります。4.5 参照

ツールによっては、「アブストラクト（抄録）」と呼ばれる、その論文の概要を示す短い文章も収録している場合があり、論文の内容を確認するために有用です。

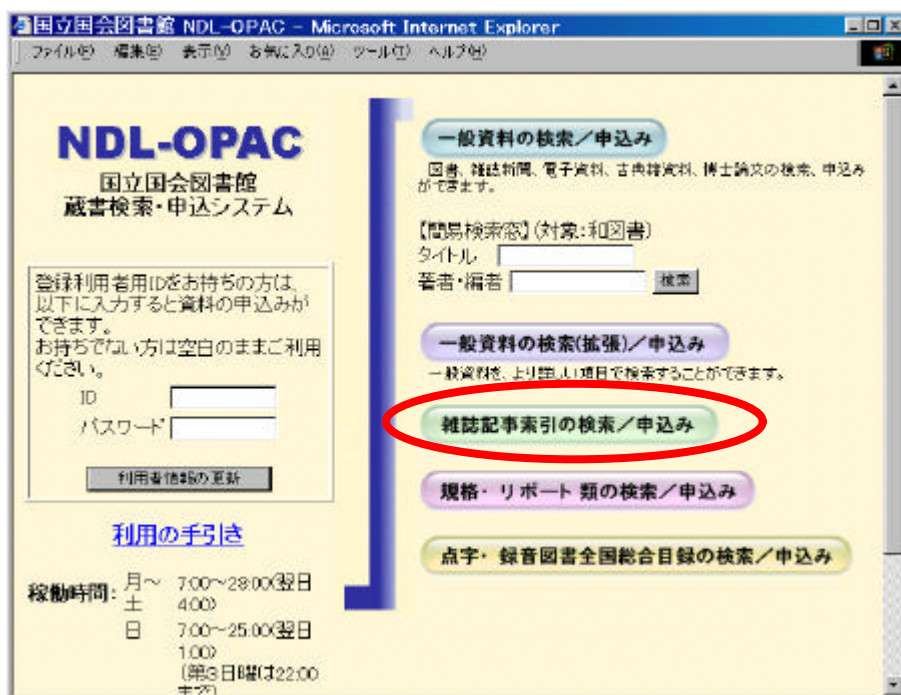
#### 4.3.1 日本語の論文を探す

##### (1) 『雑誌記事索引』

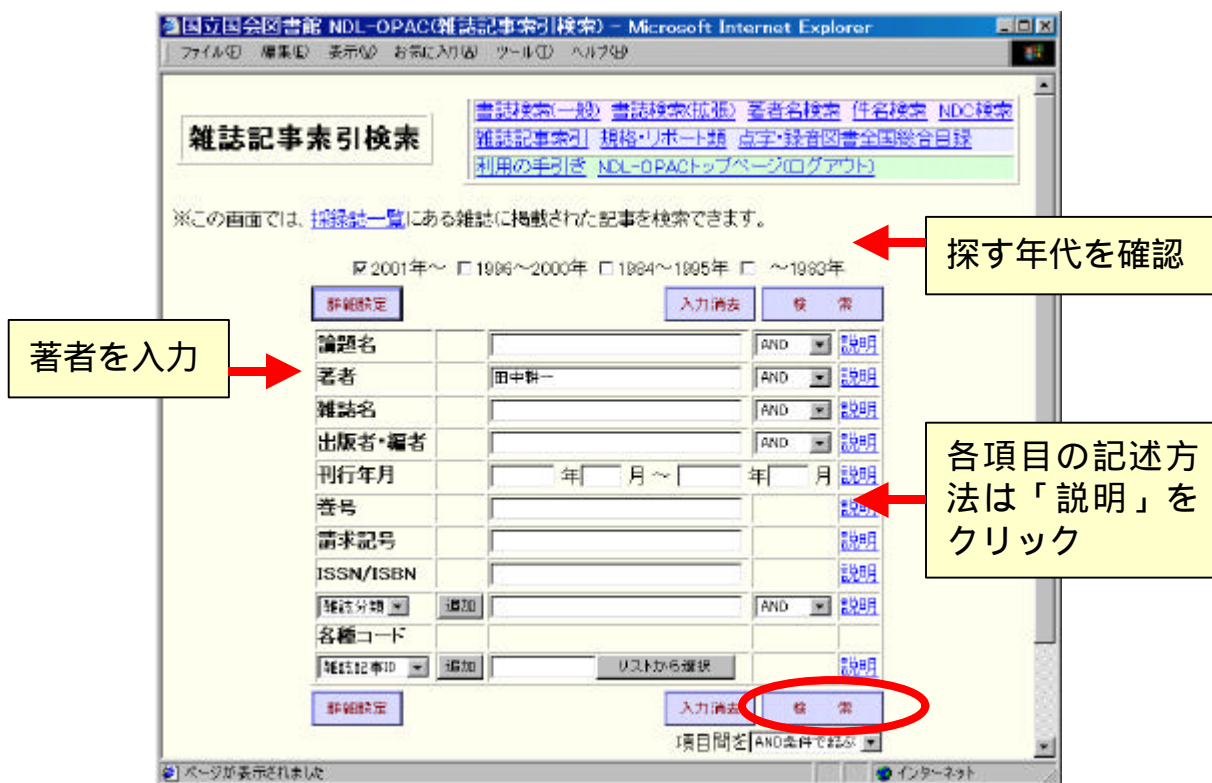
国立国会図書館で収集した国内の学術雑誌、専門誌、一般誌、紀要などの記事索引で、国内で発行された雑誌に掲載された論文については、ある程度網羅的に調べることができます。

項目	内容説明
分野	全般（日本国内の論文）
提供機関	国立国会図書館
範囲	1948～（1948～74は人文・社会系のみ）
URL	<a href="http://opac.ndl.go.jp/">http://opac.ndl.go.jp/</a>
利用方法	どこのパソコンからでも可
備考	同等のデータベースとして『MAGAZINEPLUS（学内限定）』もあり。（データ種類や収録範囲は異なる。下記URLを参照） <a href="http://www.library.tohoku.ac.jp/dbsi/zsk/">http://www.library.tohoku.ac.jp/dbsi/zsk/</a>

「雑誌記事索引の検索」をクリックして選択します。

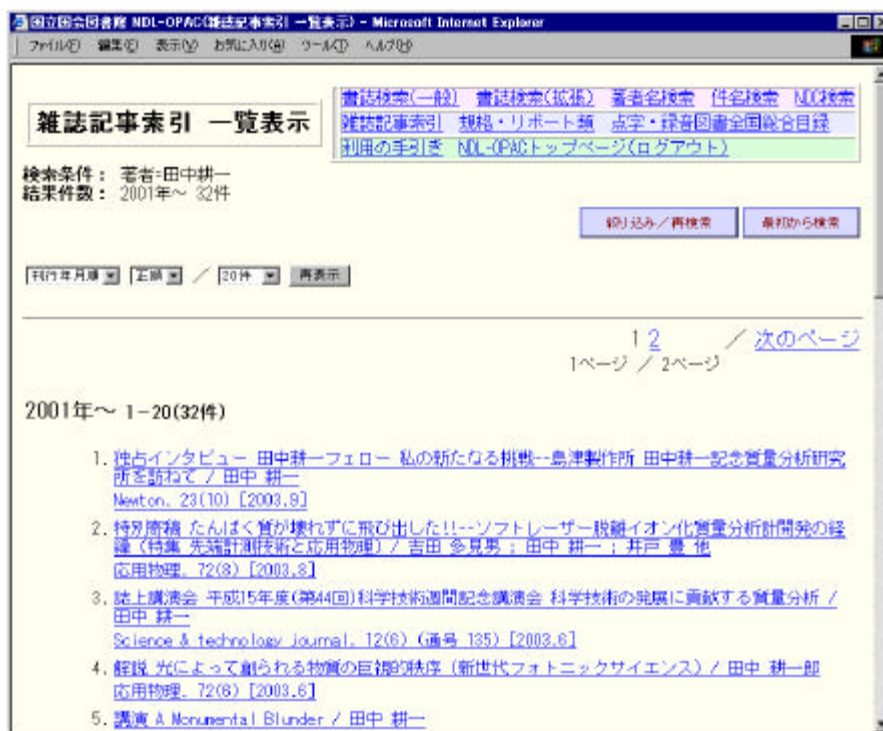


検索画面でタイトル、著者名などを入力して「検索」ボタンをクリックします。  
 (例:「著者:田中耕一」の論文を2001年以降で探してみます)

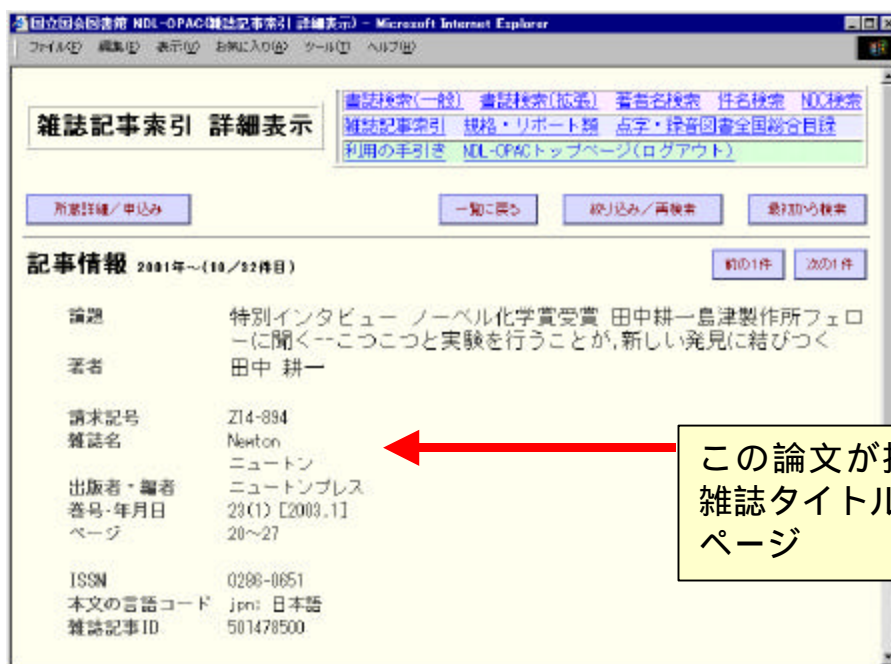




条件に合うデータが一覧表示されるので、詳細を見たいタイトルをクリックします。



掲載された雑誌など、その論文の文献情報が表示されます。本文を読むには、この雑誌の冊子体を図書館で探します。3章参照



## 4.3.2 外国語の論文を探す

## (1) 『Web of Science』(ウェブ オブ サイエンス)

広い学問分野をカバーしていますが、特に自然科学については、年代的に探索可能範囲が広いのが特徴です。

また、論文間の引用関係がたどれるため、ある論文がその研究分野においてどれだけ影響力をもつかなどを知るための目安としても利用できるという特色があります(研究評価ツール)。

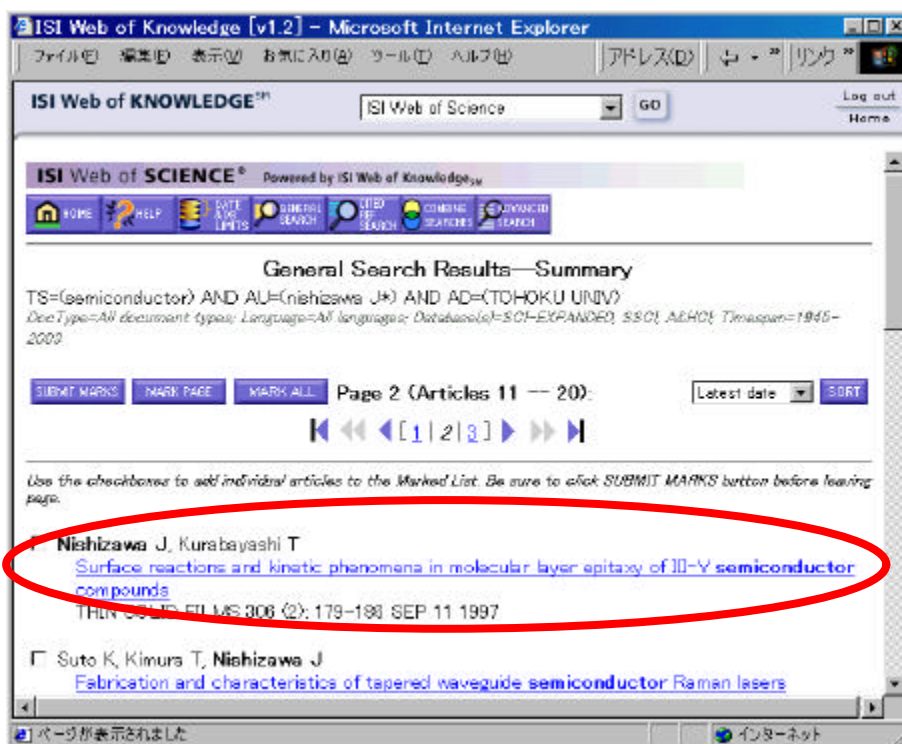
項目	内容説明
分野	全般
提供機関	Thomson Scientific 社
範囲	Science Citation Index Expanded (1945～) 自然科学系 Social Sciences Citation Index (1996～) 社会科学系 Arts & Humanities Citation Index (1996～) 人文科学系
URL	http://www.library.tohoku.ac.jp/dbsi/wos/
利用方法	学内のパソコンから(附属図書館ホームページからリンクあり)
備考	学内限定

著者名、キーワード、雑誌名などを入力し、「Search」を選択します。

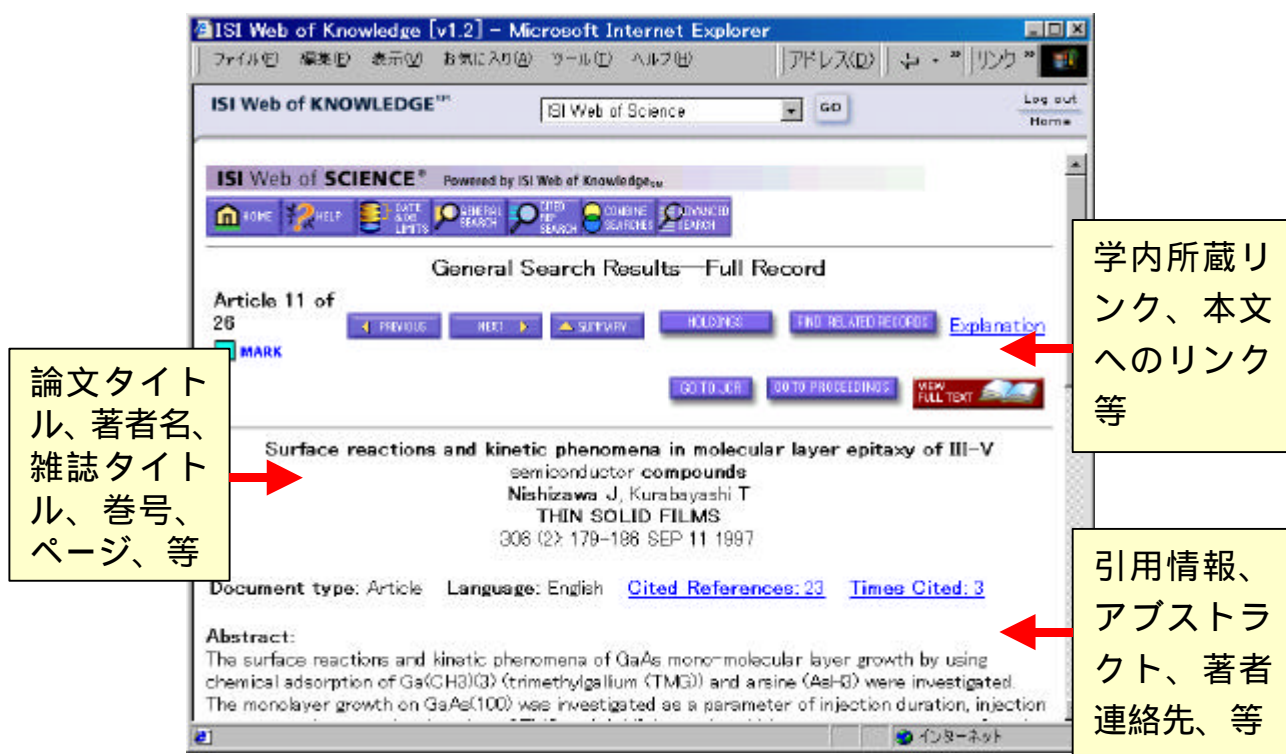
(例：西澤潤一氏が東北大で記した semiconductor に関する論文を探します)

例)  
TOPIC: semiconductor  
タイトルなどに含まれる語  
AUTHOR: nishizawa j\*  
著者名は「\*」をつけて前方一致で行う  
ADDRESS: tohoku univ  
著者の所属する機関名

条件に合うデータが簡略表示されます。クリックして詳細データを見ます。



掲載雑誌の電子ジャーナルが利用できる場合は、本文へのリンクが表示されるものもあります。リンクがない場合は、この雑誌の冊子体を図書館で探します。  
3章参照



論文情報としては、の画面が最も詳細なデータです。しかし、このデータベースは先にも触れたとおり、論文間の引用関係がたどれるのが大きな特徴となっています。

具体的には、この画面の各項目をクリックすることで、以下のようなことができます。

■ 「Cited References」

この論文が参考文献としてあげている論文一覧を見ることができます。その論文がこのデータベースに収録されている場合は、クリックして詳細を見ることができます。

■ 「Times Cited」

この論文が他の論文に引用された回数を示しています。この回数が多いほど、多くの研究者に影響を与えているということになります。クリックすれば、それらの論文一覧を見ることができます。

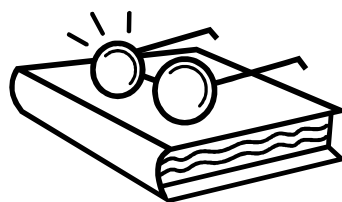
引用している論文がこのデータベースに収録されている場合は、さらにその論文一覧からクリックして詳細を見ることができます。データベースが更新される都度、この引用回数は増加します。

■ 「Find Related Records」

この論文が持つ参考文献リストと、他の論文の参考文献リストを比較し、重複が多い順に論文一覧を表示します。これにより、関連度の高い内容の論文を見つけ出すことができるという、ユニークな機能となっています。

上記のボタンをクリックして表示される文献情報からは、さらに同じように他の文献をたどっていくことができます。

このように『Web of Science』は、検索語による検索という一般的な方法以外にも、引用関係をたどることで関連する論文を多数見つけることができます。関連する文献を、広く収集するときには有効なツールといえます。

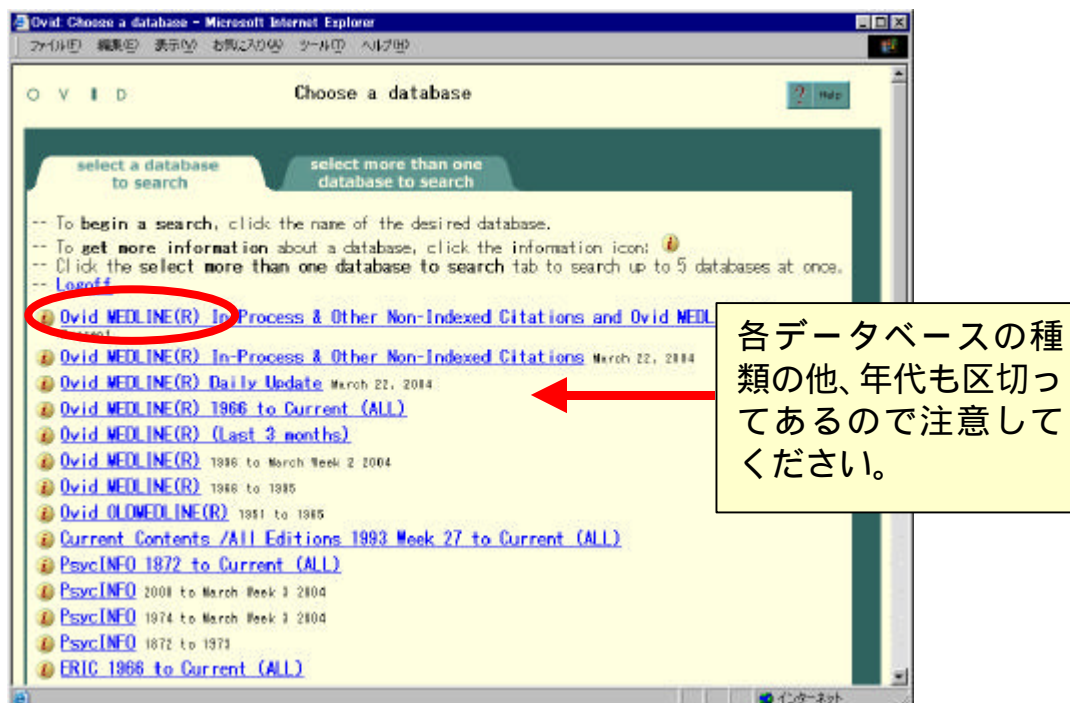


## (2) 『MEDLINE』(メドライン)

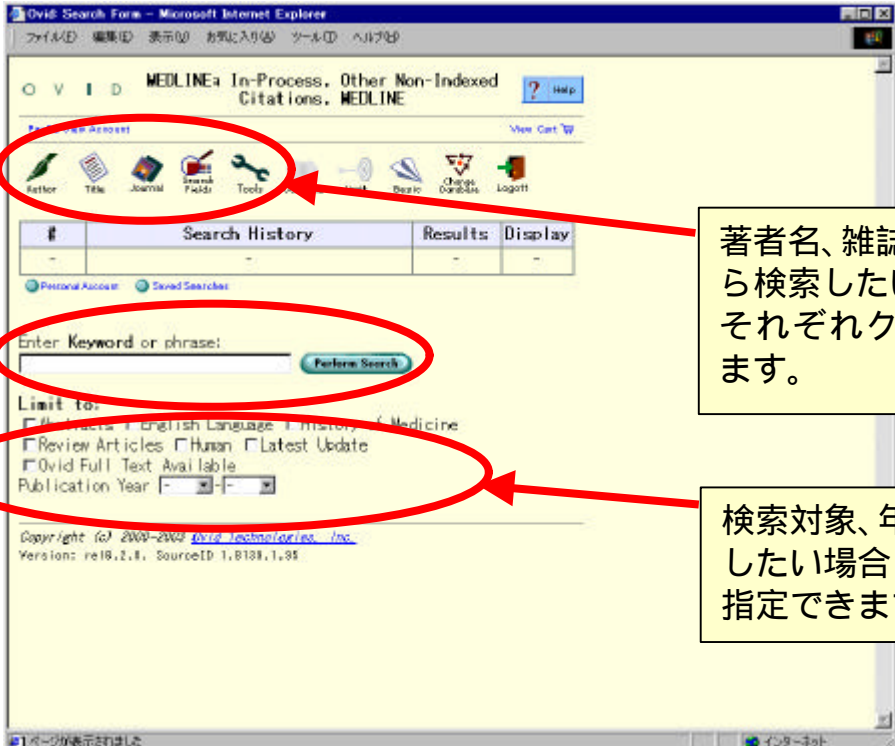
医学系では、世界最大級のデータベースです。『MEDLINE』と次に紹介する (3) 『Biological Abstracts』、(4) 『ERIC』、(5) 『PsycINFO』、(6) 『Current Contents』、(7) 『SPORT Discus』は、東北大学では同じ検索画面から利用できます。検索システムは「OVID Online」(オビッド オンライン)といい、利用するデータベースを選択することができます。

項目	内容説明
分野	医学・生命科学
提供機関	U.S. National Library of Medicine
範囲	1951～
URL	http://www.library.tohoku.ac.jp/dbsi/ovid/
利用方法	図書館内のパソコンから(附属図書館ホームページからリンクあり)
備考	学内限定。ほぼ同内容の無料ウェブサイト『PubMed』もあり。 http://www.ncbi.nlm.nih.gov/PubMed/

選択画面で、利用したいデータベースをクリックします。



初期画面は、「Keyword」から検索する画面です。必要に応じて別の画面に切り替えます。検索の語を入力したら、「Perform Search」をクリックします。

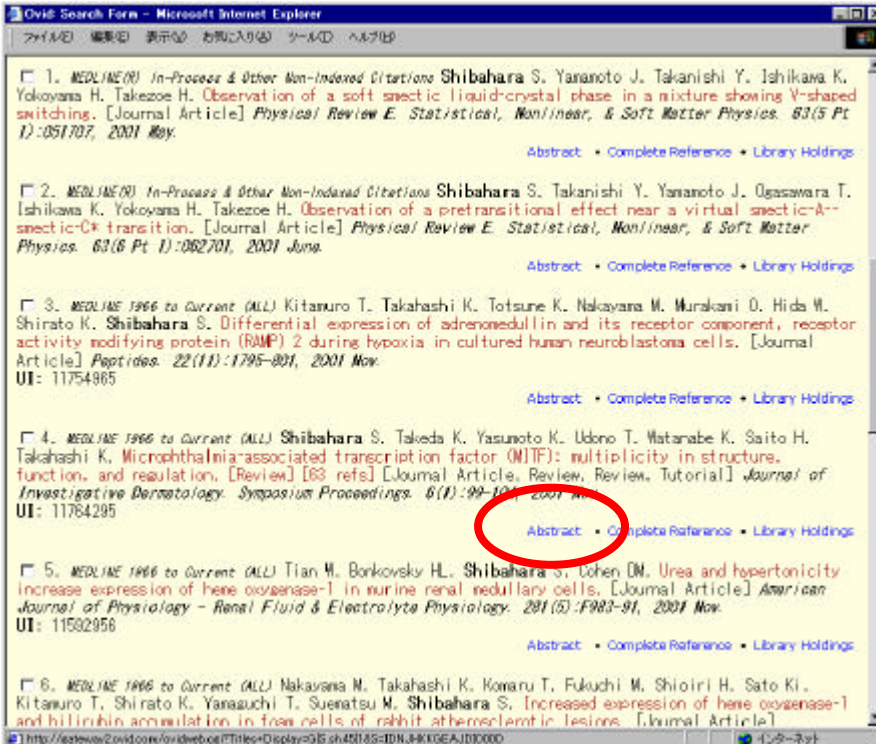


The screenshot shows the Ovid Search Form interface. Red circles highlight the navigation menu (Author, Title, Journal, Search Fields, Tools), the search input field with the 'Perform Search' button, and the filter options (Limit to: English Language, Human, Latest Update, Ovid Full Text Available, Publication Year).

著者名、雑誌名などから検索したい場合は、それぞれクリックします。

検索対象、年代を限定したい場合は、ここで指定できます。

該当するデータが簡略表示されますので、見たいデータをクリックします。



The screenshot shows the search results page. The results are listed in a table format. The fourth result is highlighted with a red circle around the 'Complete Reference' link.

1. MEDLINE(R) In-Process & Other Non-Indexed Citations Shibahara S, Yanamoto J, Takanishi Y, Ishikawa K, Yokoyama H, Takezoe H. Observation of a soft smectic liquid-crystal phase in a mixture showing V-shaped switchings. [Journal Article] *Physical Review E: Statistical, Nonlinear, & Soft Matter Physics*. 63(5 Pt 1):051707, 2001 May.

2. MEDLINE(R) In-Process & Other Non-Indexed Citations Shibahara S, Takanishi Y, Yanamoto J, Ogasawara T, Ishikawa K, Yokoyama H, Takezoe H. Observation of a pretransitional effect near a virtual smectic-A-smectic-C\* transition. [Journal Article] *Physical Review E: Statistical, Nonlinear, & Soft Matter Physics*. 63(6 Pt 1):062701, 2001 June.

3. MEDLINE 1966 to Current (ALL) Kitamura T, Takahashi K, Totsune K, Nakayama M, Murakami O, Hida M, Shirato K, Shibahara S. Differential expression of adrenomedullin and its receptor component, receptor activity modifying protein (RAMP) 2 during hypoxia in cultured human neuroblastoma cells. [Journal Article] *Peptides*. 22(11):1795-801, 2001 Nov. UI: 11754965

4. MEDLINE 1966 to Current (ALL) Shibahara S, Takeda K, Yasunoto K, Udono T, Watanabe K, Saito H, Takahashi K. Microphthalmia-associated transcription factor (MITF): multiplicity in structure, function, and regulation. [Review] [63 refs] [Journal Article, Review, Tutorial] *Journals of Investigative Dermatology: Symposium Proceedings*. 6(1):99-107, 2001 Mar. UI: 11764295

5. MEDLINE 1966 to Current (ALL) Tian M, Bonkovsky HL, Shibahara S, Cohen DN. Urea and hypertonicity increase expression of heme oxygenase-1 in murine renal medullary cells. [Journal Article] *American Journal of Physiology - Renal Fluid & Electrolyte Physiology*. 281(5):F983-91, 2001 Nov. UI: 11592956

6. MEDLINE 1966 to Current (ALL) Nakayama M, Takahashi K, Komaru T, Fukuchi M, Shioiri H, Sato Ki, Kitamura T, Shirato K, Yanaguchi T, Suenatsu M, Shibahara S. Increased expression of heme oxygenase-1 and bilirubin accumulation in foal cells of rabbit atbermsclerotic lesions. [Journal Article]

詳細データが表示されます。本文を読みたい場合は、図書館でこの雑誌の冊子体を探します。3章参照

The screenshot shows a web browser window displaying search results from MEDLINE. The page title is 'OVID Bibliographic Records - Microsoft Internet Explorer'. The search criteria are 'Limit 5 to yr=2001' and 'Citation displayed: 4 of 11'. The first citation is highlighted, showing the following details:

- Citation 4.** (with a link to 'Library Holdings')
- Database:** MEDLINE 1966 to Current (ALL)
- Unique Identifier:** 11764295
- Medline Identifier:** 21606866
- Authors:** Shibahara S, Takeda K, Yasunoto K, Udono T, Matanabe K, Saito H, Takahashi K.
- Institution:** Department of Molecular Biology and Applied Physiology, Tohoku University School of Medicine, Sendai, Miyagi, Japan.
- Title:** Microphthalmia-associated transcription factor (MITF): multiplicity in structure, function, and regulation. [Review] [63 refs]
- Source:** Journal of Investigative Dermatology, Symposium Proceedings, 6(1):99-104, 2001 Nov.
- Abstract:** Microphthalmia-associated transcription factor (MITF) regulates the differentiation and development of melanocytes and retinal pigment epithelium and is also responsible for cell-specific transcription of the melanogenesis enzyme genes. Heterozygous mutations in the MITF gene cause auditory-pigmentary syndromes. MITF consists of at least five isoforms, MITF-1, MITF-2, MITF-3, MITF-4, and MITF-5.

Callouts in the image point to specific parts of the page:

- '学内所蔵リンク' (Institutional Link) points to the 'Library Holdings' link.
- '著者名、所属、等' (Author name, affiliation, etc.) points to the 'Authors' and 'Institution' fields.
- '論文タイトル、雑誌タイトル、巻号、ページ、アブストラクト等' (Article title, journal title, volume, page, abstract, etc.) points to the 'Title' and 'Source' fields.

以下の5種類のデータベースも、『MEDLINE』と同じ「OVID Online」から利用できます。画面の流れは『MEDLINE』と同様なので、以下では概要のみ紹介しますが、いずれもその分野ではよく使われるデータベースです。

### (3) 『Biological Abstracts』(バイオロジカル アブストラクツ)

項目	内容説明
分野	生命科学
提供機関	BIOSIS
範囲	1985～
備考	書籍、総説、会議録、技術データ報告、特許などを検索できる『Biological Abstracts/RRM』も利用可能です。

## (4) 『ERIC』(エリック)

項目	内容説明
分野	教育学
提供機関	Educational Resources Information Center
範囲	1965～
備考	無料のウェブサイト『The Educator's Reference Desk : Eric Database』もあり。 <a href="http://www.eduref.org/Eric/">http://www.eduref.org/Eric/</a>

## (5) 『PsycINFO』(サイコインフォ)

項目	内容説明
分野	心理学・行動科学
提供機関	American Psychological Association
範囲	1887～

## (6) 『Current Contents』(カレントコンテンツ)

項目	内容説明
分野	全般
提供機関	Thomson Scientific
範囲	1993～

## (7) 『SPORT Discus』(スポーツディスカス)

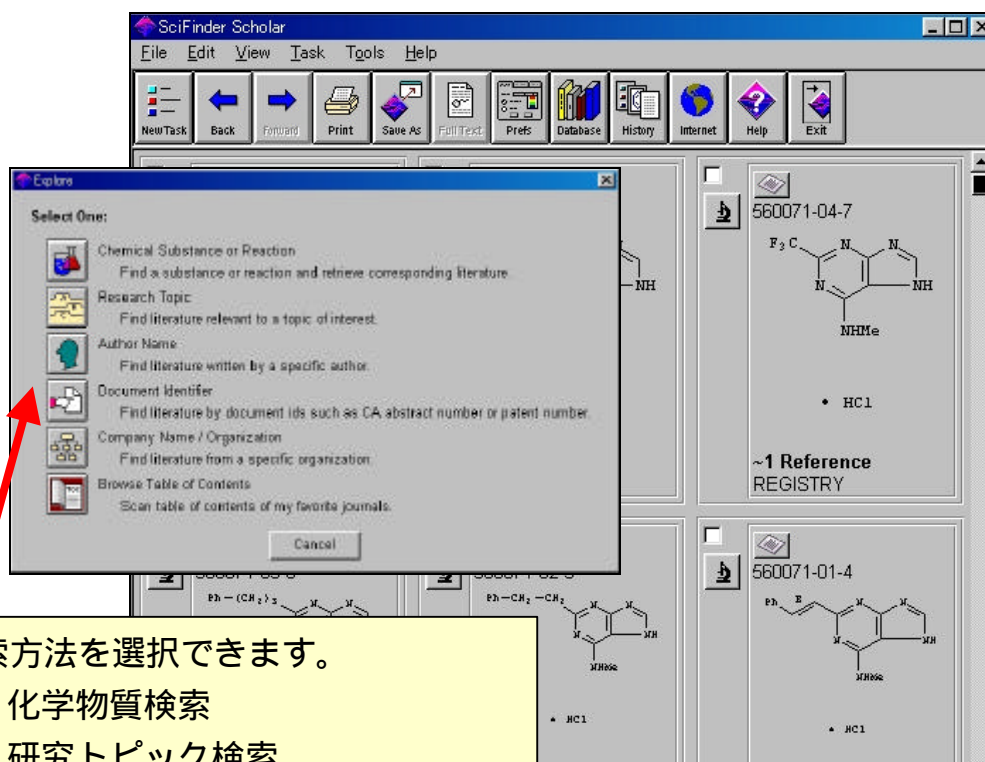
項目	内容説明
分野	スポーツ学・医学・薬学・教育学・心理学
提供機関	Sport Information Resource Centre
範囲	1949～



## (8) 『SciFinder Scholar』(サイファインダー スカラー)

化学系や医学系など幅広い範囲の文献情報に加え、化学物質情報や化学反応情報など、さまざまな化学や医学関連情報等を検索できるツールです。画面上をクリックするだけでも構造検索や化学反応検索などが可能で、多様な検索方法が提供されています。また、検索結果から全文閲覧できる情報もリンクされています。

項目	内容説明
分野	化学および化学工学を中心に、物理、医薬、生命、農学など
提供機関	CAS ( Chemical Abstracts Service )
範囲	1907 ~
利用方法	研究室単位で利用申請。図書館に利用できるパソコンあり。
備考	詳細は <a href="http://www.library.tohoku.ac.jp/dbsi/scifinder/">http://www.library.tohoku.ac.jp/dbsi/scifinder/</a>



検索方法を選択できます。

化学物質検索

研究トピック検索

著者名検索

CA 抄録番号、特許番号検索

著者所属機関、特許出願人検索

目次の縦覧

## (9) 『Science Abstracts』(サイエンス アブストラクト)

これは冊子体ですが、収録分野も広くデータ収録数も多いことから、自然科学系では最もよく利用されるツールの一つです。

現在は、Physics、Electrical and electronics、Computer and control 編にわけて刊行されています。

項目	内容説明
分野	物理学、電気工学、コンピュータ関連など
提供機関	IEE ( The Institution of Electrical Engineers )
範囲	1898 ~
利用方法	工学分館ほか
備考	対応するデータベースは『INSPEC』(有料)

3215 Properties of Fe(001) singlecrystal films grown by sputter beam method. S.Okamoto, O.Kitakami, Y.Shimada (Res. Jpn. J. Appl. Phys. 1, Regul. Pap. Short Notes vol.33,no.11, p.6164-7 (Nov. 1994).

(100) single-crystal films were grown on GaAs(001) substrate by sputter beam (SB) method. Under the optimum etching conditions on GaAs substrates, roughness of the film surfaces observed by atomic force microscope (AFM) can be reduced appreciably, and very flat surfaces can be obtained. Auger electron spectroscopy (AES) gave little evidence of interfacial diffusion between the film and the substrate. X-ray diffraction patterns of the films indicate...

論文タイトル  
著者名、所属

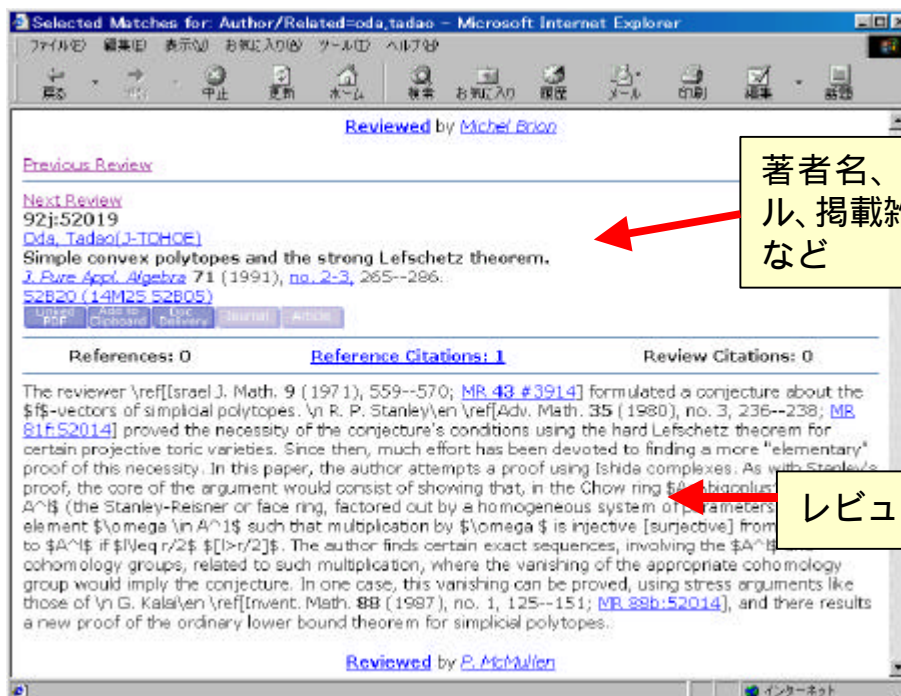
雑誌タイトル  
巻号、ページ  
等

アブストラクト

(10) 『MathSciNet』(マスサイネット)

アメリカ数学会 (AMS) 発行の数学関係抄録誌、『Mathematical Reviews』のオンライン版です。抄録誌とは、論文がどの雑誌に掲載されたかを著者やテーマ等から検索できるようにしている索引誌に、論文のアブストラクト(抄録)も併せて掲載している雑誌のことです。数学分野のデータベースとしてはほかに、『Zentralblatt MATH』というヨーロッパ数学会提供のデータベースも東北大学で利用可能です。

項目	内容説明
分野	数学
提供機関	American Mathematical Society
範囲	1940 ~
URL	http://www.ams.org/mathscinet/
利用方法	学内のパソコンから ( 附属図書館ホームページにリンクあり )
備考	学内限定



著者名、論文タイトル、掲載雑誌タイトルなど

レビュー

## (11) 『PCI Web/Full Text』(ピーシーアイ ウェブ/フルテキスト)

PCI (Periodicals Contents Index) とは、人文社会科学系の分野全般を含む雑誌記事データベースです。約 4,000 誌が創刊号から収録され、18 世紀、19 世紀の記事も含まれています。

ただし最新の情報は追加されず、過去のデータが順次収録されていくという特徴があります。また、PCI Full Text では収録誌のうちの約 300 誌が全文閲覧可能となっており、毎年増加する予定です。

項目	内容説明
分野	人文社会科学全般
提供機関	Chadwick-Healey / ProQuest
範囲	1770 ~ 1990 (一部 1995)
URL	http://www.library.tohoku.ac.jp/dbsi/pci/
利用方法	学内のパソコンから (附属図書館ホームページにリンクあり)
備考	学内限定

Full Text 参照可能な論文のみに絞って検索することもできます。

## 4.4 その他の論文探索ツール一覧

これまで紹介してきたものは、収録データ数も多く、学内でよく利用されるツールでしたが、探索する分野・年代などによってはそれだけでは十分とはいえません。他にも有用なツールが多く存在しますので、以下にメディアの種類を問わず掲載します。

ただし、よく利用されていても、主として大学院生や教官向けの有料データベースなどは除外しました。

### (1) 複数分野対象

#### ウェブ

- 『Contents Search』 東北大学附属図書館  
(<http://www.library.tohoku.ac.jp/T-LINES/docs/contents/>) 学内限定外国雑誌論文の目次を収録しています。学内の所蔵情報とリンクしているため、検索後に学内の所蔵を容易に確認することができます。
- 『Ingenta』 1988～  
(<http://www.ingenta.com/>)  
収録分野、年代ともに検索可能範囲が広く、初心者でも操作が容易です。また、論文情報だけでなく各分野の学術サイトリンク集も充実しています。

#### 冊子体

- 『大宅壮一文庫雑誌記事索引』 明治～現在 大宅壮一文庫：本館 RC [UP171/091]  
国内の一般雑誌を対象とした記事索引です。1992年以降については、CD-ROMもあります（本館で利用可）。
- 『明治・大正・昭和前期雑誌記事索引集成』 石山洋[ほか]編 皓星社：本館 RC [UP54/028]  
社会科学編・人文科学編などが刊行されています。

- 『Readers' guide to periodical literature』 1900～ H.W.Wilson :  
本館 RC  
米国の一般誌の記事索引です。

## (2) 人文・社会科学

### ウェブ

- 『国文学論文目録データベース』 国文学研究資料館  
(<http://www.nijl.ac.jp/bunseki/index.html>)  
国文学関係論文の目録データベースです。日本国内で発表された雑誌紀要、単行本（論文集）等に収められた論文に関する情報を掲載しています。

### CD-ROM

- 『MLA International bibliography』 1996～ : 本館 RC  
言語学・文学関係論文索引です。冊子体は 1921 年から刊行されていますが、学内では 1963 年以降を部分的に所蔵しています。

### 冊子体

- 『東洋学文献類目』 1963～ 京都大学人文科学研究所 : 本館 RC  
日本・中国・朝鮮文の部、欧文の部の 2 部に分かれています。年刊です。
- 『経済学文献季報』 1956～2000 経済資料協議会 : 本館 RC  
国内の経済学関連の論文・記事を収録しています。データベース版は有料で、国立情報学研究所の『NACSIS-IR』により提供されています。
- 『教育研究論文索引』 1988～ 国立教育政策研究所 : 本館 RC  
国立教育政策研究所教育研究情報センター教育図書館所蔵の雑誌や大学・教育研究所・教育委員会などの刊行物から、教育に関する記事を採録したものです。1997 年以前の索引についてはウェブでも検索可能です。  
(<http://www.nier.go.jp/homepage/jouhou/toshokan/>)

### (3) 自然科学

#### ウェブ

- 『CrossFire』 MDL Information Systems  
(<http://www.library.tohoku.ac.jp/dbsi/crossfire/>) 学内限定  
Beilstein(有機化合物ハンドブック)とGmelin(無機化合物ハンドブック)を構造式から検索できます。工学分館では冊子も部分的に所蔵しています。
- 『AGRICOLA』 米国国立農学図書館  
(<http://agricola.nal.usda.gov/>)  
米国国立農学図書館所蔵の資料から作成した索引です。データベースの作成は1970年からですが、それ以前の古い資料についても収録されています。
- 『Zentralblatt MATH』 European Mathematical Society  
(<http://www.emis.de/ZMATH/>) 学内限定  
数学関連の索引です。冊子体は1931年から発行されており、データベースにはその全データが収録されています。
- 『NTIS(National technical information service)』 1990~  
(<http://www.ntis.gov/search.htm>)  
米国商務省NTISが収集したテクニカルペーパーなどが収録されています。
- 『GEOLIS』 産業技術総合研究所  
(<http://www.aist.go.jp/RIODB/>)  
産業技術総合研究所で受け入れた資料から、地球科学および地下資源についての文献をデータベース化したものです。
- 『医中誌 WEB』 医学中央雑誌刊行会  
(<http://www.library.tohoku.ac.jp/med/ichuushi/i-guide.html>) 星陵地区限定  
医学・歯学・薬学関連の国内雑誌文献を採録した2次資料「医学中央雑誌」のウェブ版データベースです。医学分館で検索できます。また冊子体も、1903年の刊行開始から現在のものまですべて所蔵しています。

## CD-ROM

- 『Ei Compendex』 1993～ Ei(Engineering Information)社：工分  
工学分野全般の主要な雑誌論文、学協会出版物、会議録、テクニカルレポートなどが検索できます。
- 『科学技術文献速報:bunsoku』 1995～ 科学技術振興機構：工分 ほか  
国内外の雑誌記事やテクニカルレポートなどを検索できます。英語論文にも日本語の抄録がついているのが特徴です。現在、「機械工学編」「エネルギー・原子力工学編」「電気工学編」「物理・応用物理編」「管理・システム技術編」「化学・化学工業編」「金属工学・鉱山工学・地球工学編」「土木・建築工学編」「環境公害編」「ライフサイエンス編」などにわかれています。工学分館では、部編によって1958年以降の冊子体も所蔵しています。

**まめちしき 雑誌論文と図書（単行本）**

一般的に自然科学系分野では、多くの研究成果は雑誌論文として発表されます。その後、単独で図書（単行本）として発行されることはまれです。したがって、最新の研究成果を調べたい場合だけでなく、過去の関連する研究成果を探す場合も、雑誌のバックナンバーが必要となります。

自然科学系で図書となるのは、その分野を体系的に解説する教科書や、過去に確立された学説などの解説書、特定のテーマに関するシンポジウムの開催記録などです。

一方、業績として図書を重要視する傾向のある人文・社会科学系の場合では、上記のもの他、ページ数の制限がある雑誌では発表しづらい詳細な資料や解説付きの論文などをまとめて、図書として出版します。この場合は、「論文を探す」イコール「本を探す」こととなります。入手したい情報の分野、種類によっては、雑誌論文のデータベースだけではなく、蔵書目録あるいは出版目録も利用する必要があります。



## 4.5 電子ジャーナル

「雑誌」といえば、図書館の新作雑誌コーナーに並べて陳列されている冊子体を思い浮かべると思いますが。しかし大学においては、「電子ジャーナル」と呼ばれる電子的形態の雑誌が、急速に増えつつあります。前節で紹介した各種論文探索のツールを利用して論文を探した後、その本文を入手するのに、冊子体のほかにも電子ジャーナルが利用できるわけです。

ここでは、皆さんにとって新しい利用形態となる電子ジャーナルについて説明します。

### 4.5.1 電子ジャーナルとは

電子ジャーナルは、冊子体の内容と同じものを、ウェブのブラウザで利用できるもので、以下のような特徴があります。

- 自分の研究室から利用できる。
- 図書館の開館時間にかかわらず、24時間利用できる。
- 複数の利用者が同時に利用できる。
- キーワードや、著者名などからの検索機能も備えている。
- 「Web of Science」などの論文情報のデータベースからリンクし、フルテキスト（本文）を直接参照することもできる。
- プリンタから出力する場合でも、印刷物とほぼ同じレイアウトで利用できる。
- 参考文献から直接フルテキストをたどれる場合もある。

このようにいくつもの利点が挙げられ、実際に多くの大学図書館で電子ジャーナルの導入を進めています。

ただし、電子ジャーナルの利用においては、以下のことに注意する必要があります。

- 利用時に表示される利用上のルールをよく読み、遵守する必要がある。
- 海外の雑誌に比べ、日本国内で刊行された雑誌については、電子ジャーナルになっていないものが多い。
- 利用できる年代が限られている。古い年代に刊行された巻号や最新号などについては、印刷物を利用する必要がある（利用可能な範囲については雑誌ごとに異なる）。

## 4.5.2 本学での使い方

電子ジャーナルは、その雑誌を出版している機関と、東北大学などの利用機関との間で利用契約を交わしています。そのため、教官、学生を問わず、利用者個人に料金請求が行われることはなく、大学内のパソコンからであれば、手続きなしで利用することができるようになっていきます。

利用方法について、一般的な例で説明します。

**例題** Aimo Winkelmann, “Dynamical simulations of zone axis electron channelling patterns...” *Ultramicroscopy*, vol.98, no.1, 2003, p.1-7 を電子ジャーナルで探してみる。

附属図書館のホームページから「電子ジャーナル」の項目をクリックします。

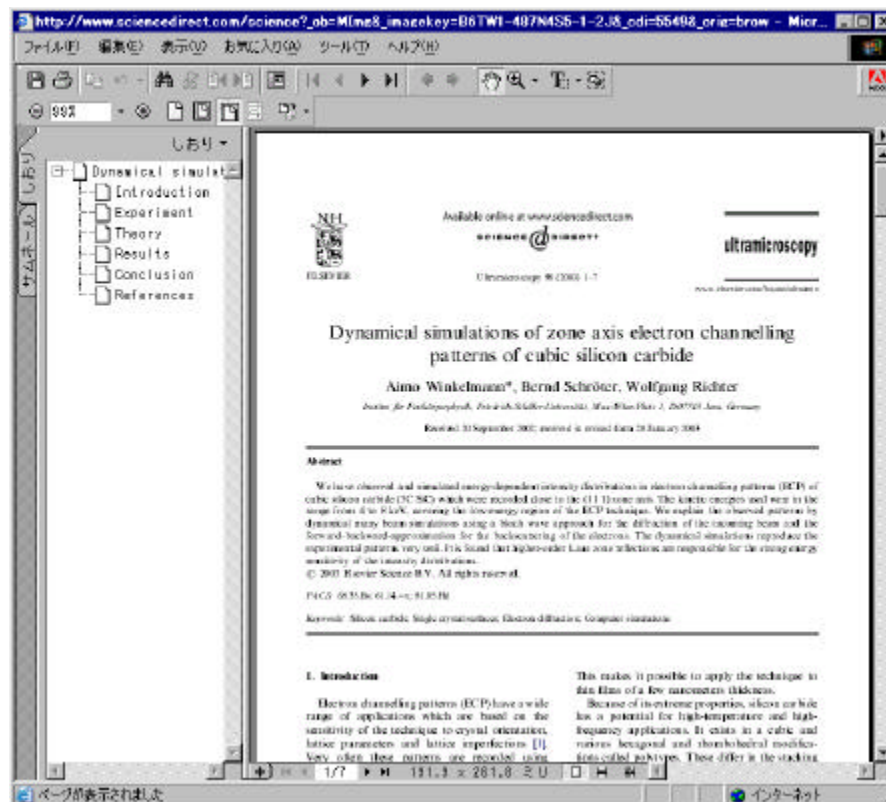
附属図書館の URL : <http://www.library.tohoku.ac.jp/>



タイトル一覧から、見たい雑誌のタイトルをクリックします。



巻号を選択し、該当論文を選択すると、フルテキストが表示されます。必要に応じて印刷して利用します。





## まめちしき 『Online Catalog』からのアクセス

雑誌を検索し、下記の詳細画面が表示されたときに、「関連情報」として電子ジャーナル情報のリンクが表示される場合があります。

このリンクをたどっていくことにより、雑誌ごとの利用範囲に応じて、目次や抄録やフルテキストを表示することが可能です。

雑誌所蔵情報 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

Ultramicroscopy

巻次年月次 Vol. 1, no. 1 (July 1975)-  
 出版者 Amsterdam : North-Holland Pub.  
 別誌名 AB:Ultramicroscopy  
 KT:Ultramicroscopy

**関連情報**

\*\*\* [電子ジャーナル情報](#) [学内限定]  
 \*\*\* [E-Journal Information](#) [on-campus only]

目次

前へ戻る

複製・借用申込 ヘルプ

所在	所蔵巻号	年次	備考	製本	製本所在	継続
金研図書室	10-23,38-89	1982-2001	Vol.90からOnlineのみ	あり	金研図書室	継続
多元研図書科	20-89	1987-2001		なし	金研図書室 科研電子	中止
北青葉山分館	4-95,96(1-2),97,98(1)+	1979-2003	2497-5	あり	多元科表面機能解析 北青葉山分館	中止 継続

インターネット

「複製・借用申込」のボタンをクリックすることにより、相互利用サービスが利用できます。詳しくは、次ページからの説明を参照してください。

## 4.6 相互利用サービス

ここまでは、「どのような論文があるか」を探し出すツールについて紹介してきました。実際にその論文を入手するには、それらを掲載している雑誌あるいは図書が、どこにあるかを確認する必要があります。(3章参照) 学内に冊子体の所蔵があった、あるいは電子ジャーナルが利用できれば一件落着です。見つからなかったときには、「相互利用サービス」を利用して論文を入手することができます。

相互利用サービスとは、自分が所属する大学の図書館が持っていない資料について、他の図書館から論文のコピーを取り寄せたり、図書そのものを借りたりすることができるサービスです。取り寄せには料金がかかりますが、このサービスを利用して必要な資料を入手することができます。

### 4.6.1 申し込み

東北大学附属図書館を通じて、論文のコピーまたは図書そのものを取り寄せるにはオンラインサービスと申込書の2通りの申し込み方法があります。

#### (1) オンラインサービスを利用した申し込み

##### ■ 附属図書館のホームページから

附属図書館のホームページに「オンラインサービス」というリンクがあり、そのなかに文献複写・現物借用のためのページが用意されています。その画面で、取り寄せたい論文の著者・タイトル・掲載誌名や、取り寄せたい図書の書名など必要な事項を入力し、送信します。初回の利用時のみ、画面からのパスワード登録が必要です。

##### ■ 『Online Catalog』(東北大学附属図書館オンライン目録)から

蔵書検索の結果表示画面中の「複写・借用申込」というボタンをクリックすると、前述のオンラインサービスと同様に、必要事項を入力する画面が表示されます。この場合、掲載雑誌タイトルなどは検索結果からコピーされるので、入力の手間が省けます。この場合も、初回の利用時のみ、パスワード登録が必要です。

## (2) 文献複写申込書での申し込み

本館、各分館のカウンターには、相互利用のための申込書が置いてあります。この申込書に必要事項を記入し、カウンターに提出してください。この場合、自分が所属するキャンパスの図書館が、申し込み・受け取りの窓口となります。

所蔵館については通常は図書館で調査しますが、すでに判明している場合は申し込み時にその旨お伝えください。

### 4.6.2 受け取り

論文のコピー、あるいは図書が届いたら、申し込み時に希望した連絡方法（電話、メールなど）で図書館から連絡します。連絡があったら早めにカウンターで受け取ってください。料金などについては下記のとおりとなっていますが、詳細はカウンターでお尋ねください。

	利用料金	支払方法	到着までの期間
<b>現物借用：学外</b> (他大学資料の取寄せ借用)	各機関や送付方法、資料の種類ごとに異なる (貸借は往復郵送料など、複写はおおよそ 35~50 円 / 1 枚 + 郵送料など)	校費(研究費) 私費(現金) 切手(借用時)	依頼先や郵送などの状況に応じて 4日~10日程度
<b>文献複写：学外</b> (他大学資料のコピー取寄せ)			
<b>文献複写：学内</b> (他キャンパス資料のコピー取寄せ)	20 円 / 1 枚	校費(研究費)のみ	

図表 4-3 相互利用サービスの概要

### 4.6.3 直接閲覧

直接他大学の図書館へ閲覧に行くことも可能です。ただし機関によっては図書館を通じての事前連絡や紹介状が必要となる場合もあります。各機関ごとに閲覧条件は異なりますので、もし直接閲覧を希望する場合は、利用希望日の数日前までに図書館カウンターへご相談ください。

## 演習問題

4-1 今泉隆雄氏の「飛鳥の須弥山と斉槻」という文献について、掲載雑誌名、巻年、ページを確認する。  
(『雑誌記事索引』を使う)

4-2 大西仁氏の国内論文を収集する。  
(『雑誌記事索引』を使う)

ヒント：検索年代はすべて選択する。著者名をそのまま入力すると別人まで含まれてしまうことに注意。別人を除いて検索する方法は「利用の手引き」で確認することができる。

4-3 田中耕一氏が共著者の文献「beta-carboline alkaloids as matrices...」について、掲載雑誌名、巻年、ページを確認する。  
(『Web of Science』を使う)

4-4 2001年に公表された東北大学金属材料研究所・井上明久氏の論文のうち、最も多く他の研究者から引用されている論文を調べる。  
(『Web of Science』のGeneral Searchを使う)

ヒント：著者名や所属機関の入力方法は入力欄上にあるサンプル例を参照する。検索された結果一覧を、画面のソート機能を使って引用件数順に並べ替える。

4-5 「吉本高志 他 脳と神経. 30(6)[1978]」の論題と共著者を確認する。  
(『雑誌記事索引』, 『MEDLINE』, 『Web of Science』を使う)

ヒント：複数データベースを使い比べてみるとそれぞれの特徴がわかりやすい。欧文データベースは漢字を使用できないので、著者から探す場合はAuthorを「yoshimoto t」と入力する。また、雑誌名がどう収録されているか不明の場合は、年代等で絞り込む。

解答と解説は、付録7にあります。

# 第5章 新聞記事の探し方

新聞は、過去から現在までの多様な時事的情報を記録しているメディアです。毎日発行している一般紙以外にも、ウェブやCD-ROMで利用できる新聞があります。

それらを活用して、必要とする新聞記事を探し出すには、どのようにすればよいでしょうか。



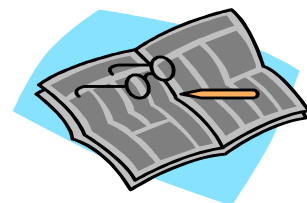


## 5.1 新聞資料の特徴

最近話題の事件、あるいは過去の世相などを探索する場合、新聞は有効な情報源となります。たとえば、ある事実が起こったかどうかという事実確認や、ある人物に関係した情報を集める場合などに活用することができます。また、あるテーマに関する情報を広く集め、そこから新たな問題提起をする場合にも活用可能です。新聞は、過去から現在にかけての多様な社会情報を日々記録しているメディアなのです。

また、新聞の特徴として見過ごされがちですが、新聞を発行している各新聞社には、それぞれ個性があります。マスコミュニケーション・メディアである新聞は、その公共的情報供給者としての面から、その記事も中立性を保っているように思われがちです。しかし、同じひとつの事件であっても、新聞社あるいは記者によって、問題への取り組み姿勢、記事のまとめ方・見解などの相違が原因で、記事の内容が異なってくるものです。同じ事柄に関する記事であっても、複数の新聞を読み比べてみることにより、さまざまな見方・考え方を知ることができます。

さて、新聞をイメージしてすぐに思いつくのは、報道記事を掲載し毎日刊行される一般紙だと思います。しかし、新聞には他にも様々な発行形態や内容、収録メディアのものがあ、それぞれに特徴があります。新聞記事を探そうとする場合は、まずその新聞メディアの特徴を知っておくことが大切です。



### 5.1.1 新聞の種類

#### (1) 発行形態による分け方

日本全国に販売拠点を持つ全国紙と、特定地域で販売される地方紙の、2種類の発行形態があります。ただし、地域に密着した記事内容を探索する場合であっても、地方紙だけではなく全国紙の地方面も有用な情報となる場合もあります。

- 全国紙 : 朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、産経新聞、日本経済新聞など
- 地方紙 : 河北新報、北海道新聞 など

## (2) 内容による分け方

全分野の内容を偏りなく掲載している一般紙と、それぞれの分野に特化した紙面で構成している専門紙の、2種類の内容に分けられます。

- 一般紙 : 朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、河北新報 など
- 専門紙 : 日本経済新聞、日刊工業新聞 など

## (3) 収録メディアによる分け方

新聞本紙は紙質が悪いため保存に向いておらず、また、記事検索用の索引もありません。そのため新聞は、さまざまなメディアに変換して提供されています。

メディアの種類	特徴
本紙	速報性が優先。メディアの保存や記事検索とも不向き。
縮刷版	本紙を縮小して月単位で印刷した冊子体。記事索引がついているものもある。
マイクロフィルム	本紙を縮小撮影したもの。保存によいが、閲覧には専用機器が必要。検索にはほかのツールが必要。
CD-ROM	記事検索に優れる。ただし、写真や広告など本紙全面は収録していないことが多い。
オンラインデータベース	複数年や複数紙の同時記事検索が可能なものもある。
無料ウェブサイト	もっとも速報性が高いが、本紙紙面とは別記事である。過去の記事を参照できない場合も多い。

図表 5-1 メディアの特徴

### 5.1.2 記事内容の種類

新聞は、毎日の報道記事のほかに、社説、地方面、文化欄、相場欄、コラム、インタビュー、漫画、広告などさまざまな内容を掲載しています。しかし、本紙以外のメディアでは、それらを収録していない場合もあります。それぞれのメディアを利用する際には、説明書や凡例をよく読んで確認してください。

### 5.1.3 目的別による使い分け

新聞を利用しようとする際は、その利用目的ごとに、これまで述べた種類のものを使い分けることが大切です。

目的例	利用ツール例
今月の最新記事を探す	本紙、オンラインデータベースなどを利用。最近の記事の確認には、ウェブサイトの検索も有用。
戦前の古い記事を探す	最近は古い資料も電子化してきているので、まず使い勝手のよいCD-ROMの有無を確認。ほかには冊子体などを利用。
図表や写真などを探す	オンラインデータベースなどで日付を特定し、本紙、縮刷版、マイクロフィルムなどを利用。CD-ROMでは未収録が多い。
地方関係の記事を探す	地方紙やマイクロフィルムを利用。全国紙は本紙以外のメディアでは地方面を収録しないので注意が必要。
複数新聞の記事を探す	横断検索できるオンラインデータベースを利用。

図表 5-2 目的別利用ツール



#### まめちしき 新聞の速報性

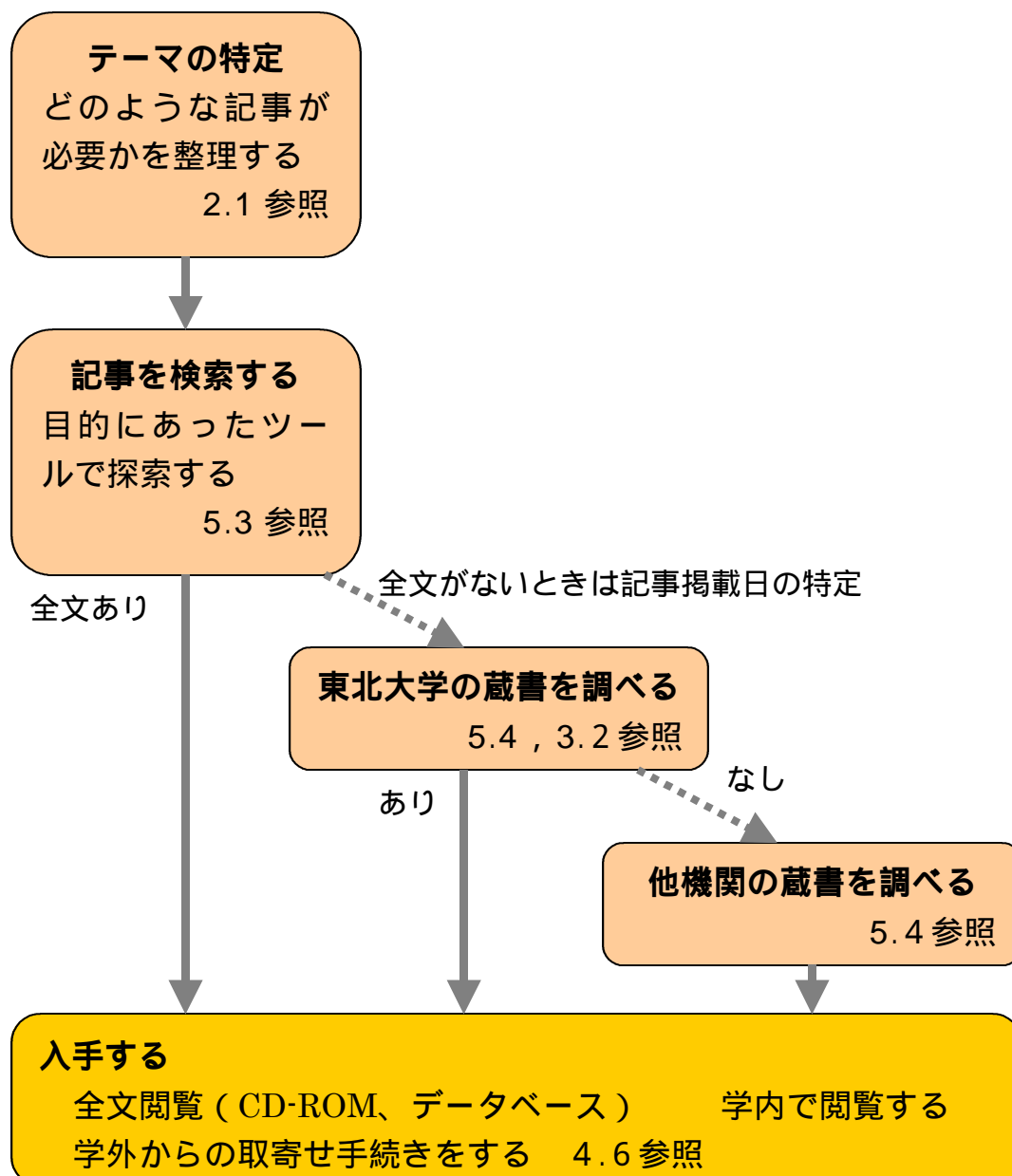
一般的に、ある出来事がおきた場合、その情報をいち早く、広く報道するメディアはテレビかラジオです。そしてその情報を印刷物として記録し、出版するのが新聞です。その後、情報は時間の流れとともに「新聞」「雑誌」「図書」の順番で印刷物として記録され、後世に参照できる形式で保存されていきます。

しかしこのような慣習も、ウェブの普及と情報環境の変化により、現在は変貌してきています。事件などの情報は、新聞よりも、場合によってはテレビやラジオよりも早くウェブサイトが報道しています。そしてその情報は後日も検索可能なうえ、新聞のような休刊日もありません。

情報環境が変わりつつある現在、情報を利用する側は、その目的や状況に応じてメディアを使い分けていく柔軟性が必要となってきました。

## 5.2 新聞記事入手までの概要

新聞記事を手に入れるにはまず、記事が掲載された日付を特定する必要があります。それから所蔵を調査し、利用の手続をします。ただし CD-ROM やデータベースなど、検索結果からそのまま全文を閲覧できるツールもありますので、入手手順は一概ではないことに注意してください。また、本紙についてはオンライン目録で検索できない場合もありますので、カウンターでお尋ねください。以下は、基本的な入手手順の流れ図です。



図表 5-3 新聞記事入手の基本的な手順

## 5.3 本学で利用できる主な新聞記事検索ツール

ここでは本学で利用できる探索ツールとして、オンラインデータベース、CD-ROM、無料ウェブサイト、冊子体ツールのそれぞれについて、おもなものを紹介していきます。

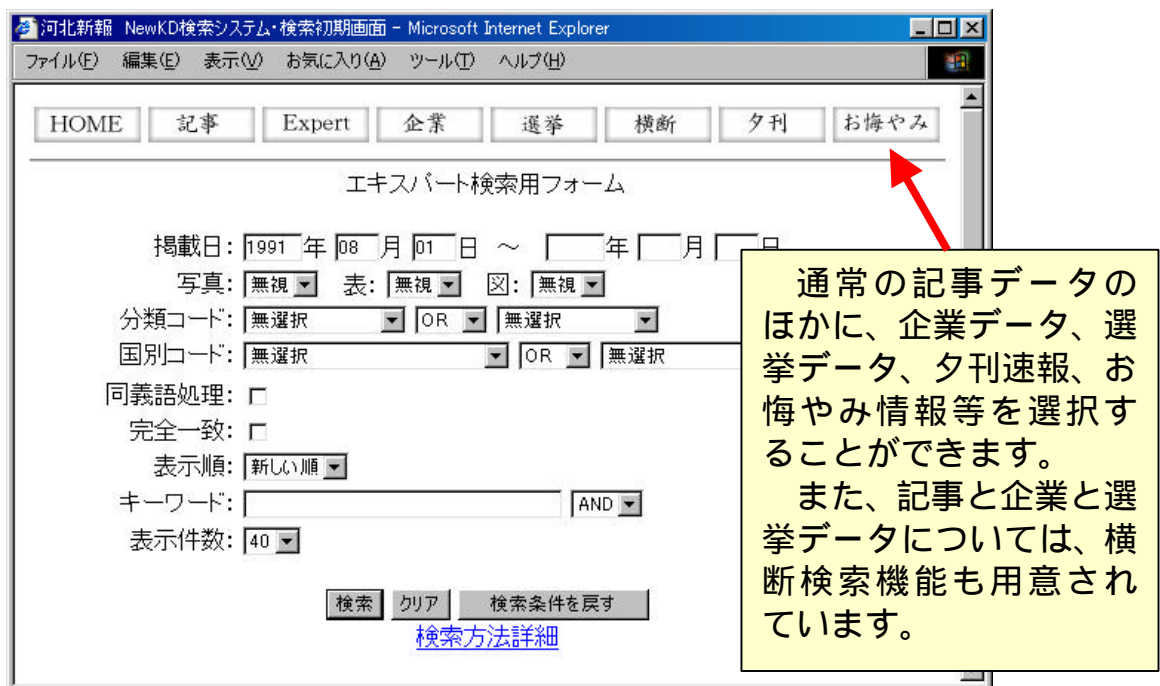
### 5.3.1 オンラインデータベース

- 『聞蔵(きくぞう) DNA for Libraries』 朝日新聞社  
(<http://www.library.tohoku.ac.jp/dbsi/dna/>) 学内限定  
朝日新聞のオンライン記事データベースです。1984年以降の本紙掲載記事のほか、同社発行の週刊誌も収録されています。またオプションとして、人物データベースも検索可能です。



図表 5-4 『聞蔵』シンプル検索画面

- 『インターネットKD（カーデー）河北新報データベース』 河北新報社  
(<http://www.library.tohoku.ac.jp/dbsi/kd/>) 館内限定：本館RC・医分・北分・工分・農分  
1991年8月以降の河北新報掲載記事が検索可能です。そのほか、戦後東北の選挙記録を収録した選挙データベースや、河北年鑑を基にした企業データベースなども収録されています。



図表 5-5 『KD』エキスパート検索画面

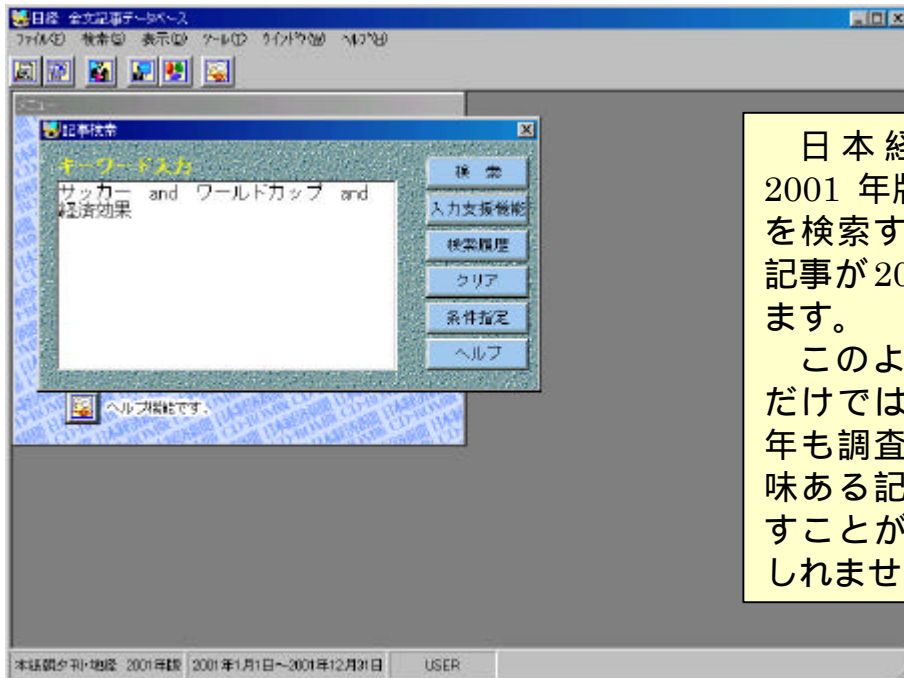
- 『日経テレコン21』 日本経済新聞社  
(<http://telecom21.nikkei.co.jp/>) 有料：本館RC  
全国紙・地方紙を含め、多数の新聞を横断検索できます。ただし収録年はそれぞれ異なります。例えば日経新聞は、1975年以降の全文検索が可能です。

### 5.3.2 CD-ROM

- 『CD-HIASK：朝日新聞記事データベース』 朝日新聞社 1985～：本館 RC  
朝日新聞の記事本文を収録し、1年分が CD-ROM1枚になっています。ただし、写真や図表などは収録していません。現在は前述の『聞蔵 DNA for Libraries』でも検索可能です。
- 『戦後 50 年朝日新聞見出しデータベース』 朝日新聞社 1945～1995：本館 RC  
朝日新聞縮刷版の巻頭記事索引をデータベース化したものです。本文は収録していません。
- 『日経全文記事データベース』 日本経済新聞社 1990～：本館 RC  
日本経済新聞の記事本文を収録し、1年分が CD-ROM1枚になっています。ただし、写真や図表などは収録していません。
- 『明治の讀賣新聞』 読売新聞社：本館 RC
- 『大正の讀賣新聞』 読売新聞社：本館 RC
- 『昭和の讀賣新聞：戦前』 読売新聞社：本館 RC  
本紙をそのまま画像データベースとしているので、図表なども閲覧可能となっています。

**例題** 2002年サッカー・ワールドカップ大会の経済効果について、その予測と結果の記事を探す。

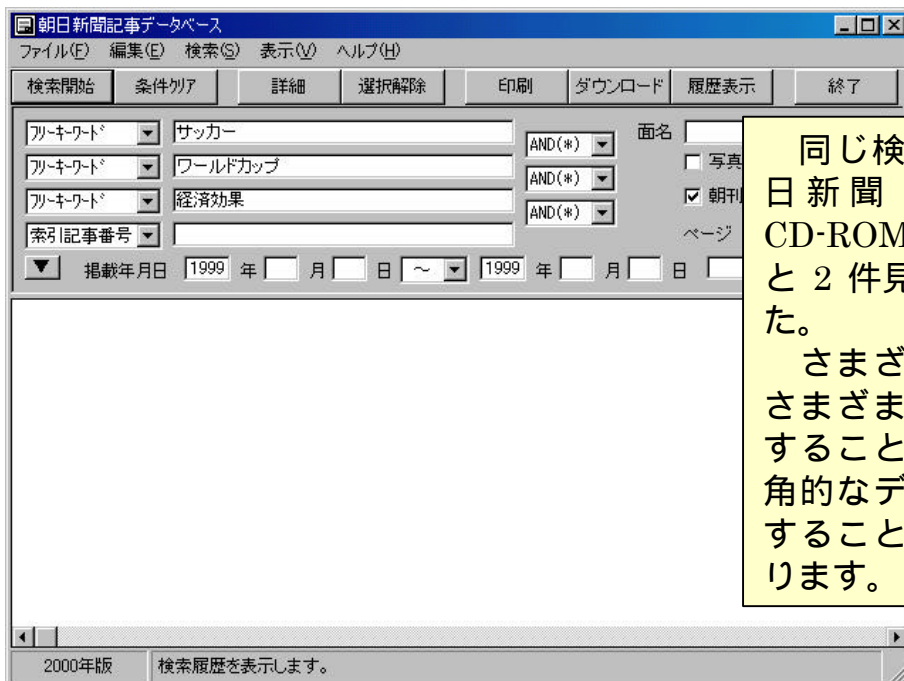
**回答例**



日本経済新聞の2001年版 CD-ROMを検索すると、該当記事が20件見つかります。

このように開催年だけではなく前後の年も調査すると、興味ある記事を探し出すことができるかもしれません。

図表 5-6 『日経全文記事データベース』検索画面



同じ検索語で、朝日新聞 2000年版 CD-ROMを検索すると2件見つかりました。

さまざまな新聞、さまざまな年を調査することにより、多角的なデータを入手することが可能となります。

図表 5-7 『CD-HIASK』検索画面



### 5.3.3 無料ウェブサイト

新聞記事を検索できるウェブサイトを利用する場合は、検索対象がウェブ版の記事なのか、あるいは本紙印刷版の記事なのかを確認してください。これらは別物ですので、区別して利用する必要があります。もしウェブサイトで探し出した記事の本紙で閲覧したいときは、掲載日付を確認しましょう。

#### (1) 国内

- 『日経 goo』  
(<http://nikkei.goo.ne.jp/>)  
日経 4 紙過去 1 年間の印刷版記事が検索可能です。本文は有料ですが、見出しまでは無料です。
- 『毎日新聞』  
(<http://www.mainichi.co.jp/>)  
過去 2 年間のウェブ版記事が無料検索可能です。

もし、調べたい新聞記事がごく最近のものである場合は、各新聞社のウェブサイトよりもサーチエンジン(ポータルサイト)のニュースページが便利です。そこでは、多くの新聞社や通信社のウェブ配信記事をカテゴリーごとに通覧できます。

- 『Yahoo! JAPAN ニュース』  
(<http://headlines.yahoo.co.jp/>)
- 『goo ニュース』  
(<http://channel.goo.ne.jp/news/>)
- 『excite ニュース』  
(<http://www.excite.co.jp/News/>)  
過去一週間、34 社の記事が横断検索可能です。

## (2) 海外

- 『Google News』  
(<http://news.google.com/>)  
インターネット検索サイトとしても有名な Google が、世界中約 4,500 以上の新聞やテレビ等ニュースサイトから自動収集し、独自の分類と重み付けをした英文記事を提供しています。
  
- 『Dialog Select Open Access』  
(<http://openaccess.dialog.com/business/>)  
アメリカ全国紙の記事が一括検索可能です。見出しまでは無料ですが、本文は有料です。
  
- 『New York Times』  
(<http://query.nytimes.com/search/advanced/>)  
創刊年からの検索は有料ですが、1996 年以降の検索は無料です。本館書庫には、本紙マイクロフィルムの索引 (1851 ~ 1982) も所蔵しています。
  
- 『Washington Post』  
(<http://www.washingtonpost.com/wp-adv/archives/>)  
1977 年以降の記事検索が可能です。
  
- 『図書・雑誌探索ページ』 実践女子大学図書館  
(<http://www.jissen.ac.jp/library/frame/>)  
広範囲、多分野の情報を集めたリンク集です。新聞記事を検索できるサイトについても、世界中の主要なオンライン新聞を幅広い考察を交えながら紹介しています。

### 5.3.4 冊子体

データベースなどで手軽に検索できない年代の新聞は、冊子体の探索ツールを利用することになります。また、冊子を通覧する方法は、データベースで検索語によって探す方法に比べ、思いがけない関連記事を見つけだす可能性もあります。ぜひ一度手に取ってみてください。

- 『朝日新聞記事総覧』 大正前期編，大正編，昭和編，平成編 1985～1999：本館 RC  
朝日新聞（東京）縮刷版巻頭の記事索引を集成したものです。同様に、朝・夕刊最終版に掲載された記事の索引として、毎日新聞社の『毎日ニュース事典』（1973～1980）や、読売新聞社の『読売ニュース総覧』（1980～1994）などがあります。それぞれ、事項や人名などさまざまな索引で検索することができます。
- 『明治ニュース事典』 明治ニュース事典編纂委員会，毎日コミュニケーションズ出版部編集制作 1983～1986：本館 RC  
当時のおもな新聞などから記事を採録したものです。事項別、分類別、年次別の索引があります。同様に『大正ニュース事典』、『昭和ニュース事典』も所蔵しています。
- 『新聞集成明治編年史』 中山泰昌編著；新聞集成明治編年史編纂會編纂 1934～1936：本館書庫 [IIIA3-11/メ1]  
当時の主要な新聞記事を集めた集成版です。同様な資料として、加藤秀俊ほか編の『新聞集録大正史』や、入江徳郎ほか編の『新聞集成昭和史の証言』なども、本館で所蔵しています。



#### まめちしき 最終版とは？

毎日5千万部以上も出版される全国紙は、印刷途中で記事差し替えが起こる場合があります。そのため、同一出版日でも地域により記事内容が異なる場合があります（新聞本紙の上部に、第何版かが表示されています）。検索ツールの収録記事は、原則として最終版を基にしています。

**例題** 明治45年(1912)大西洋で沈没したタイタニック号の日本人乗船者名と、生還後のインタビュー記事を探す。

**回答例**

大蘇芳年 (たいそよしとし, 月岡米次郎)  
 ①541d, ②55d, ③366a, 595c, ④404a  
 大隊営所 ①329d  
 大隊区司令部条例 ④789c  
 大陸排斥同盟 ⑥85d  
 タイタニック号 ⑩6c  
 タイタニック号生存者の顛末書 ⑩419  
 タイタニック号沈没 ⑩418d  
 タイタニック号沈没の顛末 ⑩420a  
 第一銀行券流通禁止 ⑦267d

『明治ニュース事典』および『新聞集成明治編年史』の索引を「タイタニック」で検索すると、日本人乗船者名は判明しましたが、インタビュー記事は見つかりません。

図表 5-8 『明治ニュース事典』事項別索引

検索画面 M09 1974(明治7)年11月~1912(明治45)年7月

キーワード入力  
 前方一致 後方一致 タイタニック  
 前方一致 後方一致  
 前方一致 後方一致  
 前方一致 後方一致

掲載日指定  
 明治 07/11/02 ~ 45/07/31

発行形態  
 全体  朝刊  付録  号外

ページ  
 0 ページ

分類  
 政治 経済 国際  
 社会 事件・事故 文化 科学  
 生活 スポーツ 音楽

全項目クリア 数値項目クリア 絞り込み解除 項目指定解除 終了

『明治の読賣新聞』CD-ROMを検索すると、写真とともにインタビュー記事が見つかります。このように複数のメディアでの探索を心がけてください。

図表 5-9 『明治の読賣新聞』検索画面

## 5.4 新聞の所蔵検索

新聞の所蔵を探す手順は、基本的に3章の図書・雑誌の探し方と同様です。まず、学内外のオンライン目録で探してください。新聞の場合は、オンライン目録で所蔵を確認できない場合が多いので、冊子体ツールなどでの調査も必要です。

また、最新の新聞本紙の所蔵については、図書館カウンターに問い合わせてください。

- 『全国新聞総合目録データベース』 国立国会図書館  
(<http://sinbun.ndl.go.jp/>)  
国内の公共図書館、大学図書館、地方公共団体などの所蔵を確認できます。マイクロフィッシュや縮刷版、復刻版、電子資料まで収録しています。同様の冊子体ツールである『全国複製新聞所蔵一覧』については、本館 RC で所蔵しています。
- 『東北地区大学図書館所蔵新聞目録』 第2版 東北地区大学図書館協議会編 1987：本館 RC
- 『明治新聞雑誌文庫所蔵新聞目録』 東京大学法学部明治新聞雑誌文庫編 東京大学出版会 1977：本館書庫 [UP15/024]

**例題** 昭和31年の「河北新報」所蔵館を探す。

### 回答例

河北新報 仙台 河北新報社	
明30.1創刊	
所蔵 青森県立図書館	P 昭61.1~
河北新報社	N 明30.4~昭19.12 (欠あり)
	昭28.9~昭47.8
	P 明30.1~昭62.6 (欠あり)
所蔵 東北大学附属図書館	昭31.1~平3.12
	(欠 昭33.12, 昭38.8)
計画	平4.1~

『Online Catalog』で検索しても該当年のものはヒットしません。しかし、『全国複製新聞所蔵一覧』で調べると、東北大でも所蔵していることがわかります。

図表 5-10 『全国複製新聞所蔵一覧』抜粋

参考までに本分館 2004 年の本紙所蔵状況を下表にまとめました。

専門紙などは各研究科等で購入している場合もありますので、図書館カウンターに探索法を問い合わせてください。

タイトル	本館	医学分館	北青葉山分館	工学分館	農学分館
朝日新聞					
科学新聞					
河北新報					
産経新聞					
スポーツニッポン					
スポーツ報知					
日刊スポーツ					
日経産業新聞					
日本経済新聞					
日本工業新聞					
日本農業新聞					
Fuji Sankei Business i					
毎日新聞					
読売新聞					
BOLA					
China Business Weekly					
China Daily					
Guangming Daily					
International Herald Tribune					
KOMPAS					
TAIWAN Journal					
The Japan Times					
韓国日報					
人民日報					
台北週報					
朝鮮日報					

図表 5-11 本紙の所蔵状況一覧

保存期間は各館により異なりますが、おおよそ半年から一年程度となります。

## 5.5 新聞の出版情報

新聞にはさまざまな種類があるということを、ここまで説明してきました。ここでは、どのような新聞が出版されているのか調べるツールを紹介します。

- 『雑誌新聞総かたろぐ』 メディア・リサーチ・センター 1979～：本館 RC ・ 1997～：工分 ほか  
22,000 点以上の国内雑誌・新聞などを収録しており、タイトル、分野、発行所などの索引があります。毎年最新版が発行されています。
- 『日本新聞雑誌便覧』 日本新聞雑誌調査会 1965～：本館 RC ほか  
新聞雑誌関係の出版社などを分野ごとにわけ、各社ごとのタイトル説明などを掲載しています。
- 『世界 CD-ROM 総覧』 ペンローグ 日外アソシエーツ 1989～2001：本館 RC  
日本および海外の新聞を含む CD-ROM が分野ごとに収録されています。
- 『Ulrich's Periodicals Directory』 Bowker：本館 RC ・ 医分 ・ 工分 ほか  
世界各国の雑誌・新聞などを収録しており、タイトル、分野、出版者などの索引があります。



### まめちしき 情報の信頼性

新聞の特徴の一つとして速報性があります。これは、早く出来事を伝えるという効力があるのと同時に、その裏返しとして、事実関係の裏付けが正確ではない場合もありうるという側面も持っています。そのようなことがよくあるため、一つの新聞記事だけでは信頼性が足りないといえます。

事実調査として新聞情報を活用するときは、複数の新聞記事で情報を確認し、事実が起きた数日後の紙面も参照する必要があります。また、新聞以外のメディアによる記事も併せて調査してください。可能なかぎり多様な角度から調べることで、情報を検証することが大切です。

**演習問題**

- 5 - 1 東北大学で名誉博士号を取得した田中耕一氏について、朝日新聞に掲載された授与式後の写真と新聞記事を探す。  
(『聞蔵』と『Online Catalog』を使う)

ヒント：データベースだけでは写真は探し出せない場合が多い。複数のツールを利用する。

- 5 - 2 仙台初売りに関する最近の経済記事を探す。  
(『日経 goo』を使う)

ヒント：検索語に注意。

- 5 - 3 東北大学附属図書館に寄贈された斎藤家文書に関する記事を探す。  
(『聞蔵』と『KD』でヒット件数を比べてみる)

ヒント：検索語に注意。

- 5 - 4 明治30年の『河北新報』所蔵館を調べる。  
(『Online Catalog』と、『全国新聞総合目録データベース』を使う)

ヒント：ツールによっては所蔵確認できない場合もある。

解答と解説は、付録7にあります。



## 休憩コーナー



### テレビ塔で天気予報？

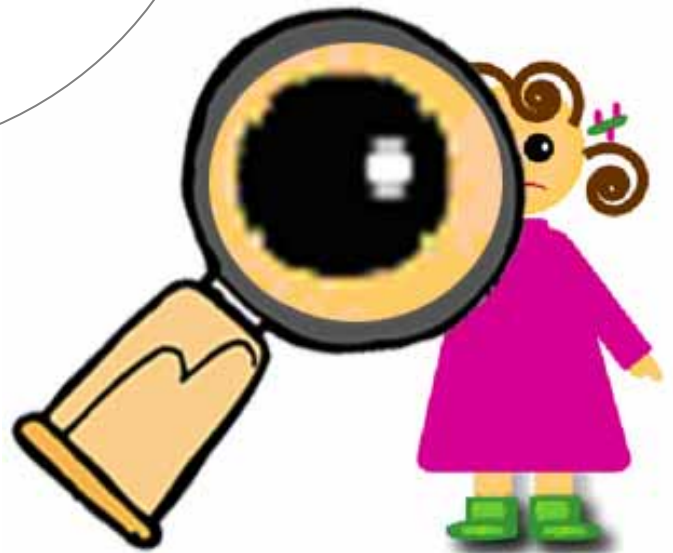
仙台の人でさえ「聞いたことあるけど、なんだっけ？」というのが、ミヤギテレビのテレビ塔でわかる天気予報です。夜間はライトアップされるのですが、そのライトの色で「白 晴れ」「オレンジ 曇り」「緑 雨」と天気予報になっています。

こんな便利(?)なのになぜ「なんだっけ？」となるかというと、「色と天気の対応が覚えられない」というのが理由のひとつ。もうひとつは同じ山にテレビ塔が「3本」あり、どれが天気予報を表す塔なのか分からない、ということでしょう(正解は・・・毎日見てれば色が変わる塔があるので、すぐわかります)。

# 第6章 より専門的な資料を 探するために

学位論文や会議録など、図書・雑誌・新聞以外にも、専門的な情報源があります。

それら通常の出版流通にのらない情報には、どのようなものがあるでしょうか。また、どのようなツールで探すことができるでしょうか。



## 6.1 より専門的な資料とは？

図書や雑誌の文献を読んでいるうちに、「議会でこの法案について実際どんな議論がされたのだろうか？ 内容がわかる資料が見たい」とか、「引用されている論文を探してみたけれど検索しても出てこないし、書いてある番号の意味もよくわからない」というような事態になることがあります。そのような時は、どのような資料を探せばよいのでしょうか？

前者の場合は、議会の議事録や日誌を探せばよいでしょう。後者の場合は、その論文は特許やテクニカル・レポートである可能性があります。研究が進むにつれて、3～5章で説明してきたような図書・雑誌・新聞だけでなく、このような、より専門的な資料が必要になる場合が出てきます。

専門的な資料の多くは、通常の出版や流通市場に乗らないために、見つけ出しにくいものとなっています。そのため「灰色文献」(Gray Literature)と呼ばれる資料もあります。しかし、これらは信用度の高い資料なので、その存在と探し方を知っておくことは重要かつ、実は基本でもあります。

この6章では「灰色文献」と呼ばれる資料のなかから、次の基本的な資料をとりあげ、国内の資料に関して、初心者でも探しやすいウェブでの情報探索ツールを中心に紹介していきます。(より詳細な内容については、「自然科学編」参照。)

- 博士学位論文
- テクニカル・レポート
- 会議録
- 特許資料
- 政府関係資料(官報・議会の議事録・法令など)
- 国際機関資料 など

もし紹介したツールで探しきれない場合は、別の専門ツールを使う必要があります。専門ツールは使い方が難しい反面、使い方を覚えていく過程で、その資料に関する知識も習得していけるというメリットがあります。ウェブ上の探索にとどまらず、図書館のスタッフに聞いて、ぜひ専門ツールも使ってみてください。

## 6.2 博士学位論文を探す

日本の博士学位論文の原本は2部あり、そのうちの1部は学位を取得した大学で、もう1部は国立国会図書館（関西館）で保存します。また論文の内容は、市販や自費出版の図書として刊行されたり、雑誌掲載論文という形で公開されます。最近では、論文の原文を電子化して、ウェブ上で無料公開するというケースもでてきています。しかし、どのような形態の論文を探す場合でも、論題・著者名・学位授与大学名・授与年に関する情報を手元に持っていることが大切です。

### 6.2.1 書誌情報を確認する

手持ちの情報がはっきりしない場合は、できるだけ網羅的なデータベースの検索から始め、書誌情報(2章参照)をはっきりさせましょう。そのような検索のためには、次のデータベースが利用できます。

- 『NDL-OPAC』 国立国会図書館  
(<http://opac.ndl.go.jp/>)  
国立国会図書館に保存されている原本の書誌情報のうち、1984年以降受け入れた分を『NDL-OPAC』(3章参照)を使って検索することができます。このデータベースを利用する場合、「学位授与大学」は出版者、「授与年」は出版年として検索することに注意してください。
- 『学位論文索引データベース』 1957～ (NACSIS-IR で提供) 国立情報学研究所  
(<http://www.nii.ac.jp/ir/>) 有料  
現在最も網羅的なデータベースです。全国約330の国公立大学等の学位論文書誌情報をデータベース化して、提供しています。収録年の範囲は機関により異なります。(p133 まめちしき参照)

以上のツールで探しても、目的の論文に関する情報が得られなかった場合、『日本博士録』などの冊子体の専門ツールで探していくことになります。このツールにより、明治21年(1888)～昭和52年(1977)の間の博士論文を探すことができます(詳しくは本館レファレンスデスクへ)。

### 6.2.2 内容を知りたい

博士学位論文の内容は、「要旨」という形にまとめられて公表されていますので、それを見ることで概要がわかります。公表は次のように行われています。

- 要旨集として発行  
各大学で発行されます。東北大学の場合は、研究科ごとに『博士学位論文内容要旨および審査結果要旨』が刊行され、図書館で所蔵しています。内容を見たい場合は、オンライン目録を検索して探します。
- 関連分野の雑誌に掲載  
雑誌掲載の論文を探す場合は、文献データベースで記事検索をして、掲載雑誌を探します。
- ウェブサイトに掲載  
要旨集のウェブで公開されている情報の場合は、次項で紹介する「日本の大学の学位論文を探すサイト」を参照したり、サーチエンジン（7.7 参照）を使用して探すことができます。

### 6.2.3 各大学のウェブサイト

探している論文の著者名・論題・学位授与大学と授与年など詳しい情報がわかっている場合は、まずその大学のウェブサイトへアクセスして、ウェブ上で全文情報の公開をしていないかどうかや、入手できるかどうかなどの情報を探してみましょう。

また、次のような学位論文に関するウェブ上の情報を集めたサイトもありますので目的の論文に関する情報を探してみてください。

- 『日本の大学の学位論文を探すサイト』 名古屋大学大学院国際開発研究科  
情報資料室  
(<http://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/service/library/guide/dis.html>)  
学位論文を検索できるサイトや論文全文・要旨を公開しているサイトを、国公立大学や学協会ごとに集めたリンク集です。

### 6.2.4 東北大学の情報を探す

東北大学の場合は、書誌情報については国立情報学研究所のデータを元に、昭和53年度(1978)以降の博士学位論文のデータベースを作成し、『学術情報ポータル』(1.2.4(8)参照)から検索できるようにしています。詳細検索を使用すれば、学位名称(文学、工学など)・授与年度・授与日などを指定して検索することもできます。

- 『学術情報ポータル』統合検索 東北大学附属図書館  
(<http://www2.library.tohoku.ac.jp/>)

また、論文題目などの情報をウェブ上で公開している研究室もあります(例えば、東北大学理学研究科惑星プラズマ・大気研究センターなど)。興味のある研究室がわかっている場合は、直接その研究室のサイトへ情報を探しに行くのも一つの方法です。

### 6.2.5 入手の方法

学位論文原本については、通常は著作権の規程により、全体のページ数の半分までしか複写できません。それ以上になる場合や全ページの複写を希望する場合は、直接著者の許諾を取った上で、所蔵機関へ申し込むこととなります。申し込みの際は、図書館カウンターへ問い合わせてください。



#### **まめちしき** NACSIS-IR (ナクシス アイアール)

『NACSIS-IR』は、国立情報学研究所で提供している、有料のオンラインデータベースサービスの名称です。主に、国内の学術情報や文献情報に関する各種分野のデータベースを提供しています。6.2 や 6.3 で紹介したほかにも、現在全部で 42 種類のデータベースをサービスしており、例えば『霊長類学文献索引データベース』といった特定の主題に関するものも含まれています。

利用を希望する場合は、図書館カウンターへ相談してください。

<http://www.nii.ac.jp/ir/>

## 6.3 テクニカル・レポートを探す

「テクニカル・レポート」とは、種々の専門研究機関から刊行された研究報告書のことです。内容的には先端的なものが多く、国の研究機関や大学などから刊行されています。テクニカル・レポートは一点ごとに、「TOI-1185/2001」といったような固有の番号をもっています。雑誌の巻号とは異なる、このような番号が参考文献に書いてあったら、それはテクニカル・レポートである可能性があります。

ここでは、国内のテクニカル・レポートの例として、「科学研究費補助金研究成果報告書」を紹介します。

### 6.3.1 科学研究費補助金研究成果報告書とは

科学研究費補助金研究成果報告書とは、文部科学省と日本学術振興会で交付する、「科学研究費補助金」(科研費)による研究の成果内容をまとめたものです。科研費の研究は通常、複数研究者のグループで行われます。報告書の原本は、研究代表者の所属機関へ2部提出されます。そのうち1部はその機関で保管し、もう1部は国立国会図書館で保管されます。また、研究成果は各々の研究者が、雑誌論文や学会発表などによって公開しています。

補助金交付の対象となった研究課題には、それぞれ固有の「課題番号」が付与されています(例えば、1997年度 - 1999年度の科研費に採択された、長谷川公一氏が研究代表者の課題「環境 NGO と自治体政策の社会学的研究」の課題番号は「09610164」)。

#### (1) 研究課題の情報を探す

国立情報学研究所では、科研費に採択された研究課題名のデータベースと、その研究成果報告書のデータベースを作成し提供しています。これらのデータベースは、研究者名や課題中の単語、分野等から検索することができます。

- 『科学研究費補助金採択課題データベース』 1996年度～  
(NACSIS-IR で提供) 国立情報学研究所  
(<http://www.nii.ac.jp/ir/>) 有料  
どのような研究が採択されているのか、最新の研究課題名を知ることができます。

- 『科学研究費補助金研究成果概要データベース』 (NACSIS-IR で提供)  
国立情報学研究所

(<http://www.nii.ac.jp/ir/>) 有料

科研費の研究内容はもとより、どのような報告書や論文が発表されたかなどの研究成果も知ることができます。前に挙げた長谷川公一氏が研究代表者の課題を例とすれば、報告書が1999年に提出され、論文としては「六ヶ所村」と「巻町」のあいだ. 社会学年報 28号(1999年)」などがあることがわかります。

## (2) 東北大学所蔵の報告書

東北大学の研究者が研究代表者となっている科研費の報告書は、本館2号館に保管されています。そのデータは、学位論文と同じく『学術情報ポータル』(6.2.4参照)のサイトで検索することができます。

研究代表者が東北大学の研究者ではないものについては、所蔵していれば図書と同じ扱いで『Online Catalog』により検索できます。

## (3) 入手の方法

東北大学で所蔵している報告書は、通常の図書と同じように利用することができます。

ほかの機関で所蔵しているものについては、相互利用サービス(4.6参照)によって利用が可能です。



### 6.3.2 その他のテクニカル・レポート

日本で発行された種々のテクニカル・レポートのみを総合的に探す方法は、現在のところありません。科学技術振興機構（JST）の所蔵目録では、同事業団のテクニカル・レポート類をも含んだ所蔵資料を検索することができます。検索した文献は、有料で取り寄せが可能です。

- 『JST 資料所蔵目録』 科学技術振興機構  
(<http://opac.jst.go.jp/>)

また、発行機関によってはウェブ上でレポート情報を公開していますので、サーチエンジン(7.7参照)を使用して、探し出すことも可能です。レポート全文を公開している場合もあります。

## 6.4 会議録を探す

「会議録 (Proceedings)」とは、学協会などが開催した各種会議 (Conference, Meeting, Symposium など) の内容を記録したもので、発表内容の概要やその論文などを収録しています。発行の形態はさまざまで、図書として発行されるもの、雑誌の別冊として発行されるもの、市販されずに関係者の間で配布されるものなどがあります。会議録が文献中で紹介される場合は、「Proceedings of the 10th international symposium on...」, 「第8回図書館学会大会報告」といった形で示されます。

### 6.4.1 どのような会議録が刊行されているのか調べる

国内学会の会議録の刊行状況を調べるための十分なツールはありませんが、次のデータベースである程度調べることができます。

- 『学会発表データベース』
- 『予稿集・要旨集』  
(J-STAGE で提供) 科学技術振興機構  
(<http://www.jstage.jst.go.jp/ja/>)

『学会発表データベース』には、日本国内の学協会主催の会議での発表タイトル、発表者名や抄録、それが会議録として刊行された場合の収録誌名と巻号などが採録されています。

『予稿集・要旨集』には、会議の開催前に公開された発表内容、発表者名、タイトルなどが収録されています。

どちらのデータベースも発表者名、タイトル、抄録中のキーワードなどにより検索できます。学会名がわかっている場合は、学会名のインデックスを使用してアクセスすると便利です。まめちしき参照



#### まめちしき J-STAGE (ジェイ ステージ)

J-STAGE は、科学技術振興機構 (JST) で提供している電子ジャーナル出版・公開システムです。国内の科学技術に関係する学協会誌や会議録、報告書などの情報を電子化し、掲載論文の抄録や全文情報を統合的にウェブ上で見られるようにしています。

<http://www.jstage.jst.go.jp/ja/>

次の目録は、個々の発表について調べることはできませんが、刊行された会議録の書誌情報を調べる時には有効です。ただし、所蔵目録なので国内学協会主催の会議録以外の資料も含まれます。また、必ずしも網羅的ではありません。

- 『JST 資料所蔵目録』 科学技術振興機構 6.3.2 参照
- 『NDL-OPAC』 国立国会図書館 3.3.4 参照

そのほか、国内で開催された国際会議の会議録を調べる場合には、さまざまなツールがありますので、図書館カウンターにお問い合わせください

#### 6.4.2 入手の方法

東北大学の所蔵資料であれば、通常の資料と同様に利用できます。そのほかの学術機関で所蔵しているものは、相互利用サービス(4.6参照)によって利用できます。また、会議録は市販されているものも多く、主催学協会や書店を通じて購入することができます。販売情報については、各学協会のウェブサイトで確認できます。

#### 6.4.3 会議の開催情報を調べる

会議録を探す上では、会議開催の日時や場所などの開催情報も手がかりとなります。最近の会議情報を知るには、次のようなウェブサイトがあります。

- 『学会 Net』 インフォトレーダー株式会社  
(<http://www.skysoft.co.jp/gakkai/>)  
国内の会議開催情報を集めたページ。分野や 50 音順のリンクをたどって学協会を探すことも、学協会名などにより検索することもできます。
- 『学協会情報発信サービス』 国立情報学研究所  
(<http://wwwsoc.nii.ac.jp/>)  
学協会に関する情報を総合的に提供するウェブサイトです。学協会の開催情報や学協会へのリンク集があります。

## 6.5 特許資料を探す

よく「特許」という言葉を使いますが、「特許」とは何でしょうか。特許とは、「特許権」という権利のことで、発明に対して独占的な権利を与えて保護するものです。  
まめちしき参照

管轄の特許庁からは、発明の出願時に『公開特許公報』が、認定時には『特許公報』という冊子が刊行されます。出願人・発明者・発明の内容・申請年月日など特許に関する情報は、これらの公報で得ることができます。さらに、特許庁では「特許電子図書館」というウェブサイトで、特許に関する総合的な情報検索サービスを無料で提供しています。

### ■ 『特許電子図書館』 特許庁

(<http://www.ipdl.jpo.go.jp/>)

このサービスは、特許に関して詳しく知っている人に対応できるよう、専門的な検索の作りになっています。通常使う場合は、「初心者向け検索」を使うのがよいでしょう。キーワード（技術用語）・出願人・発明者から簡単に検索でき、特許の詳細まで見ることができます。



### まめちしき 特許権

特許権は産業財産権という権利の1つで、ほかに実用新案権・商標権・意匠権という3つの権利が産業財産権に含まれます。それぞれの権利は、法律で保護されるとともに、その情報は一般に公開され、さらなる技術開発に利用できるようになっています。

また、産業財産権は、「人間の幅広い知的創造活動について、その創作者に権利保護を与えるもの」である知的財産権のうちの一つとなっています。

<http://www.jpo.go.jp/seido/index.htm>

特許庁ホームページ「産業財産権（工業所有権）の概要」

## 6.6 政府関係資料を探す

世界各国では、行政や司法に関係する公的な資料が行政府や議会等から刊行されています。これらの資料は、公的機関が刊行に関わることで資料としての信頼度が高く、さまざまな研究の基礎情報として活用されます。こういった刊行物は、官報に代表されるような政府や官公庁の公報類、白書類、世論調査や種々の調査報告書類、議会の議事録、法令資料、統計資料、テーマ別研究成果報告書など、非常に資料の種類も分野も多岐にわたり、刊行形態も様々です。

政府関係の資料を探す手段には、冊子の刊行物目録や国立図書館の目録を検索するなどさまざまな方法があります。また国によっても異なるなど、複雑なものとなっています。しかし最近の電子化推進で、各国の政府刊行物もインターネットによって検索ができたり、全文を入手したりすることができるようになってきました。日本でも公式刊行物の出版目録だけではなく、ウェブサイトによっては、刊行物としては手に入らない情報や、関連する法律・法規も調べられるようになってきています。次から、ウェブで公開されている、日本の政府関係資料情報サイトを紹介します。

### 6.6.1 官報・白書など全般的に調べる

白書・統計・官報（国の日刊機関紙で、法令・条約・予算・国会事項・人事・叙任などを一般に知らせるためのもの）といった主要な刊行物を調べたり、省庁関係の情報を全般的に調べたい時は、次のウェブサイトが便利です。（統計については、7.6参照）

- 『政府刊行物』

(<http://www.gov-book.or.jp/>)

政府から出版されている刊行物全般についての情報が得られるサイトです。1996年6月3日以降の官報の目次や、刊行物関連書籍の検索ができます。国立印刷局で提供している官報本文サイトへのリンクもあります。

- 『電子政府の総合窓口』  
(<http://www.e-gov.go.jp/>)  
政府関係ウェブ情報の総合窓口です。情報を探すための入り口が、審議会情報や白書などの情報の種類で探す場合 省庁から探す場合 など、利用者の観点に立って複数案内されているのが便利です。官公庁ウェブサイトの全文検索もできます。
- 『独立行政法人国立印刷局』  
(<http://www.npb.go.jp/index.html>) 一部有料  
官報・白書を刊行している国立印刷局（旧財務省印刷局）のウェブサイトです。一週間分の官報の本文を見ることができます。また記事の検索もできますが有料です。白書やそのほかの刊行物についての出版情報を探することもできます。

### 6.6.2 議会資料（会議録など）を調べる

議会資料には、会議録・速記録・法案などがあります。その中で、議会の経過を知ることのできる会議録は、最も基本となる資料です。

日本の衆議院・参議院の本会議録の冊子体は、戦前のものから本館で所蔵しています。また、戦後のものや最近のものは、次のウェブサイトで検索して本文を見ることができます。

- 『国会会議録検索システム』 国立国会図書館  
(<http://kokkai.ndl.go.jp/>)  
1947年5月20日の第1回国会以降の本会議と、全ての委員会の会議録とその関係資料を検索し、本文を見ることができます。国会の回次や発言者名、所属会派などを指定して検索できます。
- 『衆議院会議録議事情報』 衆議院  
([http://www.shugiin.go.jp/index.nsf/html/index\\_kaigiroku.htm](http://www.shugiin.go.jp/index.nsf/html/index_kaigiroku.htm))  
第145回国会（平成11年1月19日～）以降の衆議院の本会議や各種委員会の会議録議事部分を見ることができます。本会議・委員会毎に分類されているので、探したい委員会や分野がはっきりしている場合に便利です。キーワード検索機能はありません。

- 『参議院会議録議事情報』 参議院  
(<http://www.sangiin.go.jp/japanese/frame/joho2.htm>)  
会議開催日より30日間、会議録本会議や各種委員会の議事録を見ることができます。本会議・委員会毎に分類されています。最近のもので、探したい委員会や分野がはっきりしている場合に便利です。キーワード検索機能はありません。なお、30日を過ぎたデータについては『国会会議録検索システム』で検索できます。

また会議録以外の、議案や予算・決算関係などの最近の議会の動きに関する資料も、参議院および衆議院のホームページで公開されています。

- 『衆議院』 衆議院  
(<http://www.shugiin.go.jp/>)
- 『参議院』 参議院  
(<http://www.sangiin.go.jp/>)

### 6.6.3 法令・判例を調べる

法令を調べるには、次のウェブサイトが便利です。しかし、各省庁のサイトでも省令等の法令を検索したり全文をみたりできるので、省庁が特定できる場合は直接そのサイトにアクセスするのもよいでしょう。判例については、裁判所のウェブサイトでは最高裁判所や高等裁判所などの判例集を検索することができます。

- 『法令データ提供システム』 総務省  
(<http://law.e-gov.go.jp/>)  
憲法・法律・政令・勅令・府令・省令・規則の内容を検索でき、全文を見ることができます。
- 『判例情報』 最高裁判所  
(<http://www.courts.go.jp/>)  
最高裁・高裁・行政事件・労働事件・知的財産権裁判および速報・下級裁主要判決の判例集が提供されています。それぞれの判例集ごとに、判決日、裁判所名、キーワード等によって検索できますが、複数の判例集を一緒に検索することはできません。

## 6.7 国際機関資料を探す

国際機関とは、国際連合（United Nations）に代表されるような、国々が協力・連合して活動を行う国際的な団体です。このような国の枠を越えた機関は、政治経済活動、平和維持、人権問題など多様な問題に関わり、世界情勢に大きな影響力を及ぼしているため、その公表資料はさまざまな研究分野に使われています。

国際機関においては、どのような活動をしているのか一般に知らせる広報活動が盛んで、早くから公式資料の電子化を行い、ウェブで公開する環境を整えてきました。現在では、公式資料のかなりの部分がウェブサイトから入手できるようになっています。

東北大学附属図書館は、東北地方で唯一の国際連合および欧州連合（EU）の寄託図書館となっており、それぞれの総会資料・官報・市販刊行物などの寄託を受けています（p148 まめちしき参照）。それに加えて、経済協力開発機構（OECD）および世界保健機関（WHO）の刊行物も収集しています。国際連合、EU、OECD 資料は本館 2 号館、WHO 資料は医学分館 WHO 室で所蔵しています。これらの資料の大部分は『Online Catalog』で検索することができますので、冊子体も手にとって利用してみてください。

また、それぞれの機関の刊行物や資料には、「A/2002/12」などといった固有の刊行物番号が付与されています。資料を特定する際の鍵となりますので、検索や利用の際は控えておきましょう。

### 6.7.1 国際連合（United Nations）と関係機関の資料

#### (1) 資料の検索

国際連合の刊行物を全般的に検索する場合は、「UNBIS」という国連本部図書館の所蔵目録を使います。この目録では、国連刊行物と国連関係の出版物を検索できます。CD-ROM 版とオンライン版があり、CD-ROM 版は本館レファレンスデスクで利用することができます。オンライン版には、次の URL でアクセスすることができます。

- 『UNBISnet』 United Nations Dag Hammarskj Id Library  
(<http://unbisnet.un.org/>)



## (2) 全文情報へのアクセス

全文情報にアクセスする場合は、UNBIS を検索して、発行機関・資料タイトル・国際連合の刊行物番号・発行年などを特定し、次いで各機関のウェブサイトへアクセスして、各資料の全文情報へのリンクをたどってください。

各関連機関には、『Official Web Site Locator for the United Nations System of Organizations』の関連機関のアルファベットリストからアクセスすると便利です。

- 『Official Web Site Locator for the United Nations System of Organizations』 United Nations  
(<http://www.unsystem.org/>)  
国際連合とその関係機関を一覧できるリンク集です。

もし調べる資料が、どんな分野に、あるいはどの委員会に関係するのかわかっている場合は、直接『UN Document Center』にアクセスするとよいでしょう。

- 『UN Document Center』 United Nations  
(<http://www.un.org/documents/>)  
公式記録の全文情報へリンクしています。

## (3) 公式サイト

国際連合の公式ウェブサイトは、次の通りです。このウェブサイトからは、資料情報に限らず、国際連合が発信するさまざまな情報を見ることができます。日本の代表サイトは国際連合広報センターになっており、基本的な情報や日本に関連する事柄を日本語で読むことができます。

- 『United Nations Home Page』  
(<http://www.un.org/>)
- 『国際連合広報センター』  
(<http://www.unic.or.jp/>)

## 6.7.2 欧州連合 (European Union) の資料

### (1) 資料の検索と全文情報へのアクセス

資料を網羅的に検索したい場合は、『ECLAS』もしくは『EUR-LEX』を検索してください。また有料ですが、『CELEX』というウェブで検索できるサイトがあります。『CELEX』は各 EU 資料センターで検索できるので、本館で検索することができます。本館レファレンスデスクへ問い合わせてください。これらのデータベースで検索した資料の多くは、ウェブ上で無料で全文を入手することができます。

- 『EUR-LEX』 European Union

(<http://europa.eu.int/eur-lex/en/index.html>)

EU 官報や議会資料を含む、EU 法に関する資料を統合的に検索できます。全文情報へもリンクしています。

- 『ECLAS』 European Union

(<http://europa.eu.int/eclas/>)

EU 図書館の所蔵目録です。EU 刊行物だけではなくヨーロッパに関わる資料を広く収集し、その書誌情報を検索できるようにしています。また、インターネット上の情報も収集しており、検索結果からリンクしています。

EU 公式資料の全文情報へは、『EU Official Documents』のページからもわかりやすくアクセスできるようになっています。

- 『European Union Documents』 European Union

([http://europa.eu.int/documents/index\\_en.htm](http://europa.eu.int/documents/index_en.htm))

EU 公式資料へのアクセスの入口。EU 法・機関共通の資料・各機関別の文書と三つに分類され、それぞれ項目別に説明つきでリンクが提供されています。

## (2) 公式サイト

国際連合と同様、EUも本部と日本に公式のウェブサイトを持っており、EUに関する最新動向や日本国内での出来事などを日本語で入手することができます。

- 『europa』  
(<http://europa.eu.int/>)
- 『駐日欧州委員会代表部』  
(<http://jpn.cec.eu.int/>)

### 6.7.3 その他の国際機関

#### (1) 経済協力開発機構 (Organization for Economic Cooperation and Development) の資料

東北大学では、『SourceOECD』というデータベースを導入していますので、OECD (経済協力開発機構) の図書と定期刊行物の本文をオンラインで見ることができます。

- 『SourceOECD』 OECD  
(<http://www.sourceoecd.org/content/html/index.htm>) 学内限定  
OECDの刊行物(単行本・雑誌)を検索し、本文を見ることができます。

また、OECDで公開している資料には、次のウェブサイトでアクセスすることができます。

- 『Organization for Economic Cooperation and Development』  
(<http://www.oecd.org/>)  
OECDの公式サイト。「Publications & Documents」から公開文書にアクセスすることができます。一部有料です。
- 『OECD 東京センター』  
(<http://www.oecdtkyoo.org/>)  
日本の代表ウェブサイト。「公開文書」のリンクから、「Publications & Documents」サイトへアクセスできます。

## (2) 世界保健機関 (World Health Organization) の資料

WHO の刊行物を網羅的に検索する場合は、WHO 図書館のオンライン目録を使います。全文情報のあるものはリンクがあり、利用できるようになっています。

- 『WHOLIS』 WHO  
(<http://unicorn.who.ch/uhtbin/webcat/>)  
1948 年以降の WHO 刊行物と、1985 年以降の WHO の雑誌掲載記事、1986 年以降のテクニカルドキュメントなどの書誌情報を検索できます。

WHO の活動に関する決議や報告などの公式資料については、次のウェブサイトでも検索し、全文情報を見ることができます。

- 『WHO Policy System』 WHO  
(<http://www.who.int/ism/mis/WHO-policy/index.en.html>)  
「Search Infobases」から各公式資料へアクセスできます。

なお、WHO の公式および日本の代表ウェブサイトは次の通りです。

- 『World Health Organization』  
(<http://www.who.int/>)
- 『WHO 神戸センター (世界保健機関健康開発総合研究センター)』  
(<http://www.who.or.jp/indexj.html>)



## まめちしき 国際連合の寄託図書館と EU 資料センター

国際連合や EU は広報活動の一環として、協賛金を払って登録した学術機関に刊行物を寄託し（預けるとほぼ同じ意味。受取者との契約関係がある）情報提供の便宜を図っています。このような寄託図書館や資料センターは全世界に設置され、日本には国連寄託図書館が 14 館、EU 資料センターが 20 館あります。

寄託にも 2 種類あり、全ての資料が寄託される全寄託と、部分的に寄託される部分寄託があります。東北大学の場合は部分寄託で、総会や官報といった基本資料はそろっていますが、専門的な委員会資料などが部分的な寄託となっています。

また、公式資料の学術的な利用だけでなく、一般向けのリーフレットやパンフレットを配布していたり、就職情報が掲載されるニュースがあったりなど、気軽に国際活動の一端を知ることができるのも、寄託図書館の大きな魅力です。

本館 2 号館の 1 階で手にとったリーフレットが、あなたの世界を広げるかも知れません。



**演習問題**

- 6 - 1 東北大で授与された、2000 年度の法学博士の論文がいくつあるか調べ、それぞれの著者名・論題を書き出す。  
(『学術情報ポータル』の統合検索 (Advanced) を使う)

ヒント：検索語の種類を「学位論文：授与年度」「学位論文：学位名称」に指定。

- 6 - 2 東北大学の研究者が研究代表者の、環境問題に関する科研費研究成果報告書にはどのようなものがあるのか調べる。また、興味のある課題を一つ選んで実際に読んでみる。  
(『学術情報ポータル』の統合検索を使う。Advanced、Basic いずれでも可)

ヒント：「科研費報告書」を指定して検索。

- 6 - 3 日本都市計画学会の第 38 回学会の発表内容を調べる。  
(J-STAGE の『予稿集・要旨集データベース』と『学会発表データベース』を利用する)

ヒント：『学会発表データベース』では会議録が収録されている雑誌の名前を確認。第 38 回の会議録は『予稿集・要旨集データベース』で探してみる。

- 6 - 4 「ドクター中松」として発明で著名な「中松義郎」氏が特許を申請した最新の発明は何か。発明の名称・特許の番号・公開日・内容を調べる。  
(『特許電子図書館』の初心者向け検索を使う)

ヒント：特許の番号は公開番号。

- 6 - 5** 総合資源エネルギー調査会都市熱エネルギー部会の報告書を探す。  
(『電子政府の総合窓口』を使う)

ヒント：総合資源エネルギー調査会は資源エネルギー庁下の審議会組織。  
「情報の種類で探す」の「審議会等」へのリンクを使うか、または、資源エネルギー庁のホームページへアクセスして審議会情報を探す。

- 6 - 6** 2004年の国際年は何であるか。その概要説明をした公式文書をウェブより入手する。また、その文書はいつ発行され、編集責任者はどこなのかを調べる。  
(国際連合広報センターのウェブページを使う)

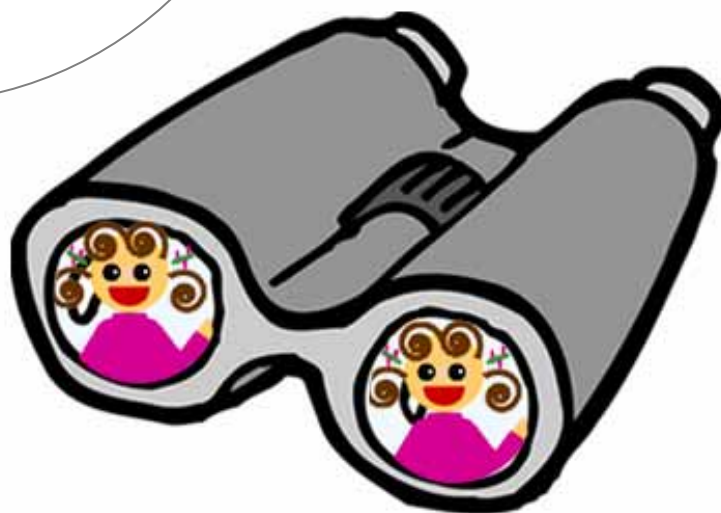
ヒント：国際年へのリンクをさがす。また、公式文書は英語で書かれている。

解答と解説は、付録7にあります。

# 第7章 事柄について調べるには

図書や雑誌論文、新聞記事などの文献のほかに、人名や地名、用語などの事柄を調べるときに有用なツールがあります。

事柄を調べるためには、どのようなツールがあり、どのように利用することができるでしょうか。

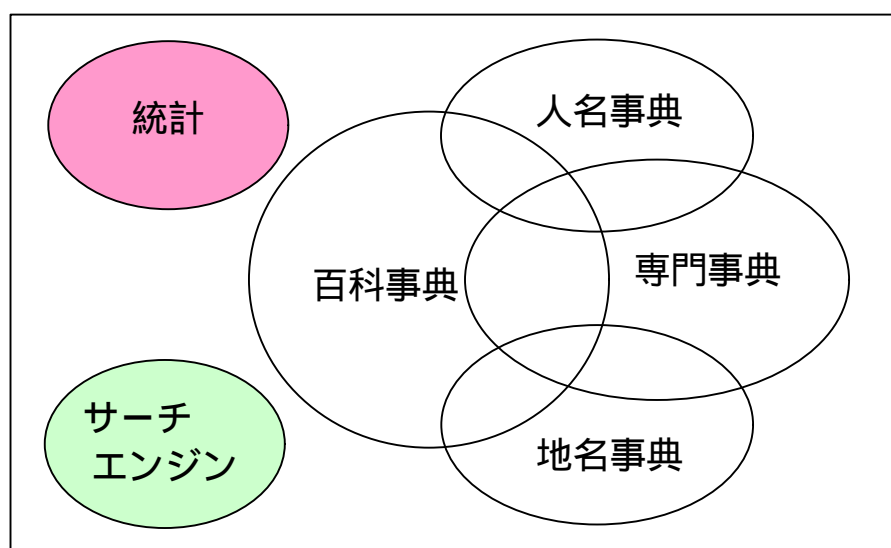




## 7.1 事柄について調べる

ここまでは、過去にどのような研究がなされてきたかを知るために、学術的な文献情報や所在を探す方法を説明してきました。この章では、人名や地名、名称、用語、事象などの「事柄」を調べる方法やツールについて、百科事典・人名事典・地名事典・専門事典・統計・サーチエンジンに分けて説明します。

この章で紹介するツールは、主に図書館の「参考図書コーナー」に配置されています。何かわからないことがあれば、これらのツールで調べる習慣をつけましょう。そうすることで知識や研究をより広げることができます。



図表 7-1 事柄を調べるためのツール



### まめちしき 参考図書とは

図書館での「参考図書」とは、学習参考書や参考文献のことではありません。参考図書は、最初から最後まで「読む」ものではなく、ある言葉や事柄を「調べる」ための図書です。参考図書には、書誌・目録などの文献を調べるための図書と、辞書・事典・便覧・ハンドブック・地図・統計・年鑑・図鑑などの、事柄を調べるための図書が含まれます。最近では図書だけでなく、CD-ROM やウェブサイトなど、調べるためのツールの形態は多様化しています。これらすべてを含めて、「レファレンスツール」とも呼ばれています。

## 7.2 百科事典

### 7.2.1 百科事典

「百科事典 (Encyclopedia)」は、何かの人名、名称、地名、事象などを調べたいとき、まず概要を知るために便利なツールです。各項目についてわかりやすくまとめられています。また、著者や参考文献が添えられている場合は、それを手がかりにさらに調査を進めることができます。

百科事典を使うときは、最初に「索引」を引くことを忘れないでください。自分が知りたい事柄が、ほかの見出しでも収録されていることがあるからです。それでも見つからない場合や内容が不足する場合は、人名事典、地名事典、専門事典も調べてください (7.3 ~ 7.5 参照)。

百科事典の中には、冊子体のほかにも CD-ROM やウェブで利用できるものがあります。それぞれの特徴を理解し、使いわけてください (2.2 参照)。

ここであげる百科事典のほかに、外国語のものなども多数所蔵していますので、図書館の参考図書コーナーで探してみてください。

#### ■ 『世界大百科事典』 平凡社

専門的な内容もわかりやすく解説されています。参考文献はありませんが、外国語については欧文索引があり、カタカナ表記がわからないときに便利です。この百科事典は以下の3種類のメディアで利用できます。

冊子体 (全35巻) 1988: 本館 RC [UR1/20] ・ 北分 [UR1/6] ・ 医分 [UR1/SE22S] ・ 1972: 農分 [031/S]

白黒の図版が主ですが、カラーページもあります。

CD-ROM (第2版プロフェッショナル版) 1998: 本館 RC

関連項目や著者にハイパーリンクがあります。図版は一部分のみ収録されています。

ウェブ 『ネットて百科@HOME』

(<http://ds.hbi.ne.jp/netencyhome/>) 有料

月刊百科・図鑑・ニュース映像・地図なども収録しています。料金は、コンビニエンスストアなどで電子マネーを先に買ってから使うプリペイド方式です。また、クレジットカードでも利用ができます。

- 『日本大百科全書』 小学館 (全25巻) 1994: 本館学閲 [UR1/042] ・ 北分 [UR1/1]  
カラー図版が多く、わかりやすい百科事典です。解説の最後に参考文献が添えられている項目もあります。欧文索引はありません。
- 『ブリタニカ国際大百科事典』 TBS ブリタニカ  
1995 (全20巻 + CD-ROM): 本館 RC [UR2/05] ・ 工分 [030/3]  
1994 (全27巻): 医分 [UR1/B92B] ・ 北分 [UR1/3]  
少ない項目数で体系的に解説されている「大項目事典」と、多くの項目数で簡潔に解説されている「小項目事典」の2本立ての百科事典です。

## 7.2.2 現代用語事典

百科事典には収録されていない、最新の用語を調べるときは、次にあげるような現代用語事典が役に立ちます。毎年刊行されるので、発行された年の流行なども概観できます。

過去の分も保存しているので、その時点の情報を調べることもできます。

- 『現代用語の基礎知識』 自由国民社  
2004: 本館学閲/RC ・ 医分 ・ 工分 ・ 北分
- 『知恵蔵』 朝日新聞社 2004: 本館学閲/RC
- 『情報・知識 imidas: イミダス』 集英社 2004: 本館学閲/RC ・ 北分

---

**例題** 「スピネット」という楽器があるそうだが、どのようなものか。

---

**回答例** まず、百科事典の索引をひきます。『世界大百科事典』や『ブリタニカ国際大百科事典』に「スピネット」の項目があり、ハーブシコードの一種であることがわかります。  
『ラールス世界音楽事典』などの専門事典も調べます(7.5参照)。

## 7.3 人名事典

「人名事典 (Biography)」には、分野や国によってさまざまな種類があります。その中から最適な資料を選ぶためには、次のようなポイントがあります。

- 地域：どこの国の人物か、日本人か外国人か
- 分野：どのような分野の人物か、専門的な事典が必要か
- 時代：いつの時代の人物か、現存者か物故者か

さらに注意すべき点としては、事典によって生没年などの記載が異なる場合があるので、複数のツールを調べるようにしてください。

ここでは、一般的な人名事典を紹介しますが、最近話題となった人物の場合は、人名事典にはまだ収録されていないことがあります。その場合は雑誌 (4章参照) や新聞 (5章参照)、サーチエンジン (7.7参照) などで調べてみてください。

### 7.3.1 日本人を調べる

- 『日本紳士録』 ぎょうせい 2003：本館 RC
- 『人事興信録』 人事興信所 1996：本館 RC  
日本人と在日外国人を収録した、隔年発行の人名録です。特に、出版当時に活躍していた政治家や実業界などの公的な人物を探すときに便利です。
- 『日本人名大事典』 復刻版 平凡社  
1979：本館 RC [GB12/015] ・ 農分 [281/030]  
旧漢字・旧仮名使いで記述され読みにくいかもしれませんが、1978年までに故人となった日本人を調べるときに便利です。肖像や典拠文献が付けられている場合もあります。
- 『著作権台帳』 日本著作権協議会 2000：本館 RC  
「文化人名録」の別称があり、没後 50 年以内の作家などの文化人を探すときに便利なツールです。著作だけでなく略歴や連絡先を知ることが可能です。現存者と物故者に分けた、分野ごとの編集になっています。

- 『人物データベース検索』(聞蔵で提供)朝日新聞社  
(<http://www.library.tohoku.ac.jp/dbsi/dna/>) 学内限定  
研究者、議員・官僚、上場企業の社長やマスコミ関係者など、朝日新聞社が作成する人物情報の検索が可能です。経歴や連絡先まで参照できます。

### 7.3.2 外国人を調べる

外国人を調べる場合は、ミドルネームや日本語でのカタカナ表記などに注意する必要があります。例えばカタカナ表記の場合、「ビクトリア」「ヴィクトリア」のようにツールによって表記方法が違います。どれか一つのツールで正確なつづりがわかると、さらに欧文索引が付いたツールや外国ツールを調べる際に役立ちます。

ここでは日本で出版された人名事典を紹介しますが、外国で活躍した人物はその国で発行された事典の方が詳しく解説している場合が多いので、それらを参照するようにしてください。

- 『岩波 = ケンブリッジ世界人名辞典』 岩波書店  
1997 : 本館 RC [GK2/053] ・ 工分 [280.3/2], 1998 : 工分 [CD-ROM]  
『The Cambridge biographical encyclopedia』の日本語版です。現代の欧米を中心に収録しています。氏名はカタカナで表記されており、欧文索引もあります。
- 『岩波西洋人名辞典』 増補版 岩波書店  
1981 : 本館 RC [GG12/01] ・ 医分 [GG12/1951]  
古代から現代の外国人(東洋人・架空人物も含む)が収録されています。特に、日本と関わりの深い人物を調べるときに便利です。主な著作や参考文献も含められています。氏名はカタカナで表記されており、欧文索引もあります。
- 『Who's who』 Adam & Charles Black 2004 : 本館 RC  
『Who's who』は現存者を収録しており、亡くなると『Who was who』に収録されます。このツールは英国人が中心ですが、ほかにも『Who's who in China』などの各国版や、『International who's who in music』などの専門分野ごとに出版されているものも多数あります。

### 7.3.3 専門的な人名事典

人名事典には、範囲を絞った専門的なものがあります。これらには、普通の人名事典には載っていない人物も収録されており、また載っていても、より詳しく解説されていることがあります。一例として、地域、分野、時代によるツールを紹介します。

- 『仙台人名大辞書』 歴史図書社 1974：本館 RC [GB12/04]  
元亀(1570)から昭和7年(1932)までの、仙台藩領内の人物事典です。
- 『科学者人名事典』 丸善 1997：本館学閲/RC [M12/09]  
古代から現代の、欧米人を中心とした科学者たちの小伝を収録しています。
- 『江戸幕臣人名事典』改訂新版 新人物往来社 1997：本館 RC [GB397/07]  
江戸時代の幕臣・大名・職人等を収録しています。

また、専門的な人名事典の一つに、大学などの研究者を調べるためのものもあり、研究分野や略歴がわかります。授業や研究室を選択する際の参考になるでしょう。

- 『東北大学研究者総覧』 東北大学 2000：本館 RC [F2/0130]  
東北大学に在籍する研究者の研究テーマや著作などがわかります。追録も発行されています。
- 『研究者・研究課題総覧』 紀伊國屋書店  
1996：本館 RC ・ 医分 ・ 北分 ・ 工分 ・ 農分  
大学などの研究機関に在籍する研究者を探るときに便利なツールです。研究テーマや学歴、主な著作などがわかります。退職者を調べる場合は、その人物が在籍していた頃の版を調べてください。

- 『ReaD 研究開発支援総合ディレクトリ』 科学技術振興機構  
 (http://read.jst.go.jp/)
 

研究者名だけでなく、研究機関や研究課題からも検索できます。毎年更新されるので、最新情報を知ることができます。
  
- 『東北大学研究者紹介』 東北大学  
 (http://www5.bureau.tohoku.ac.jp/)
 

名前、所属から検索できるだけでなく、キーワードやクラスター（研究内容分野別）検索もできるので、本学の最新の教官情報を効率よく検索することができます。



図表 7-2 東北大学研究者紹介



**まめちしき 事典・辞典・字典の違いとは？**

ツールによって、同じ「じてん」でも、「事典」「辞典」「字典」と漢字が違うことに気づいたでしょうか。ツールによってその通りに使われているとは限りませんが、おおむね次のような違いがあるとされています。

- 事典 = コト-テン      事柄の解説      (例：百科事典)
- 辞典 = コトバ-テン    ことばの解説    (例：国語辞典)
- 字典 = ジ-テン        字の解説        (例：漢字字典)

### 7.3.4 人名事典を調べる事典

調べたい人物が、どの人名事典に載せられているのかわからないときに便利なツールです。どの人名事典に載っているのかがわかったら、オンライン目録を検索して図書館にあるかどうか調べてください。ただし、海外のものや専門的なものなど、収録されていない事典も多数ありますので注意が必要です。

- 『人物レファレンス事典』全4巻 新訂増補版 日外アソシエーツ  
2000：本館 RC [GK2/018]

- 『外国人物レファレンス事典』全7巻 日外アソシエーツ  
2002：本館 RC [GK2/059]

日本で出版された人名事典に収録されている人物について、簡単な説明と典拠となる事典の情報を収めています。外国人は、アルファベット順（西洋人）と漢字の画数順（東洋人）にまとめられており、国籍や概略などの情報も含まれています。

---

**例題** 一般相対性理論を完成させたアインシュタイン博士の、生没年と主な業績が知りたい。

---

**回答例** 西洋人なので、『岩波=ケンブリッジ世界人名辞典』や『岩波西洋人名辞典』などを調べます。両者とも索引は欧文索引のみなので、直接カタカナのよみで引きます。ここで氏名の綴り（Einstein, Albert）と生没年（1879-1955）、略歴がわかります。  
科学者なので、『科学者人名事典』などの専門的な事典を調べると、さらに詳しい業績がわかります。  
著名な人物なので、百科事典や単行本の伝記なども調べます。



## 7.4 地名事典

「地名事典 ( Gazetteer )」も、国や地域に応じて数多くのツールがあります。ツールの選択には、次のようなポイントがあります。

- 地域：どの国のどの地域か、日本か外国か
- 内容：何が知りたいのか、地名・地図など
- 時代：現在か過去か

### 7.4.1 日本の地名事典

- 『日本歴史地名大系』全 50 巻 平凡社 ( 継続刊行中 ) 本館 RC [GB11/012]  
都道府県別の巻立てで、本文は市町村ごとの編集となっています。地域的なつながりやその地域の歴史を調べたいときに便利です。参考文献も含まれています。
- 『角川日本地名大辞典』全 51 巻 角川書店  
1990 : 本館学閲/RC [GB11/010] ・北分 [GB11/5] ・農分 [291.03/KA14]  
都道府県別の巻立てで、本文は地名の 50 音順になっています。古代から現在にかけてのその土地の歴史を調べたいときに便利な地名事典です。
- 『現代日本地名よみかた大辞典』全 7 巻 日外アソシエーツ  
1985 : 本館 RC [GB11/027]  
読み方がわからないときの参考になります。配列は漢字の画数順です。

### 7.4.2 外国の地名事典

外国地名を調べるときは、日本語のカタカナ表記に注意する必要があります。例えば、「ベネチア」「ヴェネチア」のようにツールによって異なる場合があるからです。まず一つのツールで英語表記の正確なつづりを調べておくと、ほかのツールを調べるときに役立ちます。

- 『世界地名辞典』全2巻 新版 東京堂出版  
1980：本館 RC [G64/05] ・ 医分 [290.3/SE22] ・ 農分 [290.3/SE22]  
西洋編と東洋編があり、欧文索引と漢字の画数索引があります。
- 『世界地名大事典』全8巻 朝倉書店  
1973-1974：本館 RC [G64/01] ・ 医分 [G64/SE22S]  
カタカナ表記の50音順ですが、欧文索引があります。

### 7.4.3 地図

場所や地形を知りたいときに役に立つのが「地図 (Atlas)」です。以下に紹介するような日本地図・世界地図のほかに、道路地図・住宅地図・歴史地図などもあります。

- 『新日本分県地図』 国際地学協会  
2001：工分 [291.038/1], 1999：本館 RC [G66/02], 1997：北分 [G66/3]
- 『マピオン』 CyberMap Japan Corp.  
(<http://www.mapion.co.jp/>)  
地名検索だけでなく、ランドマークからも検索を行うことができます。
- 『マップファン ウェブ』 Increment P Corp.  
(<http://www.mapfan.com/>)  
ルート検索機能などがついています。
- 『ブリタニカ国際地図』 TBS ブリタニカ  
1996：本館 RC [G71/01] ・ 工分 [290.38/4],

### 7.4.4 その他のツール

ほかにも、目的によって次のようなジャンルのツールがあります。

- 地誌 : 『宮城県誌』、『仙台市史』など自治体で発行したもの
- ガイド : 『地球の歩き方』、『るるぶ』、『マップル』などの旅行ガイド
- 百科事典 : 『宮城県百科事典』など、都道府県ごとの百科事典
- データ : 『理科年表』、『河北年鑑』などの地理情報を記載しているもの

## 7.5 専門事典

### 7.5.1 専門事典

「専門事典 (Cyclopedia)」は、各分野ごとに用語や内容を編集した事典です。百科事典には載っていないような専門用語は、専門事典で調べてください。また、項目の最後に参考文献があれば、その文献も参考にするとより深く広く知識を得ることができます。各事典の凡例に収録基準などが書かれているので、調べる前に読むようにしてください。

専門事典は各分野ごとに数多く発行されているので、ここですべてをあげることはできません。ほかにどんな事典があるのか、図書館のオンライン目録で、「辞典」「事典」「大事典」「大辞典」「体系」「大系」「便覧」「ハンドブック」などの言葉を入れて検索してみてください(3章参照)。

#### (1) 人文・社会科学系

- 『日本国語大辞典』全13巻 第2版 小学館  
2002：本館 RC [KF3/01]・医分 [KF3/N77N]
- 『大漢和辞典』全13巻 修正第2版 大修館書店  
1990：本館 RC [KF4/01]・医分 [KF4/D21D]
- 『国史大辞典』全15巻 吉川弘文館 1997：本館 RC [GB8/034]
- 『岩波哲学・思想事典』平凡社 1998：本館学閲 [H2/062]・医分 [H2/1951]
- 『The Oxford English dictionary』全20巻 第2版 Clarendon Press  
1989：本館 RC [KS12/35]・工分 [833/4]  
1995：本館 RC CD-ROM [KS12/272]
- 『ラレーズ世界音楽事典』全2巻 福武書店 1989：本館 RC [KD2/048]
- 『新教育学大事典』全8巻 第一法規出版 1991：本館 RC [F2/0101]
- 『新法学辞典』 日本評論社 1991：本館学閲/RC [A112/0158]
- 『経済学大辞典』全3巻 第2版 東洋経済新報社  
1980：本館学閲/RC [D2/0164]・農分 [330.3/KE29K]

## (2) 自然科学系

- 『マグローヒル科学技術用語大辞典』 第3版 日刊工業新聞社  
2000 改訂版：工分 [403/8/2000] ・ 農分 [403/M],  
1996 : 本館学閲 [M2/051] ・ 医分 [M2/MA29M] ・ 北分 [M2/38]  
1998 CD-ROM : 工分 [403/8/1998]
- 『岩波数学辞典』 岩波書店  
1985 : 本館学閲 [MA2/02] ・ 北分 [MA2/2] ・ 工分 [410.3/2]
- 『岩波理化学辞典』 第5版 岩波書店  
1998 : 本館学閲 [M2/07] ・ 医分 [PA2/195I] ・ 北分 [M2] ・  
工分 [403.3/1] ・ 農分 [403.3/195]  
1999 CD-ROM : 工分 [403.3/1/CD-5ED]
- 『理科年表』 丸善 2003 : 本館学閲/RC ・ 医分 ・ 北分 ・ 工分 ・ 農分
- 『メルクマニュアル』 第17版 日経BP社 1999 : 医分 [WB100/ME69M]  
ウェブ版 万有製薬 (<http://www.banyu.co.jp/merck>)
- 『農業技術大系』 全6編 農山漁村文化協会 1997 : 農分 [610.8/N93N]

### 7.5.2 専門事典を探すためのツール

事典などの参考図書を、分野ごとに紹介しているツールがあります。参考にしたいツールが見つかったら、図書館のオンライン目録で探して利用してください。

- 『日本の参考図書』 日本図書館協会 2002 : 本館 RC [UP42/05]
- 『参考図書紹介』 国立国会図書館  
(<http://refsys.ndl.go.jp/biblio.nsf/biblioPublicFrame>)
- 『年刊参考図書解説目録』 日外アソシエーツ 2000 : 本館 RC [UP41/025]

## 7.6 統計

レポートや論文をまとめるとき、「統計 ( Statistics )」の数値を論拠として活用することができます。統計は多くの機関からさまざまな種類のものが発行されています。

### 7.6.1 日本の統計

統計データには、ウェブで公開されているものもあります。特に、多くの省庁では、統計専用のウェブサイトを設置しているため、探している統計に関する省庁に直接あたってみてください ( 6.6.1 参照 )。

- 『官公庁リンク集』 首相官邸  
([http://www.kantei.go.jp/jp/link/server\\_j.html](http://www.kantei.go.jp/jp/link/server_j.html))

省庁ウェブサイトの例として、統計を専門に扱っている総務省統計局を紹介します。

- 『総務省統計局・統計センター』  
(<http://www.stat.go.jp/>)  
5年ごとに人口を調査する『国勢調査』や、総合的な内容の『日本統計年鑑』『日本の統計』『世界の統計』などのデータそのものをエクセル形式のファイルで見ることができます。

どの統計を見たらいいのかわからないときや、世の中にどのような統計があるのか知りたい場合は、統計索引が役に立ちます。

- 『統計情報インデックス』 総務省統計局 2003 : 本館 RC ほか  
政府や民間機関で作成した統計資料を探することができます。索引を通覧することで、目的にあった統計や、関連する言葉を見つけることもできます。
- 『統計データ・ポータルサイト』 総務省統計局  
(<http://portal.stat.go.jp/>)  
各府省等が公開している統計データを俯瞰できます。キーワードや分野別による検索が可能です。



図表 7-3 統計データ・ポータルサイト

## 7.6.2 外国の統計

- 『世界統計年鑑 1999』 原書房 2003：本館 2 号館国連資料・医分 ほか  
国際連合発行の統計書『Statistical Yearbook』の日本語版です。各国の状況を比較するのに便利です。
- 『World almanac and book of facts』 Newspaper Enterprise Association  
2004：本館 RC  
あらゆる分野の世界の統計情報を要約している年鑑です。  
また国際機関の統計については、6.7 章を参照してください。

## 7.7 サーチエンジン

これまでに様々な事典類や関係するウェブサイトを紹介しました。

とはいえ、皆さんが何か事柄を調べる時、まず念頭に浮かぶのはサーチエンジンなのではないでしょうか。確かにサーチエンジンは、今まで挙げたツールでは調べきれない最新情報を探索する場合や、あるいはその事柄について何も知識がない場合は、有効な場合もあります。

しかしサーチエンジンで検索されるウェブサイトの中には、第三者のチェックを受けていない、信憑性のないものもあることを注意してください。正確さや、信用できる典拠が必要な場合、複数の事典やウェブサイトも参照し、正確で信用性の高い情報を得るように心掛けましょう。

ここでは代表的なサーチエンジンを紹介します。用途に応じて使い分けてください。

### (1) ディレクトリ型サーチエンジン

ディレクトリ型サーチエンジンは、一定の基準に添ってウェブサイトを収集し、分野ごとに階層的に分けて提供しているものです。このタイプの利点は、同じ分野のウェブサイトを概観できることや、いらぬウェブサイトを排除しやすい点ですが、反対に検索漏れも起こり得ます。始めから目指すウェブサイトや分野が決まっている場合は、このタイプのサーチエンジンが便利です。

- 『Yahoo! JAPAN』(ヤフー ジャパン)

(<http://www.yahoo.co.jp/>)

『Yahoo! JAPAN』は、管理者や利用者から推薦されたウェブサイトを専門のスタッフが評価・分類して作成しているので、ある程度信頼のあるウェブサイトを見つけることができます。また、ニュースや天気情報など独自のウェブページも充実し、各国版があります。

### (2) ロボット型サーチエンジン

ロボット型サーチエンジンは、インターネット上に無数にあるウェブサイトを、検索ロボットと呼ばれるプログラムを使って定期的に自動収集する仕組みのものです。そのため、ディレクトリ型には登録されていないウェブサイトや、ウェブサイト中の本文から適合する言葉を探し出すことができます。

しかし一方で、 unnecessary ウェブサイトが多数検索されてしまうという面もあります。このタイプのサーチエンジンは、思いついた言葉から、関係するウェブサイトを探すときに便利です。

■ 『Google』(グーグル)

(<http://www.google.co.jp/>)

『Google』の特徴は、検索した言葉に対して関連度が高いと思われるページから順に表示することや、検索結果一覧画面でその言葉の使われ方がある程度わかること、イメージ画像を検索できることなどです。



図表 7-4 Yahoo! JAPAN と Google



### まめちしき Google 活用小ネタ集

2章で説明した論理演算は『Google』でも活用可能です。「AND 検索」をしたいときは検索語間をスペースで区切り、「OR 検索」をしたいときは検索語間に大文字で「OR」と入力します。また、「NOT 検索」をしたい時は「-」を付けた単語を入力し、検索時に自動で除かれてしまうような頻繁に使われる単語を検索結果に付け加えたいときは、「+」を付けた単語を入力します。

さらに、複数の単語からできている固有名称やことわざなどの複合語を検索したいときは、「"」(ダブルクォーテーション)で単語を囲むことにより「フレーズ検索」をすることができます。「検索オプション」ページでは、画面の指示にしたがいそれらを使うことができます。





## **まめちしき** 事柄を調べるためのその他のツール

第7章では、事柄を調べるためのツールとして、事典を中心にツールの紹介をしました。しかしこれが全てではありません。ほかにどのようなものがあるのか、簡単に紹介します。

### ■ 便覧・ハンドブック

事典とよく似ていますが、名前のおり手にとって使いやすいよう情報がまとめられたツールです。内容はさまざまですが、実用的な内容のものが多く見られます。「便覧」には、「びんらん」「べんらん」の2種類の読み方があります。

例)『液晶便覧』、『JIS ハンドブック』

### ■ 年鑑

1年間の概況や動向などをまとめた、年に1回発行される資料です。内容は、新聞社が発行する時事的なものや、専門分野のもの、統計・現代用語などさまざまです。『日本年鑑総覧』(日本図書センター発行 本館 RC 所蔵)を使うと、日本にどのような年鑑があるのかを調べることができます。

例)『朝日年鑑』、『英語年鑑』、『日本統計年鑑』、『知恵蔵』

### ■ 図鑑

特定分野の写真や図版を集めたツールです。文章ではわかりにくい内容でも、図で説明されるとよく分かる場合があります。

例)『原色日本植物図鑑』、『江戸の暮らし図鑑』

**演習問題**

7-1 仙台市青葉区の「米ヶ袋」という地名の由来は何か。

ヒント：地名辞典や地誌で調べる。

7-2 「登呂遺跡」はいつ発見されたのか。

ヒント：歴史事典を調べる。

7-3 日本の小学校の数を調べたい。

ヒント：『総務省統計局・統計センター』のウェブサイトで調べる。

解答と解説は、付録7にあります。

## 休憩コーナー



### 仙台みやげといえは？（３）

片平キャンパスの近くにある「足軽まんじゅう」は、手に入るお店の数が限られているため、知名度は前に紹介したお菓子たちに及びませんが、地元ではその味の良さゆえに良く知られています。ときどき店頭に並ぶ足軽まんじゅうの揚げまんじゅうは絶品です。見つけたら即買いですね。

あと最近気づいたのですが、ちょっと見かけが地味ゆえにあまり振り向くことのなかった「仙台駄菓子」というのが、びっくりするほど「とまらない」おいしさなのです。たくさんの種類の駄菓子を少しずつ詰めて売っているのですが、「これはどんな味かな？」と次々手がでてしまいます。まだの方はぜひお試しください。年配の方にも、うけがいいと思います。

最後は「牛タン」ですね。真空パックされたものもたくさん売っているのでおみやげには便利ですが、お店で出される牛タンとはまた別のもの、という気がします。家族や友人が来仙した際に、お店で味わってもらいたいもののナンバーワンだと思います。

さて、次の帰省には何をおみやげにしましょうか？

# 付録

付録



## 付録1 レポート・論文の書き方の参考文献

論文・レポートの書き方について、さらに詳しい文献を紹介します。論文・レポートを書くために必要な知識と技術を習得するためには、まずどれか一つ読み通してください。レポート・論文の書き方が、必ず向上するはずですよ。

### (1) 文章作法や文章表現がわかる入門書

『**大学生のためのレポート・論文術**』 小笠原喜康 講談社現代新書 1603  
2002 : 本館学閲 [US1/0199]

今すぐレポート・論文を書く必要がある人に、お薦めの本。レポート・論文の書式設定から説明しているので、すぐに書き始めることができる。その後に思考の方法もあり、後半には卒業論文の執筆の流れなどにも言及していて、かなり実用的である。新入生でも読みやすい文章と、読みやすいレイアウトである。

『**理科系の作文技術**』 木下是雄 中公新書 624 1981 中央公論社 : 本館書庫  
[M112/010]

理科系の「仕事の文書」である論文の書き方の概説書で、ロングセラー。「仕事の文書」は、情緒的表現よりも事実と意見が確実に読み手に伝わることを重視するという考え方に基づいて、主に論文に必要な文章の構成や表現方法を、事例を出しながらわかりやすく解説している。文科系や一般の人にとっても参考になる。

『**レポート・論文の書き方入門 第3版**』 河野哲也 2002 慶應義塾大学出版会 : 本館学閲 [UC813/049]

本書は、特に文科系の大学生向けにレポートや論文の構成の仕方を、ハウツー的にまとめている。文献が研究の素材となる文科系の学生にとって、「テキスト批評」という有効な準備方法について紹介している。引用や注、参考文献の作成方法まで、具体例を多くのせて実用的であることも特色といえる。

『**「分かりやすい表現」の技術**』 藤沢晃治 講談社ブルーバックス B-1245  
1999 : 本館学閲 [US1/0198]

自分の説明はわかりにくいといわれる人にお薦めの本。いろいろな例を挙げながら、なぜその表現がわかりにくいのか、またどのように改善すればよいのかを具体的に説明している。最後にはチェックリストもついているので、書き上げた文章を客観

的にチェックすることもできる。

## (2) 情報収集の方法もわかる入門書

『レポートの作り方：情報収集からプレゼンテーションまで』 江下雅之  
中公新書 1718 2003：本館学閲 [US1/0197]

文章の書き方や論文の構成だけではなく、「中身」の作り方を含めて調査研究の全体について書かれている。テーマ設定・構想から、資料収集・整理、調査（アンケート調査・インタビュー調査）、レポート作成（図表・本文）、発表までの各段階ごとに説明している。個々の作業の説明は多くないが、よく整理されている。レポート・論文作成の全体像を見ることのできる本である。

『インターネット完全活用編 大学生のためのレポート・論文術』 小笠原喜康  
講談社現代新書 1677 2003：本館学閲 [US1/0199]

前掲『大学生のためのレポート・論文術』の続編。「インターネット上の情報のみでレポート・論文を書くことができるのか」がテーマの意欲作。サイトの紹介はオーソドックスでありながら多岐にわたっているため、インターネット上のみとはいえ情報量は多い。

## (3) 学術論文の執筆方法がわかる参考図書

『学術論文の技法』第二版 斉藤孝 日本エディタースクール出版部 1998  
：本館学閲 [UC813/07]

人文科学、社会科学系の学生で、これから論文を書き始めようとしている人、あるいは論文を書く必要にせまられていても、どこから手をつけたらいいのかわからずに悩んでいる人にお薦めの本。本書では論文執筆のためのルールとテクニックが丁寧に述べられており、順を追って読み進んでいくうちに頭の中が整理できる。

『これから論文を書く若者のために』 酒井聡樹 2002：本館学閲  
[UC813/043]・北分 [M112/27]・農分 [816.5/1]

これから学術雑誌に論文を投稿するという人にお薦めの本。学術雑誌に論文を載せるためにはどのようにすればいいかを、多くの例を挙げて説明している。例も、実際の雑誌論文であったり、サッカーの例であったり、若者にわかりやすくする工夫にあふれている。著者は東北大学教員である。

## 付録2 分類体系表

図書館の本は以下のような分類でわけて、書棚に並べてあります。以下に示すものは、それぞれの大分類であり、実際にはさらに細分化された分類がつけられています。

### 国立国会図書館図書分類 (NDLC) [本館・北青葉山分館]

A 政治・法律・行政	G 歴史・地理
B 議会資料	H 哲学・宗教
C 法令資料	K 芸術・言語・文学
D 経済・産業	M-S 科学技術
E 社会・労働	U 学術一般・ジャーナリズム・図書館・書誌
F 教育	

### 日本十進分類 (NDC) [工学分館・農学分館]

000 総記	500 技術
100 哲学	600 産業
200 歴史	700 芸術
300 社会科学	800 言語
400 自然科学	900 文学

### 米国国立医学図書館分類法 (NLMC) [医学分館(医学分野のみ)]

QS 人体解剖学	QW 微生物学および免疫学
QT 生理学	QX 寄生虫学
QU 生化学	QY 臨床病理学
QV 薬理学	QZ 病理学

W	医業	WN	放射線医学・画像診断
WA	公衆衛生	WO	外科学
WB	臨床医学	WP	婦人科学
WC	感染症	WQ	産科学
WE	筋・骨格系	WR	皮膚科学
WF	呼吸器系	WS	小児科学
WG	心(臓)血管系	WT	老年医学・慢性疾患
WH	血液およびリンパ系	WU	歯科学・口腔外科(学)
WI	消化器系	WV	耳鼻咽喉科学
WJ	泌尿生殖器系	WW	眼科学
WK	内分泌系	WX	病院その他の保健医療施設
WL	神経系	WY	看護学
WM	精神医学	WZ	医学史

このように、資料の内容にしたがった分類をつけて配列することで、書棚の前で同じ主題の本をブラウジング（通覧）することができます。

しかし、同じ分類体系表を利用していても、図書館の資料構成などの違いにより、異なる観点からの分類がつけられる場合があります。

例) 新しい気象学入門：明日の天気を知るために  
飯田睦治郎 講談社（ブルーバックス；B-446）

本館学閲 US1/0198 （US-一般叢書）  
北分 ME111/61 （ME-地球科学）

この例では、本館の図書は「ブルーバックス」というシリーズ全体を単位として分類しているため、「一般叢書」にわけられています。こうすることで、このシリーズは同一の書棚にまとめて置かれることとなります。

これに対し、北青葉山分館では「新しい気象学入門」という個別のタイトルを単位として、「地球科学」という分類にしています。

このような違いを知りながら書棚の前に立ってみると、新たな発見に出会えるかもしれません。



## 付録3 略語表

文献を探したり読んだりしていくうちに、タイトルや本文に略語がよく使われていることに気づくでしょう。また『Online Catalog』などの目録にも、略語が使われています。ここではツールを使いこなすための、基本的な略語を紹介します。

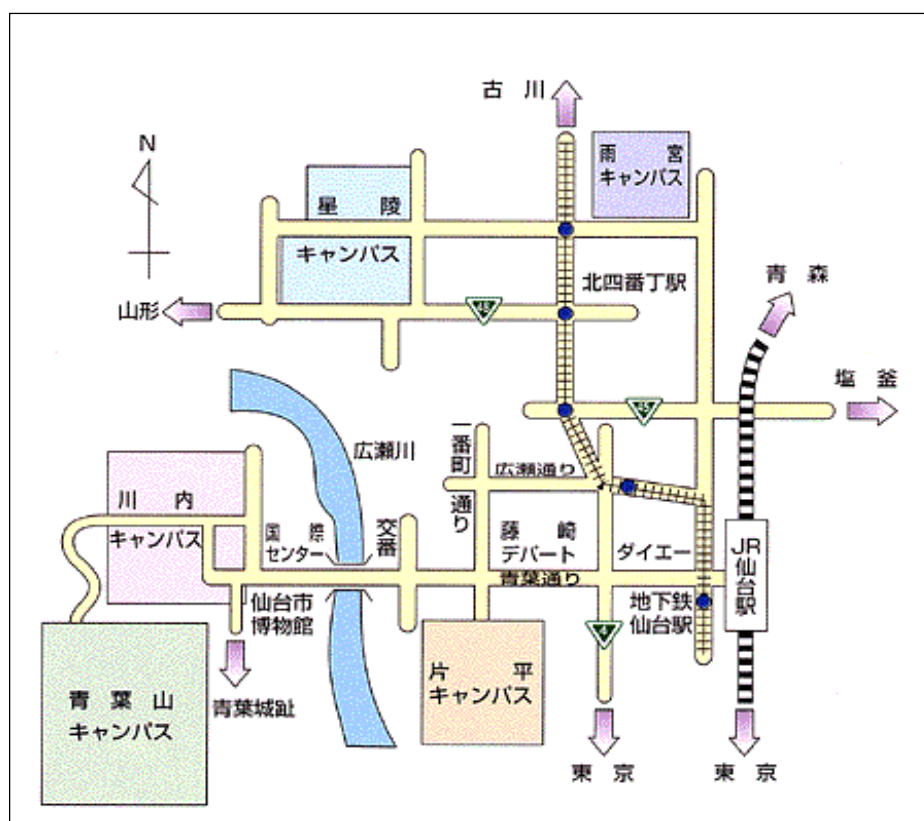
略語	完全形	意味
Ann.	Annales	紀要、報告書、記録
Annu.	annual	年鑑
Bull.	bulletin	紀要、定期報告
c.	copyright	著作権
cf.	confer (=compare)	比較、参照、参照せよ
ch. chap.	chapter	章
conf.	conference	会議
cong.	Congress	議会、会議
corr.	correction	校正、訂正版
Diss.	dissertation	学位論文
ed. eds.	edited by edition editor	～編 版 編集者
e.g.	exempli gratia (=for example)	例
et al.	et alia (=and others) et alibi (=and elsewhere)	その他に～ その他の場合に～
etc.	et cetera (=and so on)	その他、～など
ex.	example	例
fasc.	fascicle	分冊
fig. figs.	figure	図、図例、図解
hb. hbk.	hardback	ハードカバー本（本装丁）
ill. illus.	illustrated / illustration	挿絵、実例、図解、図入り

ISBN	International Standard Book Number	国際標準図書番号
ISSN	International Standard Serial Number	国際標準逐次刊行物番号
J.	journal	雑誌
l. ll.	line	行
n. no.	number	第～号
n.s. NS	New series / new style	新シリーズ、新スタイル
p. pp.	page	ページ
par. pars.	paragraph	節、頁、段落、パラグラフ
pb. pbk.	paperback	ペーパーバック本（紙表紙本）
proc.	proceedings	議事録、会報
pt. pts.	part	部、部分、部編
pub.	published by publication publisher	（～によって）出版された 出版 出版社、発行者
rev.	review revised	評論、評論誌 改訂版
ser.	series	シリーズ、双書、～集
supp. suppl.	supplement	付録、増刊、補遺
symp.	symposium	シンポジウム、討論会
trans.	transaction	会報、紀要
v. vol. vols.	volume	第～巻
Z.	Zeitschrift	雑誌

## 付録4 キャンパスマップ

東北大学は、下記の五つのキャンパスから構成されています。なお、下のキャンパスマップには記載されていませんが、青葉山キャンパスは北と南の地区に分かれています。

キャンパス名	キャンパス内の図書館	連絡先電話番号
川内キャンパス	附属図書館本館	022-217-5943
星陵キャンパス	医学分館	022-717-7978
北青葉山キャンパス	北青葉山分館	022-217-6372
南青葉山キャンパス	工学分館	022-217-5894
雨宮キャンパス	農学分館	022-717-8629



上記の図書館以外に、片平キャンパス内の各研究所や各キャンパスの学部・研究科などにも図書室が設置されています。詳しくは各図書館にお問い合わせいただくか、図書館ホームページの『利用案内』を参照してください。

(<http://www.library.tohoku.ac.jp/guide/>)

**付録5 フロアマップ**

(1) 本館

2号館

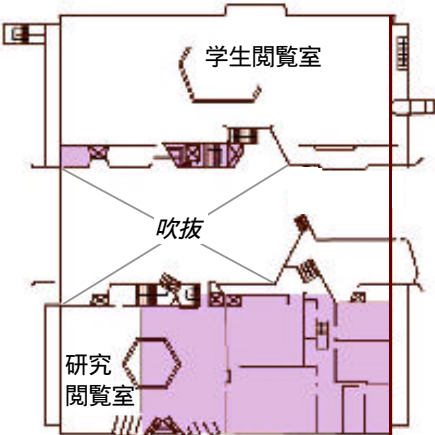
1号館

4 F

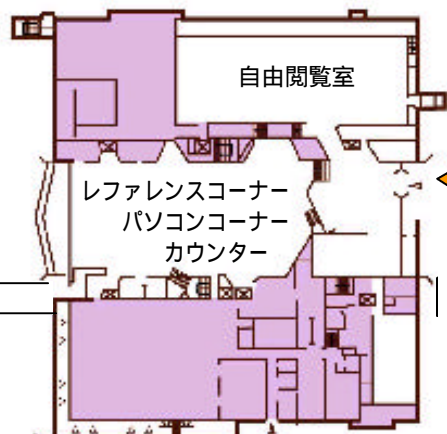
3 F

2 F

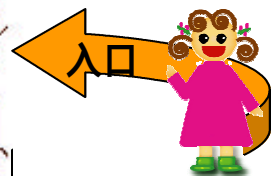
1 F



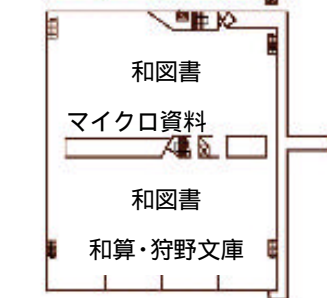
2 F



1 F



B 1

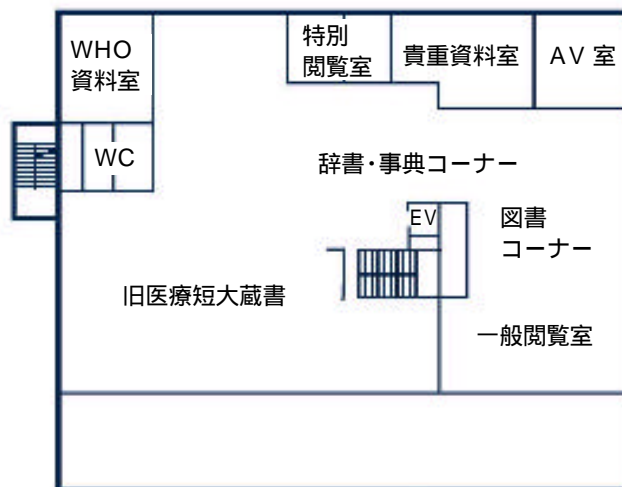


B 2

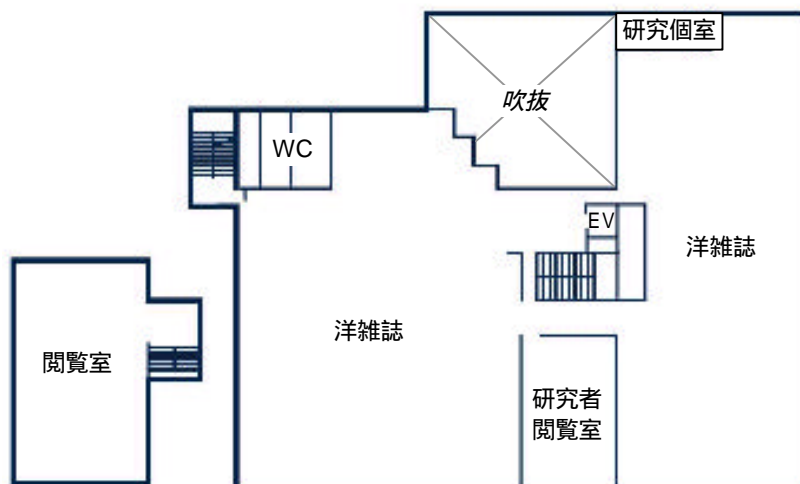


実際の縮尺と異なります

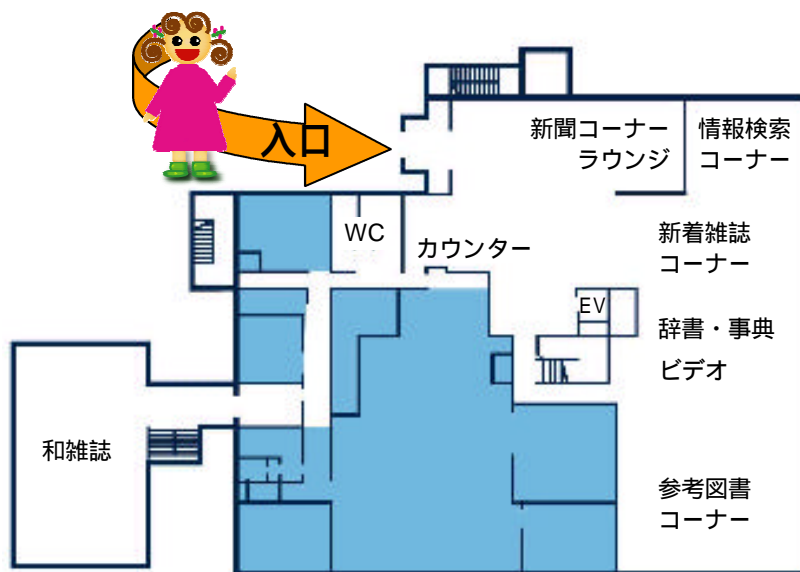
## (2) 医学分館



3 F



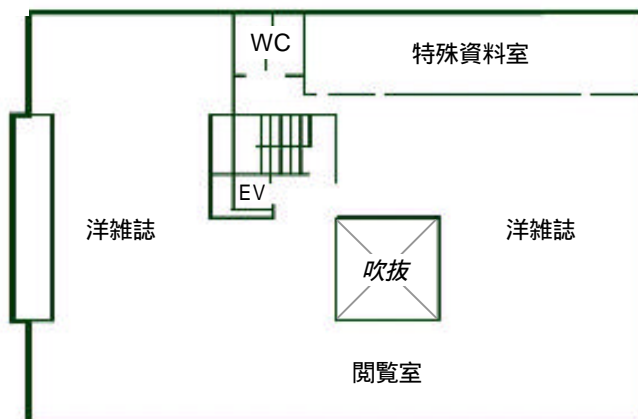
2 F



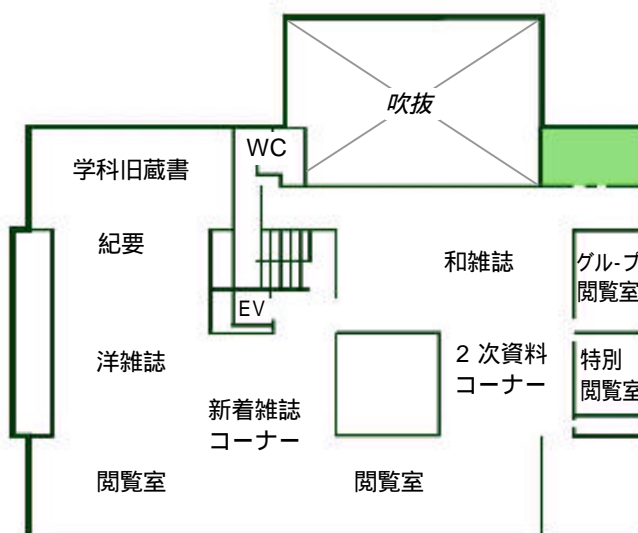
1 F



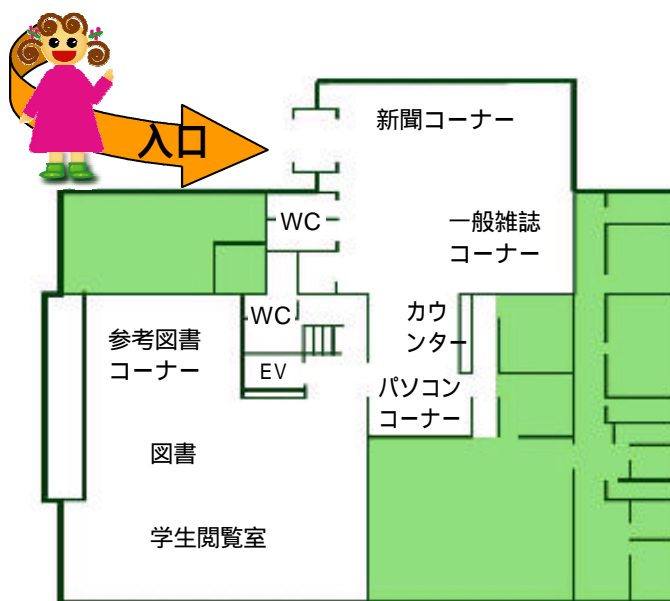
(3) 北青葉山分館



3 F



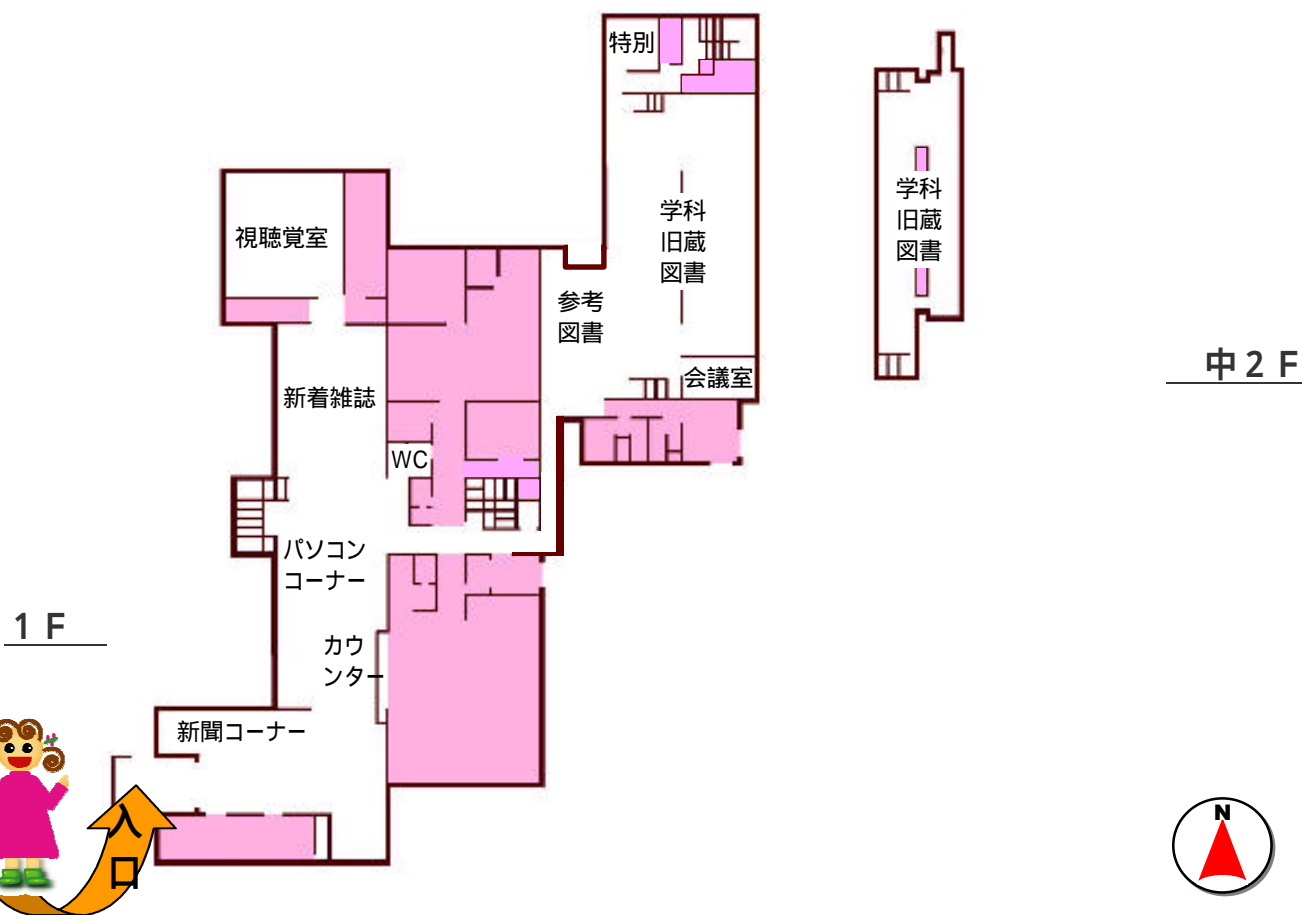
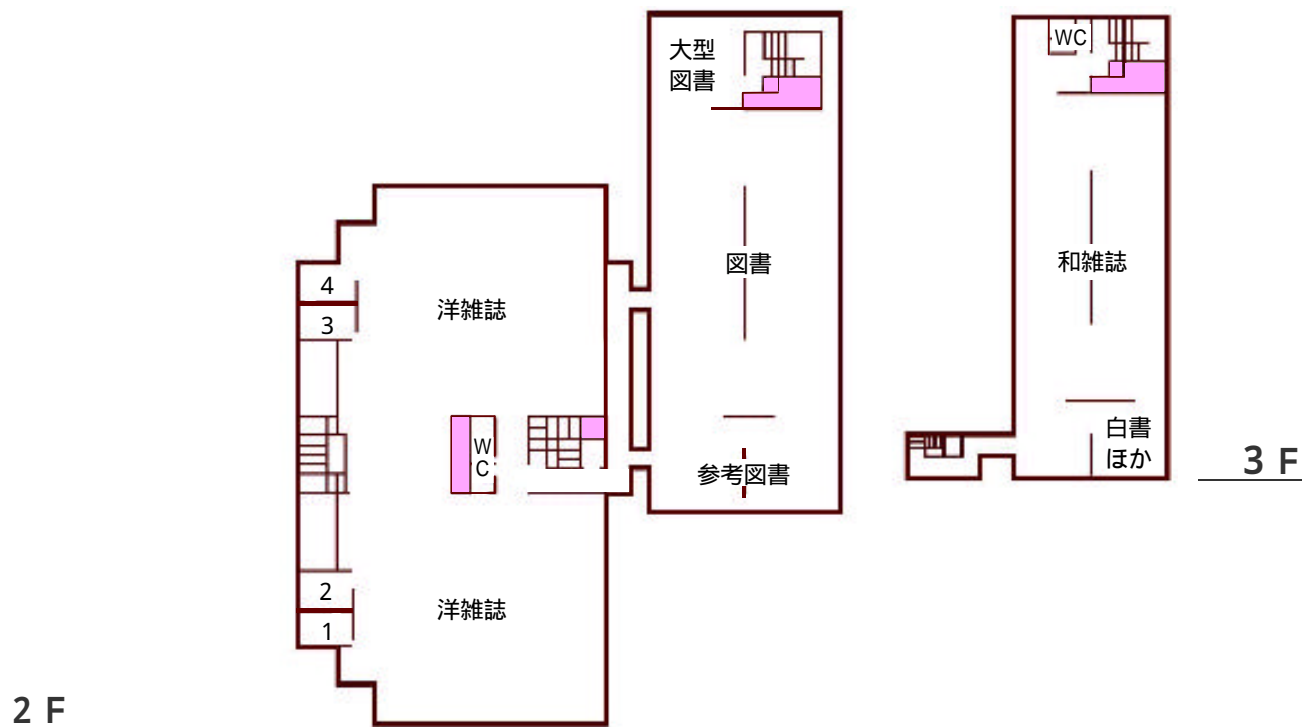
2 F



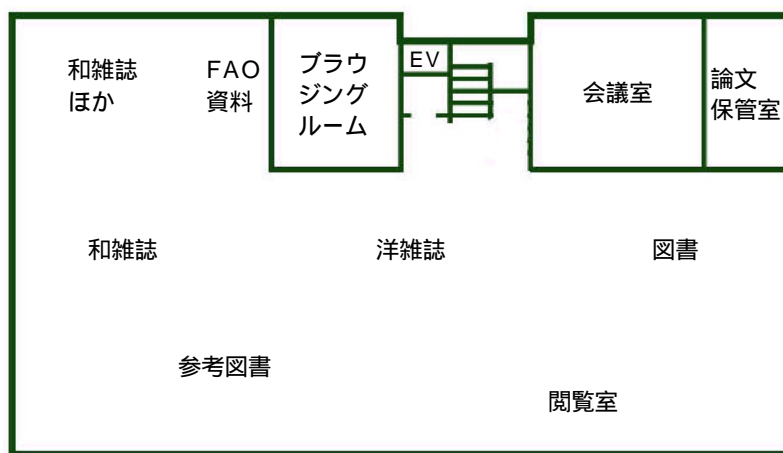
1 F



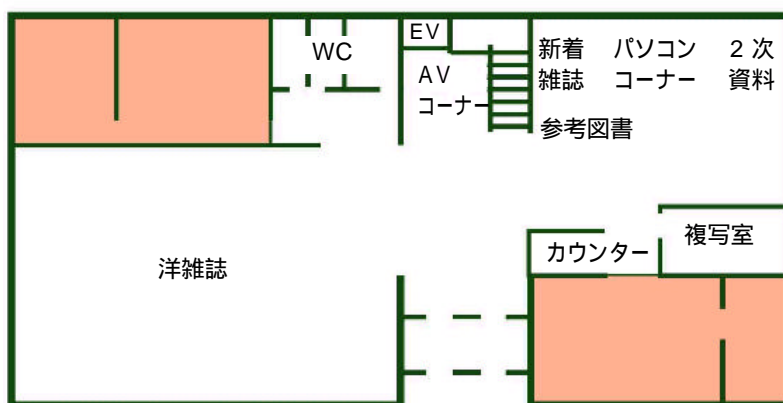
(4) 工学分館



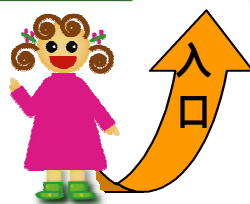
(5) 農学分館



2 F



1 F





## 付録6 利用案内

ここでは各館の利用方法の概要を紹介します。各館では利用案内パンフレットを発行しカウンター付近に取り揃えています。詳細についてはそのパンフレットを参照するか、または各館ホームページをご覧ください。

### (1) 開館時間

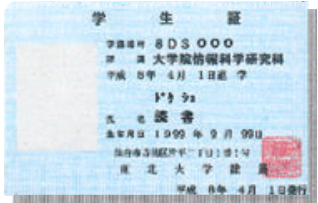
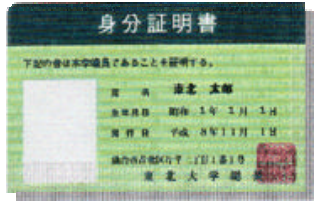
館名	月～金	土・日・祝日	備考
本館	9:00 – 21:00 (17:00)	10:00 – 17:00	フロアにより利用時間が異なります。
本館 2号館	9:00 – 17:00	-	
医学分館	9:00 – 20:00 (17:00)	-	利用資格に応じて24時間入退館サービスが利用できます。
北青葉山分館	9:00 – 20:00 (17:00)	-	
工学分館	9:00 – 20:00 (17:00)	-	
農学分館	9:00 – 20:00 (17:00)	-	

( ) 内時間は、長期休業期間中の閉館時間です。

休館日などの詳細は各館ホームページ等を参照ください。

### (2) 利用証

入館時や図書の借用時など、各館を利用する際は次のカードが必要となります。

学部学生・大学院生	教職員	その他
 <p>学生証</p>	 <p>身分証明書</p>	 <p>附属図書館利用証</p>

学生証・身分証明書の発行担当は各所属部局となります。学生証は所属部局の教務窓口、身分証明書は所属部局の庶務係にお問い合わせください。

特別聴講学生・科目等履修生・研修生・研究（修）員・非常勤講師・名誉教授などの方へは、図書館で利用証を発行します。次の窓口館で発行申請をしてください。

### (3) 各種申し込み窓口館

各種申し込みをする図書館は、所属部局により以下のとおり分けられています。附属図書館利用証の申請のほか、相互利用サービスなどの各種申し込みも下記の図書館が窓口となります。

所属部局	窓口館
文学部、教育学部、教育情報学教育部、法学部、経済学部、国際文化研究科、各センター	本館
医学部、歯学部、加齢医学研究所	医学分館
理学部、薬学部	北青葉山分館
工学部、情報科学研究科、環境科学研究科	工学分館
農学部	農学分館
生命科学研究科（片平）	生命科学図書室
各研究所	各研究所図書室

各センター・生命科学研究科・研究所等の方で、上記図書館があるキャンパスとは別のキャンパスに在籍している方は、窓口館が異なる場合があります。詳しくはお近くの図書館（室）カウンターにご相談ください。

## 付録7 演習問題の解答・解説

注) 解答例における検索結果のヒット件数や所在は、変わることがあります。

### 第3章 図書・雑誌の探し方

- 3-1** 「地球環境問題と企業」というタイトルの本を探す。東北大学内の所在と請求記号を調べる。  
(『Online Catalog』を使う)

**解答** 『Online Catalog』の簡易検索、または詳細検索で、タイトルを全て入力して検索する。または、「地球」「環境」「問題」「企業」などと、単語で入力して検索をおこなう。1件ヒットする。

『地球環境問題と企業』 山口光恒著 東京 岩波書店 2000  
本館学閲 [ EG281/0354 ] ほか

- 3-2** タイトルが「エピタ」で始まり、「フロンティア」という単語が含まれている本を探す。東北大学内の所在と請求記号を調べる。  
(『Online Catalog』を使う)

**解答** 『Online Catalog』の簡易検索、または詳細検索で、「エピタ」で始まる、ということなのでトランケーション記号をつけて前方一致検索を行う。エピタの後に\*(アスタリスク)を入力する(3.2.1(1)参照)。

さらに「フロンティア」という単語が含まれているということなので、AND 検索を行う。空白で区切った後に「フロンティア」と入力するか、または詳細検索で「AND」でつないだ検索語入力欄に「フロンティア」と入力する。

検索すると、1件ヒットする。

『エピタキシャル成長のフロンティア』 中嶋一雄責任編集  
東京 共立出版 2000 (シリーズ結晶成長のダイナミクス)  
本館学閲 [ ND371/0117 ] 北青葉山分館 [ MC145/156 ] ほか

- 3-3 雑誌「月刊地球環境」32巻6号(2001)の、東北大学内の所在を調べる。  
(『Online Catalog』を使う)

**解答** 『Online Catalog』の簡易検索、または詳細検索でタイトルを全て入力して検索する。または、「月刊」「地球」「環境」などと、単語で入力して検索をおこなう。1件ヒットする。

詳細をみると、所在は「工学分館」で、32巻6号は32(4-7)に製本されていることがわかる。(3.2.1(4)参照)

月刊地球環境 東京 日工フォーラム 1997-  
所在：工学分館(製本)

- 3-4 「ごみ行政はどこが間違っているのか」というタイトルの本を探す。  
(『Online Catalog』『NACSIS-Webcat』『宮城県内図書館総合目録』を使う)

**解答** 学内にはヒットしない。学外の他の機関で所蔵しているものを探す問題。問題文にあるように『総合目録データベース』を検索する。(3.3.2参照) タイトルを全て入力するか、単語を入力するなどして検索すると1件ヒットする。『総合目録データベース』では「ごみ行政」などの複合語では検索できないことに注意する。必要に応じて前方一致などを使用するとよい。

『ごみ行政はどこが間違っているのか? : リサイクル社会を問い直す』  
熊本一規著 東京 合同出版 1999.6  
所蔵館：「日本福祉大学附属図書館」など多数

『宮城県内図書館総合目録』でも、同様にタイトル等を入力して検索する。  
1件ヒットする。

所蔵館：「宮城県図書館」「仙台市図書館」など

- 3-5** 夏目漱石の著書で英語のものが東北大学に何件あるか調べる。  
(『Online Catalog』を使う)

**解答**

『Online Catalog』の詳細版を使う。条件を組み合わせる問題。  
夏目漱石の著書ということなので、検索語に「夏目漱石」と入力し「検索語の種類」から「著者名」を選択する。また、英語のものということなので、「本文の言語」から「英語」を選択する。(3.2.1(5)参照)

The screenshot shows a search interface with the following fields and values:

- 検索語入力欄: 夏目漱石
- 検索語の種類: 著者名
- AND: (empty)
- AND: (empty)
- AND: (empty)
- 所在: (全学)
- 出版年: (empty)
- 出版国: (指定なし)
- 言語: 英語
- 分野: (指定なし)

検索すると、下記の資料の他全 17 件がヒットする。

『The 210th day』 Natsume Soseki ; translated by Sammy Tsunematsu ;  
with an introduction by Marvin Marcus  
Boston ; Tokyo Tuttle 2002  
(Tuttle classics)  
本館書庫 [ KH426/22 ]

- 3-6** 雑誌「世界」104号(1954)の、東北大学内の所在を調べる。  
(『Online Catalog』を使う)

**解答**

「世界」と入力して検索すると、1万件以上膨大にヒットしてしまう。  
こういったときにどうするか。

『Online Catalog』の詳細検索を使う。「検索語の種類」から「書(誌)名」を選択する。「書(誌)名」を指定すると、入力した語とタイトルが一致するものが検索される。タイトルの中の単語は含まないので絞り込む

ことができる。

「世界」と入力し、「検索語の種類」から「書(誌)名」を選択し、さらに「図書と雑誌」を「雑誌」に絞り込んで検索すると、1件のみヒットする。所蔵一覧画面で「所蔵巻号」をみると、104号を所蔵しているのは「川内地区」だけであることがわかる。「製本」や「未製本所在」をクリックして詳細をみると、104号は製本されて下記の所在にあることがわかる。

『世界』 岩波書店[編] 東京 岩波書店 1946-  
104号の所在：本館2号館、ほか

### 3-7

雑誌「材料と環境」22巻(1973)の東北大学内の所在を探す。  
(『Online Catalog』を使う)

### 解答

雑誌の変遷が関係する問題。該当の号は指示のあるタイトルとは異なるタイトルで刊行されている。(3.2.1(4) 参照)

「材料と環境」で検索すると、雑誌2件がヒットする。しかし、「材料と環境」の巻号は40巻とあり、問題の22巻はない。詳細をみてみると、「変遷注記」があり、「防食技術」が「継続前誌」であることがわかる。「防食技術」の詳細をみると、巻次年月次に23巻1号(昭49)-39巻12号(平2.12)とあり22巻はこのタイトルでもない。さらに継続前誌である「防触技術」を見ると、22巻がある。これが該当の資料と思われる。

#### 防食技術 / 腐食防食協会

**巻次年月次** 23巻1号(昭49)-39巻12号(平2.12)

**出版者** 東京：腐食防食協会

**出版年** 1974-1990

**別誌名** OH:Corrosion engineering

**変遷注記** 継続前誌: [防触技術 / 日本学術振興会腐蝕防止第97委員会](#)

継続後誌: [材料と環境 / 腐食防食協会](#)

**著者標目** 腐食防食協会

『防触技術』 日本学術振興会腐蝕防止第97委員会  
東京 日本学術振興会  
22巻の所在：工学分館、ほか

- 3 - 8** 「江戸時代の数学」に関する資料を幅広く探す。  
(『Online Catalog』『NDL-OPAC』『Webcat Plus』を使う)

**解答** テーマに関する検索の問題。テーマに関する検索では、さまざまな検索方法が考えられる。正解は一つではないが、ここでは一例を示す。  
「江戸時代の数学」という問題だが、検索結果をよく読んで、その文献に付与された別のキーワードを使うことがポイントになる。(3.5.1参照)

『Online Catalog』

まず、単語検索では「江戸時代」「数学」では3件、「江戸」「数学」でも5件しかヒットしない。しかし、「江戸」と入力し「分野」から「数学」を選択すると23件ヒットする。

さらに、検索結果をよくみると、「和算」「和算書」という単語が出てきている。「和算」は日本古来の数学で、特に江戸時代に発展したものを指す単語なので、この「和算」で再び検索を試みる。

すると、95件ヒットする。

『NDL - OPAC』

同様に、単語検索では「江戸」「数学」では13件などと少ない。

『NDL - OPAC』には件名、分類のリンク機能があるため、検索結果の詳細を開くと、「普通件名」の「和算」にリンクがある。クリックすると、「和算」の件名がつけられている、つまり和算に関する内容の資料が一覧できる。

「件名検索」で「数学」「歴史」などを検索することもできる。

『Webcat Plus』

「江戸」「数学」と入力して「連想検索」を行うと、結果画面の「関連ワード」に「和算」が出てくる。チェックをつけて再検索ができる。

## 第4章 雑誌論文の探し方

- 4-1 今泉隆雄氏の「飛鳥の須弥山と斉槻」という文献について、掲載雑誌名、巻年、ページを確認する。  
(『雑誌記事索引』を使う)

**解答** 掲載年が不明の場合は、検索対象年のチェックボックスはすべてチェックを付ける。著者名か論題から検索するとヒットする。

『東北大学文学部研究年報』 通号41, 1991, p35-82.

- 4-2 大西仁氏の国内論文を収集する。  
(『雑誌記事索引』を使う)

**解答** 著者「大西仁」で検索すると、「仁」で始まる名前を持つ別人までヒットしてしまう。著者名の完全一致記号「/(スラッシュ)」を使い、「/大西仁/」と入力すると、きれいに切り分けができる。このような検索記号は検索システム毎に用意されているものが異なるが、知っているは大変便利である。思ったとおりの検索結果が得られない場合は、ヘルプなどを参照すること。ちなみに2004年3月1日時点で68件ヒットするが、同姓同名の別著者までは切り分けられないため、検索結果には注意を払う必要がある。

- 4-3 田中耕一氏が共著者の文献「beta-carboline alkaloids as matrices...」について、掲載雑誌名、巻年、ページを確認する。  
(『Web of Science』を使う)

**解答** 著者名を英語化して入力することに注意。General Searchでヒットする。

『RAPID COMMUNICATIONS IN MASS SPECTROMETRY』12(6), 1998, p285-296.



- 4 - 4** 2001年に公表された東北大学金属材料研究所・井上明久氏の論文のうち、最も多く他の研究者から引用されている論文を調べる。  
(『Web of Science』の General Search を使う)

**解答**

General Search で Data Limit を 2001 年に限定した後、Author を「inoue a\*」、Address を「tohoku univ」などで検索する。検索結果の簡略一覧画面から Times Cited で並び替えの Sort をすると、先頭に最も引用された論文が表示される。

Inoue A, Zhang W, Zhang T, et al. “High-strength Cu-based bulk glassy alloys in Cu-Zr-Ti and Cu-Hf-Ti ternary systems”  
ACTA MATER, 49 (14): 2645-2652 AUG 16 2001  
(2004年3月1日時点の Times Cited : 74)

ちなみに General Search での引用回数の値は参照程度にしか利用できないことに注意を払う必要がある。より正確に近い引用回数を求める際は、Cited Reference Search を利用する。(「自然科学編」参照)

- 4 - 5** 「吉本高志 他 脳と神経. 30(6)[1978]」の論題と共著者を確認する。  
(『雑誌記事索引』『MEDLINE』『Web of Science』を使う)

**解答**

『雑誌記事索引』では日本語論題が判明するが、共著者が収録されていない。ちなみに雑誌記事索引では現在医学系の採録誌があまり収録されていないため、医学系の情報を探す際には別のデータベースの利用も検討する必要がある。『MEDLINE』では、検索画面を Author 検索に切り換えて、著者名「yoshimoto t」、年代を「1978」に限定して検索する。「30(6)」と表示されている論文を探すと共著者も判明する。ただし論題、著者とも英文である。『Web of Science』ではヒットしない。

論題：囊状脳動脈瘤頭蓋内根治手術 1,000 症例の術後遠隔成績。  
共著者：Uchida K. Kaneko U. Watanabe T. Kayama T. Takaku A. Suzuki J.

## 第5章 新聞記事の探し方

- 5-1 東北大学で名誉博士号を取得した田中耕一氏について、朝日新聞に掲載された授与式後の写真と新聞記事を探す。  
(『聞蔵』を使う)

**解答** 検索語を「田中耕一」「名誉博士」などで検索すると数件ヒットする。それぞれ本文表示をして関連記事の新聞発行日を確認した後、掲載写真については別のメディアを探索する。関連記事は2002年11月1日の社会面と宮城地方面に掲載されていることがわかるので、『Online Catalog』で学内所蔵を確認し、縮刷版とマイクロフィルムで写真掲載を確認する。  
ちなみに本館において新聞原紙は約1年間しか保存していないが、朝日、毎日、読売の各新聞宮城地方面と河北新報は書庫にマイクロフィルム形式で保存しているため、後日でも閲覧可能である。

- 5-2 仙台初売りに関する最近の経済記事を探す。  
(『日経 goo』を使う)

**解答** 検索語が「仙台初売り」の場合は1件しかヒットしないが、「仙台」と「初売り」に分けた場合は9件ヒットする。入力するキーワードによってヒット件数が異なることに注意。『日経 goo』では本文閲覧は有料のため、見出しから該当記事の掲載日付を確認し、原紙を探しに行く。

- 5-3 東北大学附属図書館に寄贈された斎藤家文書に関する記事を探す。  
(『聞蔵』と『KD』でヒット件数を比べてみる)

**解答** データベースによっては漢字やキーワードが異なるとヒットしない場合もあることに注意。「附属」と「付属」、「東北大学」と「東北大」、「斎藤」と「齊藤」など、キーワードに幅をもたせること。『聞蔵』では「東北大学附属図書館」と「斎藤家」でヒット。『KD』では「東北大附属図書館」と「斎藤文書」でヒットする。

- 5-4** 明治30年の『河北新報』所蔵館を調べる。  
(『Online Catalog』と、『全国新聞総合目録データベース』を使う)

**解答** 『Online Catalog』では所蔵が見当たらない。『全国新聞総合目録データベース』では宮城県図書館や東北学院大学中央図書館などをはじめ各地で所蔵していることが確認できる。ちなみに新聞の所蔵状況についてはデータベースで検索できないことが多い。その場合は図書館カウンタに探索方法を問合せること。

## **第6章** より専門的な資料を探すために

- 6-1** 東北大で授与された、2000年度の法学博士の論文がいくつあるか調べ、それぞれの著者名・論題を書き出す。  
(『学術情報ポータル』の統合検索(Advanced)を使う)

**解答** 『学術情報ポータル』にアクセスし、統合検索のAdvancedを使用する。検索語は、対象項目を「学位論文:授与年度」にしてキーワードを「2000」、次の欄に「学位論文:学位名称」にしてキーワードを「法学」と入力し、検索する。(検索語入力欄の下部にあるデータベース選択機能は使わなくともよい。)2件ヒットし、リンク部分をクリックすると詳細データが表示される。

- 6-2** 東北大学の研究者が研究代表者の、環境問題に関する科研費研究成果報告書にはどのようなものがあるのか調べる。また、興味のある課題を一つ選んで実際に読んでみる。  
(『学術情報ポータル』の統合検索を使う。Advanced, Basic いずれでも可)

**解答** 『学術情報ポータル』にアクセスし統合検索を使用する。(Basic、Advanced いずれでもよい。)検索するデータベースを「科研費報告書」に指定し、検索語は「環境」といれて検索する。ヒット結果の中から興味のある報告書の、資料番号・課題番号・研究題目・代表者名・研究種目を確認して、図書館本館2号館1Fへ行って探す。学術情報ポータルで検索できる科研費報告書については、資料番号の順に並んでいる。

ちなみに、学術情報ポータルで検索できるのは平成10年度より。それ以前の報告書については、2号館にあるカード目録を検索する必要がある。報告書が並んでいる順番も、このカード目録の請求記号順となる。

- 6-3** 日本都市計画学会の第38回学会の発表内容を調べる。  
(J-STAGEの『予稿集・要旨集データベース』と『学会発表データベース』を利用する)

### 解答

J-STAGEの『学会発表データベース』へアクセスし、表示された学会名一覧の中から「日本都市計画学会」を選択し、学会発表一覧を見る。第38回はデータベースに収録されていないが、まずここで発表内容が収録されている刊行物名が「都市計画論文集」であることを確認。次いで『予稿集・要旨集』にアクセスし、「都市計画論文集」を刊行物一覧の中から探し、アクセスすると、第38回分が収録されていることがわかる。

学会によってはこのように『学会発表データベース』と『予稿集・要旨集』の双方に収録されている場合や、どちらか片方にしか収録されていない場合があるので、二つのデータベースを確認するとよい。

- 6-4** 「ドクター中松」として発明で著名な「中松義郎」氏が特許を申請した最新の発明は何か。発明の名称・特許の番号・公開日・内容を調べる。  
(『特許電子図書館』の初心者向け検索を使う)

### 解答

『特許庁電子図書館』の初心者向け検索へアクセスし、技術用語・出願人・発明者検索欄に「中松義郎」と入力して検索する。ヒット一覧が、新しい順に表示されるので、その一番上のデータをクリックして簡略データを表示する。発明の名称・公開日は表示項目通り。特許の番号は、「公開番号」、内容は「要約」によって知ることができる。より詳細な情報を知りたい場合は画面下にある「表示中の特許の詳細表示画面を表示する」をクリックすると見ることができる。ちなみに2004年1月29日現在での中松氏の最新出願の特許は「仏壇」(公開番号2004-024544)である。

- 6 - 5** 総合資源エネルギー調査会都市熱エネルギー部会の報告書を探す。  
(『電子政府の総合窓口』を使う)

**解答**

『電子政府の総合窓口』アクセスし、「情報の種類で探す」の分類から「審議会等」を選んでクリック。資源エネルギー庁の審議会情報へのリンクをクリックすると、総合資源エネルギー調査会の部会等が一覧表示されているページへジャンプする。そこから「都市エネルギー部会」を選ぶとこの部会の概要が表示される。そのページの一番下に、議事要旨と答申・報告書へのリンクが表示されるので、「答申・報告書」をクリックする。経済産業省の審議会関係報告書ページの「総合資源エネルギー調査会」のページへジャンプするので、一覧の中から、「都市熱エネルギー部会報告書」を探す。ページ検索機能を使って「都市熱エネルギー」で検索すると早くみつけれられる。

資源エネルギー庁のホームページに直接アクセスした場合は、メニューの中から「インフォメーション」を選ぶと、資源エネルギー庁の審議会情報のページへジャンプする。その後の情報のたどり方は同じ。

『電子政府の総合窓口』のホームページ検索は、余計なものもヒットしたり、ヒットした内容がわかりにくかったりするので、この課題の場合はあまり有効ではない。

- 6 - 6** 2004年の国際年は何であるか。その概要説明をした公式文書をウェブより入手する。また、その文書はいつ発行され、編集責任者はどこなのかを調べる。  
(『国際連合広報センター』のウェブページを使う)

**解答**

『国際連合広報センター』のウェブサイトアクセスすると、トップページに国際年のリンクがある。それによると、2004年の国際年は「国際コメ年」。そのリンクをたどり、「国際コメ年公式ホームページ(日本語版)」へアクセスすると国際コメ年に関する様々な情報が日本語で掲載されている。概要説明の公式文書は「コンセプトペーパー」。この文書へのリンクがページ上に用意されている。アクセスすると日本語で内容を読むことができるが、発行年や編集責任者については知ることができない。そこで、英文の原文書を参照する。ページ上で英文の文書を

PDF で提供しているので、表示してみると、その表紙より発行は 2003 年 10 月 30 日、編集責任者は Food and Agriculture Organization of the United Nations (国連食糧農業機関) の International Year of Rice Secretariat (国際コメ年事務局) であることがわかる。

## 第7章 事柄について調べるには

7-1 仙台市青葉区の「米ヶ袋」という地名の由来は何か。

**解答** 『角川日本地名大辞典』の第4巻、宮城県編で調べる。この事典には地名索引がないので、直接「こめがふくろ」のよみからひくと、地形が由来であることがわかる。もっと詳しく歴史などが知りたい場合は、巻末の参考図書・論文や『仙台市史』などの地誌も調べてみる。

7-2 「登呂遺跡」はいつ発見されたのか。

**解答** 日本の史跡なので『国史大辞典』などの歴史事典を調べる。索引で「とろいせき」とひくと、解説文から昭和18年(1943)とわかる。また、有名な遺跡なので、百科事典や単行本なども参考となる。

7-3 日本の小学校の数を調べたい。

**解答** 『統計データ・ポータルサイト』で「小学校」というキーワードで検索すると、いくつかの統計がヒットする。その中の『学校基本調査報告書』から、データを直接エクセル形式のファイルで見ることができる(平成15年(2003): 23,633校)。また、文部科学省ホームページの「各種統計情報」サイトから『文部科学統計要覧』を参照すると、最新情報が入手可能である。昭和30年(1955)からの時系列版もあり。

## 休憩コーナー



### まめちしきのマメの正体？

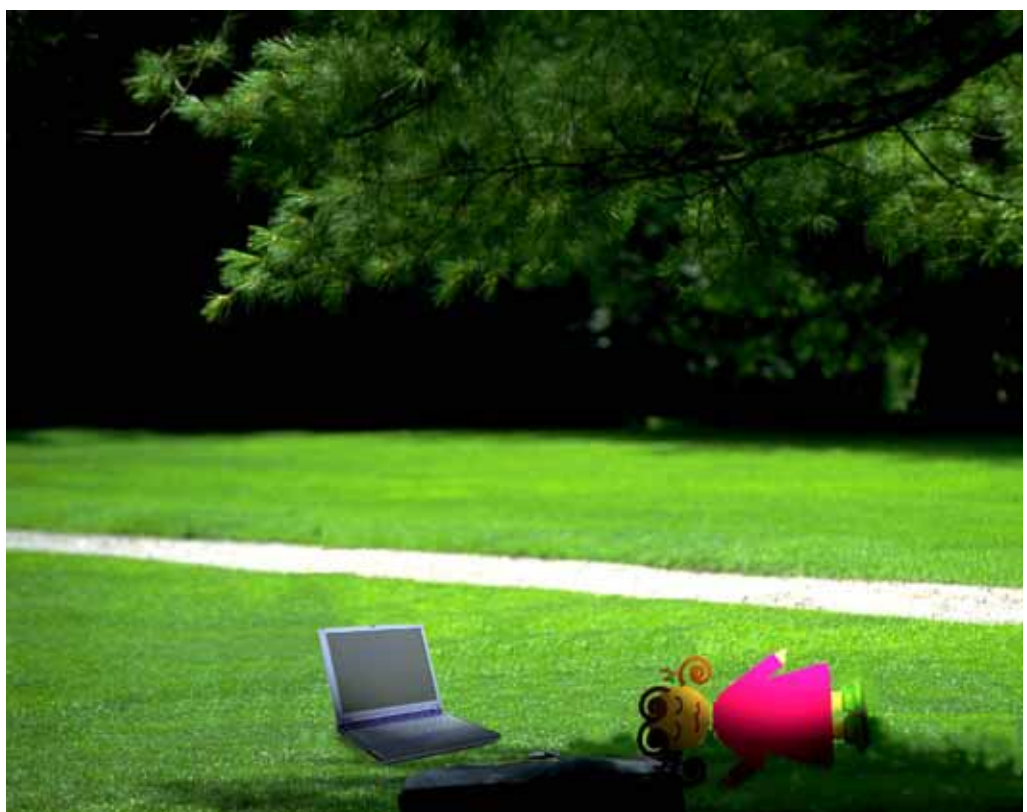
本文中に挿入したコラム「まめちしき」には、枝豆のイラストがついています。実はこのマメ、東北名物「ずんだ餅」の「ずんだ」の原料でもあるのです。初めてずんだ餅を見た人は、「野菜のあんこ？甘いの？」とびっくりするかもしれませんが、一口食してみれば、意外とイケル！ときっと思うことでしょう。

「ずんだ」の語源は、枝豆を打ってすりつぶしたものを材料とすることから「豆打」という名がついた説と、糶汰（ぬかみそ）に外見が似ていることから「じんだ」「ずんだ」に訛ったという説、それと、甚太さんという人が作り始めたという説などなど、諸説あります。

いずれにしろ、大豆になる前の若い豆が原材料なので、鮮やかな緑色と新鮮さが味の魅力となっています。見た目があまり食べ物っぽくない色なので、ちょっと手がでない・・・という人でも、試食をすれば不思議な甘さの虜となることマチガイなし(?)です。

勉強つづきで疲れたときには、ヘルシーなマメでも食べて心身ともにリラックスするのもいいですね。

# 索引



索引



## 用語INDEX

## アルファベット順

AND 検索	26,34
Atlas 地図	
Biography 人名事典	
Communication	83
Conference 会議	
Cyclopedia 専門事典	
Encyclopedia 百科事典	
EU 欧州連合	
European Union 欧州連合	
EU 資料センター	148
Full paper	83
Gazetteer 地名事典	
Gray Literature 灰色文献	
ISBN	79
Letter	83
Meeting 会議	
NDC	40,66
NDLC	40
NLMC	40
NOT 検索	26
OECD 経済協力開発機構	
OPAC	56
Organization for Economic Cooperation and Development 経済協力開発機構	
Original paper	83
OR 検索	26
Proceedings 会議録	
Statistics 統計	
Symposium 会議	
United Nations 国際連合	
WHO 世界保健機関	
World Health Organization 世界保健機関	

## 50音順 あ～か

アブストラクト	83,86
---------	-------

意匠権	139
1次資料	16
一般雑誌	82
一般論文	83
引用	29
引用文献	18
印刷メディア	16
閲覧室	5
欧州連合	143,145
オンライン書店	75,78
カード目録	49,50,68,71
会議	137,138
会議録	137,141
下位語	24
カウンター	5
科学研究費補助金	134
科学研究費補助金研究成果報告書	134
学位論文 博士学位論文	
学外	55
学習用資料	4
学術雑誌	82
学術的情報	2
学生用図書購入希望	48
科研費 科学研究費補助金	
学会	137,138
漢籍	71
官報	140
議会 議会資料	
議会資料	141
寄託図書館	143,148
旧片平	50
旧教養部	50
旧登録番号	39,51
経済協力開発機構	143,146
欠号	45
研究用資料	4
検索語	24,34,64
検索語の種類	47
現代用語事典	154
現物借用	109

件名	65,66	請求記号	39,40,51
公共図書館	53,57	政府関係資料	140
購入	74	製本	41,43
後方一致検索	27	世界保健機関	143,147
国際機関 国際機関資料		前方一致検索	27,34
国際機関資料	143	専門事典	162
国際連合	143	専門的な資料	130
国立国会図書館	53,59	専門図書館	53,61
国連 国際連合		総合目録データベース	54,67
古典籍	59	相互利用サービス	8,48,108
古典籍資料	71	ソート機能	28
コレクション	7	速報	83
		大学図書館	2
<b>さ～た</b>		地誌	161
		地図	161
		知的財産権	139
サーチエンジン	61,166	地名事典	160
最終版	122	中間一致検索	27
雑誌	36	中国語	49,50
産業財産権	139	直接閲覧	109
参考図書	152	著作権	29,133
参考文献	18	ツール	16,19
実用新案権	139	ディレクトリ型サーチエンジン	166
絞り込み機能	28	テクニカル・レポート	134
縮刷版	113	電子ジャーナル	104
主題書誌	68	電子メディア	16
出版社	77	統計	164
出版情報	74	統計インデックス 統計索引	
商標権	139	統計索引	164
上位語	24	図書	36
詳細版	47	図書館ホームページ	9
情報検索	14	特許 特許資料	
情報探索	14	特許権	139
書庫	5	特許資料	139
所在	43,47	トランケーション記号	27,34
所在場所	39,41,51		
書誌	23	<b>な～わ</b>	
書誌情報	23,39,42		
資料番号	39		
人名事典	155	2次資料	16,84
図鑑 便覧(べんらん)		年鑑	168

ノイズ	28
ノート	83
灰色文献	130
博士学位論文	131
白書	140
ハンゲル	49, 50
ハンドブック 便覧(べんらん)	
販売書誌	77
判例	142
ヒットする	35
百科事典	153
便覧(びんらん) 便覧(べんらん)	
部分一致検索	27
古本	76
文献情報	20
文献複写	109
分野別検索	65
分類記号	65, 66, 68
分類体系	40
分類体系表	174
変遷注記	43
便覧	168
法令	142
マイクロフィルム	113
宮城県図書館	57
明治期の図書	60
メールで送る機能	48
予約機能	48
レビュー	83
要旨集	137
予稿集	137
略語	176
レファレンス	8
レファレンスツール	152
連想検索	67
ロボット型サーチエンジン	166
論理演算	26
和漢古典籍資料 古典籍資料	
和古書	71, 73

## ツールINDEX

## アルファベット順

『ABAA』	78
『AGRICOLA』	102
『Amazon.co.jp』	75
『Amazon.com』	75, 78
『AskEric』	95
『BA』 『Biological Abstracts』	
『Biological Abstracts』	94
『Biological Abstracts/RRM』	94
『Books in print』	78
『Books.or.jp』	75
『British Library Public Catalogue, The』	
	62
『Cambridge biographical encyclopedia, The』	
	156
『CD-HIASK: 朝日新聞記事データベース』	118
『Contents search』	100
『Current Contents』	95
『CROC』	29
『CrossFire』	102
『Dialog Select Open Access』	121
『ECLAS』	145
『Ei Compendex』	103
『Eric』	95
『EU Official Documents』	145
『EUR-LEX』	145
『europa』	146
『European Union Documents』	145
『excite ニュース』	120
『GEOLIS』	102
『goo ニュース』	120
『Google』	167
『Google News』	121
『Ingenta』	100
『INSPEC』	97
『International who's who in music』	156
『J-STAGE』	137

- 『JISハンドブック』 . . . . . 168  
 『JST 資料所蔵目録』 . . . . . 136,138  
 『KD』 『インターネットKD(カーデー)河北新報データベース』  
 『Kinokuniya Book Web』 . . . . . 78  
 『MAGAZINEPLUS』 . . . . . 86  
 『MARUZEN Internet shopping』 . . . . . 78  
 『Mathematical Reviews』 . . . . . 98  
 『MathSciNet』 . . . . . 98  
 『MEDLINE』 . . . . . 92  
 『MLA International bibliography』 . . . . . 101  
 『NACSIS-IR』 . . . . . 131,133,134  
 『NACSIS-Webcat』 . . . . . 54  
 『NDL-OPAC』 . . . . . 59,66,131,138  
 『New York Times』 . . . . . 121  
 『NTIS(National technical information service)』 . . . . . 102  
 『OECD 東京センター』 . . . . . 146  
 『Official Web Site Locator for the United Nations System of Organization』 . . . . . 144  
 『Online Catalog』 . . . . . 33,47,54,64  
 『Organization for Economic Cooperation and Development』 . . . . . 146  
 『Oxford English dictionary,The』 . . . . . 162  
 『PsycINFO』 . . . . . 95  
 『PCI Web/Full Text』 . . . . . 99  
 『Publishers' Catalogues』 . . . . . 78  
 『PubMed』 . . . . . 92  
 『ReaD 研究開発支援総合ディレクトリ』 . . . . . 158  
 『Readers' guide to periodical literature』 . . . . . 101  
 『Science Abstracts』 . . . . . 97  
 『SciFinder Scholar』 . . . . . 96  
 『SourceOECD』 . . . . . 146  
 『SPORT Discus』 . . . . . 95  
 『TRC 図書館流通センターブックポータル』 . . . . . 75  
 『Ulrich's periodicals directory』 . . . . . 70,78,126  
 『UN Document Center』 . . . . . 144  
 『UNBISnet』 . . . . . 143  
 『United Nation's Home Page』 . . . . . 144  
 『Washington Post』 . . . . . 121  
 『Webcat Plus』 . . . . . 54,67  
 『Web of Science』 . . . . . 89  
 『WHO Policy System』 . . . . . 147  
 『Who was who』 . . . . . 156  
 『Who's who in China』 . . . . . 156  
 『Who's who』 . . . . . 156  
 『WHOLIS』 . . . . . 147  
 『WHO 神戸センター(世界保健機関開発総合研究センター)』 . . . . . 147  
 『World almanac and book of facts』 . . . . . 165  
 『World Health Organization』 . . . . . 147  
 『Yahoo! Japan』 . . . . . 61,166  
 『Yahoo! JAPAN ニュース』 . . . . . 120  
 『Zentralblatt MATH』 . . . . . 98,102
- ### 50 音順
- 
- 『朝日新聞記事総覧』 . . . . . 122  
 『朝日年鑑』 . . . . . 168  
 『あなたのまちの図書館』 . . . . . 57  
 『医中誌 WEB』 . . . . . 102  
 『イミダス』 『情報・知識 imidas:イミダス』  
 『岩波=ケンブリッジ世界人名辞典』 . . . . . 156  
 『岩波数学辞典』 . . . . . 163  
 『岩波西洋人名辞典』 . . . . . 156  
 『岩波哲学・思想事典』 . . . . . 162  
 『岩波理化学辞典』 . . . . . 163  
 『インターネットKD(カーデー)河北新報データベース』 . . . . . 117  
 『インターネット古書店案内』 . . . . . 77  
 『インターネットを利用するためのルール&マナー集』 . . . . . 11  
 『英語年鑑』 . . . . . 168  
 『液晶便覧』 . . . . . 168  
 『江戸の暮らし図鑑』 . . . . . 168  
 『江戸幕臣人名事典』 . . . . . 157  
 『大宅壮一文庫雑誌記事索引』 . . . . . 100  
 『オンラインブックストア bk1』 . . . . . 76

- 『外国人物レファレンス事典』 . . . . . 159
- 『科学技術文献速報:bunsoku』 . . . . . 103
- 『科学研究費補助金研究成果概要データベース』 . . . . . 135
- 『科学研究費補助金採択課題データベース』 . . . . . 134
- 『科学者人名事典』 . . . . . 157
- 『学位論文索引データベース』 . . . . . 131
- 『学術情報ポータル』 . . . . . 101,133
- 『学術情報リンク集(海外の図書館)』 . . . . . 62
- 『学都仙台 OPAC』 . . . . . 56
- 『学会 Net』 . . . . . 138
- 『学会発表データベース』 . . . . . 137
- 『学協会情報発信サービス』 . . . . . 138
- 『角川日本地名大辞典』 . . . . . 160
- 『河北年鑑』 . . . . . 161
- 『官公庁リンク集』 . . . . . 164
- 『聞蔵(きくぞう) DNA for Libraries』 . . . . . 116
- 『教育研究論文索引』 . . . . . 101
- 『経済学文献季報』 . . . . . 101
- 『経済学大事典』 . . . . . 162
- 『研究開発支援総合ディレクトリ』 ReaD 研  
究開発支援総合ディレクトリ
- 『研究者・研究課題総覧』 . . . . . 157
- 『原色日本植物図鑑』 . . . . . 168
- 『現代日本地名よみかた大辞典』 . . . . . 160
- 『現代用語の基礎知識』 . . . . . 154
- 『公共図書館リンク』 . . . . . 57
- 『高齢者問題の本全情報』 . . . . . 69
- 『国際連合広報センター』 . . . . . 144
- 『国史大辞典』 . . . . . 162
- 『国書総目録』 . . . . . 72
- 『国勢調査』 . . . . . 164
- 『国文学論文目録データベース』 . . . . . 101
- 『国立国会図書館 近代デジタルライブラリ  
ー』 . . . . . 60
- 『国会会議録検索システム』 . . . . . 141
- 『古典籍総合目録』 . . . . . 72
- 『コレクション』 . . . . . 7
- 『雑誌記事索引』 . . . . . 86
- 『雑誌新聞総かたろぐ』 . . . . . 70,77,126
- 『参議院』 . . . . . 142
- 『参議院会議録議事情報』 . . . . . 142
- 『参考図書紹介』 . . . . . 163
- 『衆議院』 . . . . . 142
- 『衆議院会議録議事情報』 . . . . . 141
- 『出版年鑑』 . . . . . 70,77
- 『情報・知識 imidas:イミダス』 . . . . . 154
- 『昭和ニュース事典』 . . . . . 122
- 『昭和の読売新聞:戦前』 . . . . . 118
- 『書誌年鑑』 . . . . . 68
- 『女性・婦人問題の本全情報』 . . . . . 69
- 『新教育学大事典』 . . . . . 162
- 『人事興信録』 . . . . . 155
- 『新日本分県地図』 . . . . . 161
- 『人物データベース検索』 . . . . . 156
- 『人物レファレンス事典』 . . . . . 159
- 『新聞集成昭和史の証言』 . . . . . 122
- 『新聞集成明治編年史』 . . . . . 122
- 『新聞収録大正史』 . . . . . 122
- 『新法学辞典』 . . . . . 162
- 『スポーツの本全情報』 . . . . . 69
- 『政治・行政問題の本全情報』 . . . . . 69
- 『青少年問題の本全情報』 . . . . . 69
- 『政府刊行物』 . . . . . 140
- 『世界 CD-ROM 総覧』 . . . . . 126
- 『世界大百科事典』 . . . . . 153
- 『世界地名辞典』 . . . . . 160
- 『世界地名大事典』 . . . . . 161
- 『世界統計年鑑 1999』 . . . . . 165
- 『世界の統計』 . . . . . 164
- 『全国漢籍データベース』 . . . . . 73
- 『全国新聞総合目録データベース』 . . . . . 124
- 『全国複製新聞所蔵一覧』 . . . . . 114
- 『戦後 50 年朝日新聞見出しデータベース』 . . . . . 118
- 『仙台市史』 . . . . . 161
- 『仙台人名大辞典』 . . . . . 157
- 『専門情報機関総覧』 . . . . . 61
- 『総務省統計局・統計センター』 . . . . . 164
- 『大漢和辞典』 . . . . . 162

- 『大正ニュース事典』 122
- 『大正の讀賣新聞』 118
- 『地域研究・郷土資料図書目録』 69
- 『知恵蔵』 154, 168
- 『地球・自然環境の本全情報』 69
- 『地球の歩き方』 161
- 『地方・小出版新刊ニュースの出版社リスト』  
76
- 『駐日欧州委員会代表部』 146
- 『著作権台帳』 155
- 『電子政府の総合窓口』 141
- 『統計情報インデックス』 164
- 『統計データ・ポータルサイト』 164
- 『東北大学研究者紹介』 158
- 『東北大学研究者総覧』 157
- 『東北大学附属図書館所蔵和漢書古典分類目  
録』 71
- 『東北地区大学図書館所蔵新聞目録』 124
- 『東洋学文献類目』 101
- 『独立行政法人国立印刷局』 141
- 『図書館室一覧・案内』 7
- 『図書・雑誌探索ページ』 63, 121
- 『特許電子図書館』 139
- 『20世紀文献要覧大系』 69
- 『日経 goo』 120
- 『日経全文記事データベース』 118
- 『日経テレコン 21』 117
- 『日本国語大辞典』 162
- 『『日本語』の本全情報』 69
- 『日本史図書目録』 69
- 『日本書籍総目録』 77
- 『日本紳士録』 155
- 『日本新聞雑誌便覧』 126
- 『日本人名大事典』 155
- 『日本大百科全書』 154
- 『日本統計年鑑』 164, 168
- 『日本年鑑総覧』 168
- 『日本の参考図書』 163
- 『日本の出版社』 76
- 『日本の大学の学位論文を探すサイト』 132
- 『日本の統計』 164
- 『日本の古本屋』 76
- 『日本博士録』 131
- 『日本歴史地名大系』 160
- 『ネットで百科@HOME』 153
- 『年刊参考図書解説目録』 163
- 『農業技術大系』 163
- 『博士学位論文内容要旨および審査結果要旨』  
132
- 『判例情報』 142
- 『ブックページ=Book page』 77
- 『ブリタニカ国際大百科事典』 154
- 『ブリタニカ国際地図』 161
- 『文化人類学の本全情報』 69
- 『法令データ提供システム』 142
- 『本やタウン』 76
- 『毎日新聞』 120
- 『毎日ニュース事典』 122
- 『マグローヒル科学技術用語大辞典』 163
- 『マスコミ・ジャーナリズムの本全情報』 69
- 『マピオン』 161
- 『マップファン ウェブ』 161
- 『マップル』 161
- 『宮城県誌』 161
- 『宮城県内図書館総合目録』 58
- 『宮城県百科事典』 161
- 『明治新聞雑誌文庫所蔵新聞目録』 124
- 『明治・大正・昭和前期雑誌記事索引集成』  
100
- 『明治ニュース事典』 122
- 『明治の讀賣新聞』 118
- 『メルクマニュアル』 163
- 『予稿集・要旨集』 137
- 『読売ニュース総覧』 122
- 『ラールス世界音楽事典』 162
- 『理科年表』 161, 163
- 『るるぶ』 161

---

## あとがき

情報探索に関する類書は世の中に多数ありますが、自分にとっての良書にめぐり合うには、資料を評価する眼が必要です。しかも、情報環境の移り変わりに敏感で、自分の周りの探索環境を知らないと、その評価も難しいところです。

本書は、東北大学の学生のために作成したもので、次の基本方針をもって執筆しました。

- ・初めて東北大学に入学した学生を想定した説明内容とする。
- ・東北大学内の利用環境に則したツールの紹介を行う。
- ・電子版も作成するが、学生が愛着を感じるような冊子体を作る。

本書の2003年版は多くの学生のみならず、図書館の方々にとっても役に立つものとして、評価をいただきました。2004年版はその改訂版にあたりますが、単なる語句の訂正に留まる改訂ではありません。執筆メンバーの一部が交替したことに伴って、新たな視点からさらに磨き上げられたものを提供することができたと思っています。

これに加えて今回は、本学の全学教育科目「大学生のための情報検索術」における教科書・参考図書としての役割も担うべく、「読む」だけでなく、演習問題などをおして「使う」「身につける」ことができる本にしたのが、大きな特色です。

また、付録も大幅に充実させることができました。

本書が、この本を手にとった方にとっての良書となれたら嬉しい限りですが、それだけではなく、将来研究者や社会人となったあとでも、情報を利用する際の「基礎知識」を身に付けたときの書として、記憶に残る一冊となることができるよう、我々も日々研鑽を重ねていきたいと思っています。

今後も皆さまのご意見・ご指摘を反映して、よりよいマニュアルに改訂していきますので、お気軽にご要望などをお寄せください。

最後になりますが、こうして無事出版できたのも関係職員の方の多大なご理解とご支援のおかげです。この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。

2004年5月31日 拡大情報サービス WG  
『情報探索の基礎知識 基本編』編集担当 菅原 透

---

参考文献（著者の 50 音順）

- 1) 池田祥子．『文科系学生のための文献調査ガイド』．青弓社，1995．
- 2) 海野敏，影浦峽，戸田慎一．『学術情報と図書館(講座図書館の理論と実際 .9)』．雄山閣，1999．
- 3) 扇元敬司，伊藤敬敏．『学術情報の上手な仕上げ方』．川島書店，1994．
- 4) 慶應義塾大学日吉メディアセンター編．『情報リテラシー入門』．慶應義塾大学出版会，2002．
- 5) 斉藤孝，佐野眞，甲斐静子．『文献を探すための本』．日本エディタースクール出版部，1989．
- 6) 実践女子大学図書館．図書・雑誌探索ページ．<<http://www.jissen.ac.jp/library/frame/>>
- 7) 情報科学技術協会．『情報検索の基礎』．第 2 版．日外アソシエーツ，1997．
- 8) 長澤雅男．『情報と文献の探索』．第 2 版．丸善，1994．
- 9) 仲本秀四郎．『情報を考える(丸善ライブラリー .073)』．丸善，1993．
- 10) 新潟大学附属図書館「情報検索とその活用」編集委員会編．『情報図書館：大学で役立つ情報検索法』．同委員会，1998．
- 11) 山本毅雄．『21 世紀の本の読み方(岩波高校生セミナー .9)』．岩波書店，1999．

執筆分担（所属は 2004 年 3 月現在）

本来なら 2003 年版の執筆者も併記すべきところですが、紙面の都合上省略しました。

第 1 章： 半澤智絵（農学分館図書係）

第 2 章： 宗川かほり（工学分館管理係），米澤誠（総務課情報企画係）

第 3 章： 関戸麻衣（情報管理課図書情報係）

第 4 章： 菅原透（情報シナジーセンター学術情報支援係）

第 5 章： 菅原透

第 6 章： 半澤智絵

第 7 章： 菅原透，吉植庄栄（情報サービス課参考調査係）

付録等： 上記各執筆者他，佐藤初美（多元物質科学研究所図書室），中村直子（多元物質科学研究所図書室）

監 修： 米澤誠

本文中に掲載した画面例の著作権者からは、本書への掲載をご快諾いただきました。この場を借りてお礼申し上げます。



## キャラクタープロフィール



みやぎの はぎこ (みやぎの・はぎこ)

2004年仙台生まれ。

宮城県の県花ミヤギノハギから誕生。

赤紫の花が特徴。

東北大学生のための

# 情報探索の基礎知識 基本編 2004

---

2004年6月18日 初版発行

編集・発行 東北大学附属図書館

〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内

Tel 022-217-5911 Fax 022-217-5909

ホームページ <http://www.library.tohoku.ac.jp/>

Eメール [denshi@library.tohoku.ac.jp](mailto:denshi@library.tohoku.ac.jp)

印刷・製本 有限会社 明倫社

---